

SONY®

TAPE DIGITIZE STATION

PWS-100TD1



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このオペレーションマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**このオペレーションマニュアルをよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

OPERATION MANUAL

Japanese/English/French/German/Italian/Spanish/Chinese

1st Edition



目次

概要	3
システム構成例	4
対応機器	5
対応 VTR	5
対応 ODS ドライブ	5
各部の名称と働き	6
前面	6
前面（パネルをはずした場合）	6
背面	7
準備	8
初期設定	8
Web メニューの表示	10
システム設定	10
ライブラリ等のライセンスについて	10
使用上のご注意	11
仕様	12

概要

本機は、VTR の素材をデジタイズしてクリップを作成し、オプティカルディスクアーカイブシステムのカートリッジなどに保存するまでの作業を行うシステムです。本機の機能を次に示します。

インジェスト

VTR から入力した SDI 信号から高解像度画像とプロキシ画像のファイルを作成し、内蔵 HDD に保存します。RS422 を使用して、VTR 機器をリモート制御できます。

映像の確認

インジェストしたクリップの画質チェックを自動的に行うことができます。また、本機の Web GUI や外部モニターを使用して、ユーザーの目で確認することもできます。

クリップの保存

作成した高解像度画像をカートリッジやネットワーク上のサーバーに転送します。

ワークフロー

インジェストから転送までの一連の作業を一括して実行することができます。また、マネージャーが、実行するタスクの流れや担当者などをワークオーダーとして定義し、オペレーターにワークオーダーに従って作業をさせることができます。

Web GUI

本機の操作や設定は、クライアント PC の Web ブラウザーに表示される GUI で実行できます。

他ソフトウェアとの連携

カートリッジに保存したクリップのプロパティーやプロキシ映像などをエクスポートして、他ソフトウェアで管理することができます。

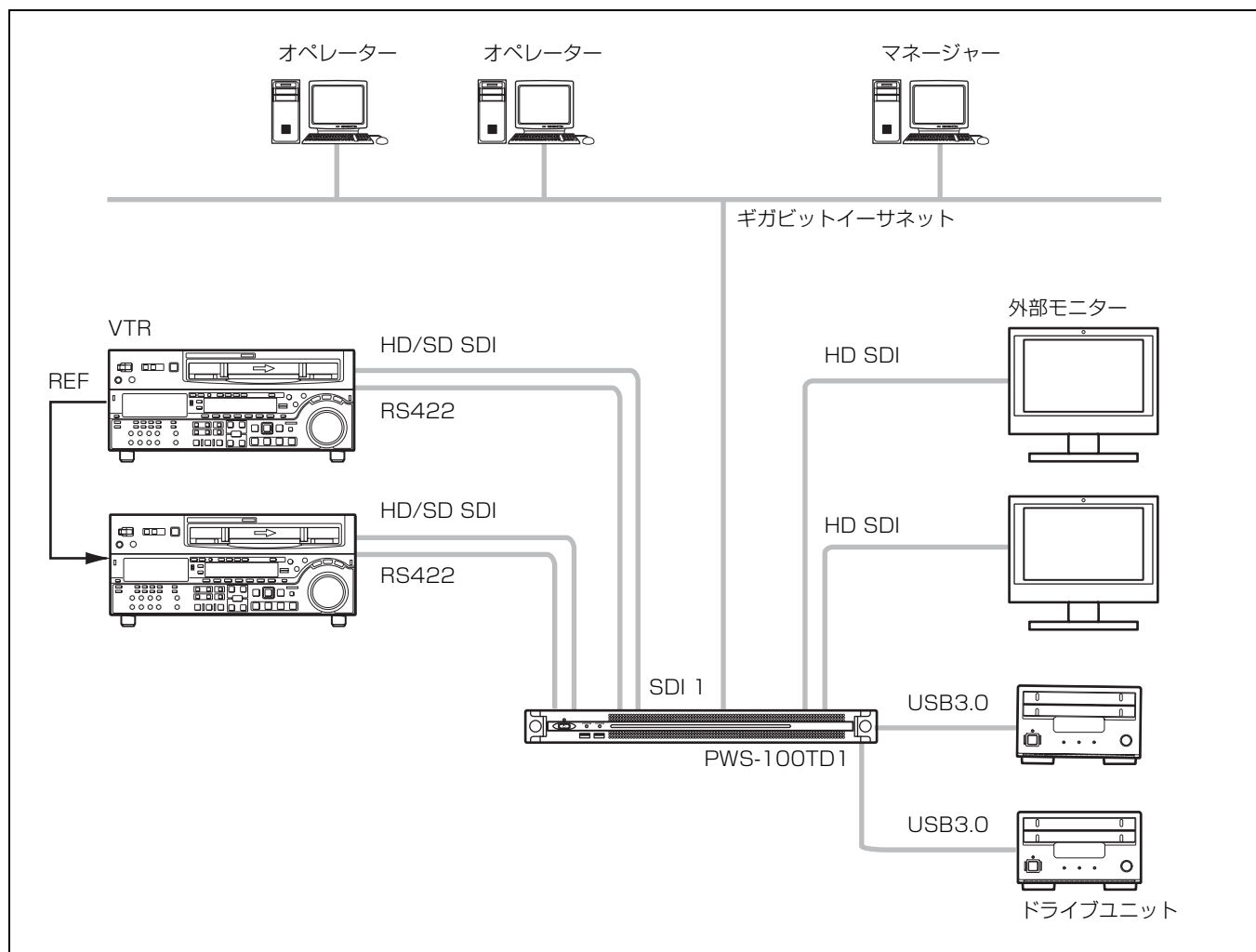
システム構成例

SDI 1 端子と SDI 2 端子に VTR を、SDI 3 端子と SDI 4 端子に外部モニターを接続します。2 台の VTR のデジタル化を並行して行うことができます。

ドライブユニットは、PWS-100TD1 に最大 2 台接続できます。

ご注意

- 複数の VTR 機器を接続する場合、VTR 機器はすべて同期 (± 1H) させてください。
- VTR の EE/PB 設定を PB に設定してください。
- PWS-100TD1 は SDI 1 端子の入力信号にロックするため、SDI 1 端子には必ずシステムに同期したビデオ信号を入力してください。



対応機器

本機が動作を確認している機器を次に示します。

対応 VTR

下記の VTR の動作を確認しています。

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

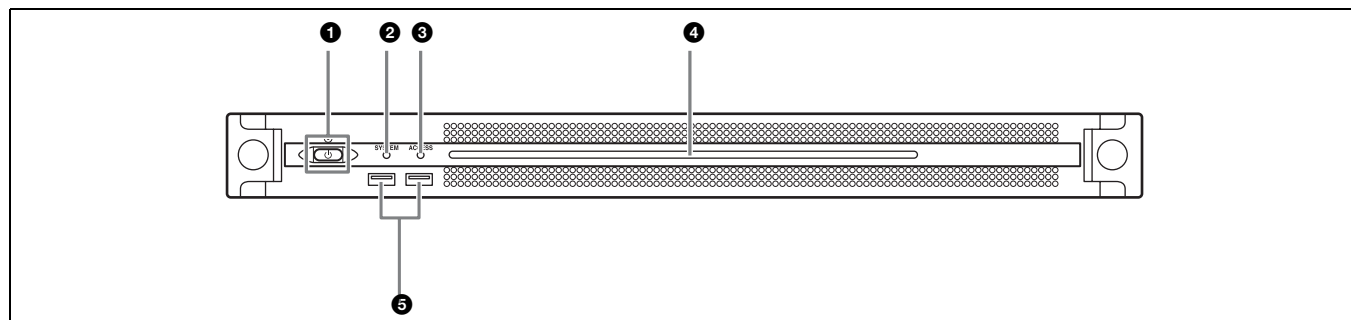
対応 ODS ドライブ

下記の ODS ドライブとの動作を確認しています。

- ODS-D55U
- ODS-D77U

各部の名称と働き

前面



① オン／スタンバイボタンおよびインジケータ

本機のオン／スタンバイを切り換えます。電源コードを接続するとスタンバイ状態になり、インジケータが赤色に点灯します。スタンバイ状態のときにオン／スタンバイボタンを押すと、本機が起動してオン状態になり、インジケータが緑色に点灯します。オン状態のときにオン／スタンバイボタンを2秒以上長押しすると、スタンバイ状態への移行を開始し、スタンバイ状態になるとインジケータが赤色に点灯します。オン状態からスタンバイ状態にした後、再度オンにする場合は、インジケータが赤色に点灯した後3秒以上たってからボタンを押してください。電源コードが接続されていないときは、インジケータが消灯します。

② SYSTEM インジケータ

本機の状態を示します。

緑色点灯：正常動作中

緑色点滅（1 秒周期）：システム起動中またはスタンバイ移行中

オレンジ色点滅（1 秒周期）：ワーニング発生

赤色高速点滅（1/4 秒周期）：エラー発生

③ ACCESS インジケータ

ストレージへのアクセス状態を示します。

消灯：アクセスなし

青色点灯：アクセス中

④ フロントパネル LED

Web メニューでの設定によって、点灯／消灯します。設定は、メンテナンス画面の [Settings] ページ [001: LINE LED] で行います。

⑤ USB 端子（前面）

本機の初期設定をする際に、キーボードやマウスを接続できます。

本書で説明されていない USB 機器については対応していません。

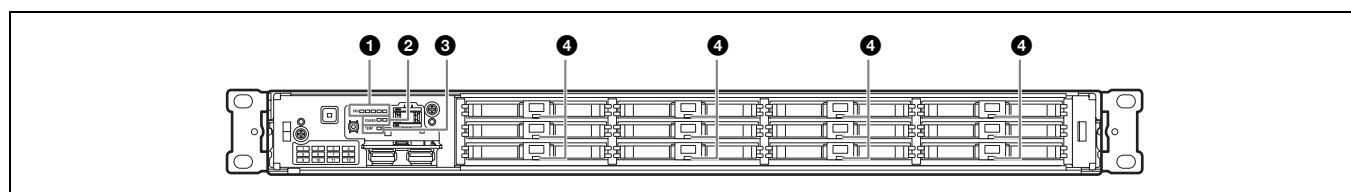
ご注意

- 前面の USB 端子は、両ポートとも給電に対応しています（900 mA）。
- ケーブルは、SuperSpeed USB ケーブルをご使用ください。

前面（パネルをはずした場合）

SYSTEM インジケータや Web メニューの表示でエラーが通知された場合に、パネルをはずしてハードウェア各部のステータスを確認することができます。

パネルをはずすには、前面パネル左右のネジをゆるめ、手前に引きます。



① FAN インジケータ

ファンのいずれかに障害が発生した場合に、対応するインジケータが赤く点灯します。

② POWER インジケータ

AC 電源ユニットのどちらかに故障が検出された場合に、対応するインジケータが赤く点灯します。

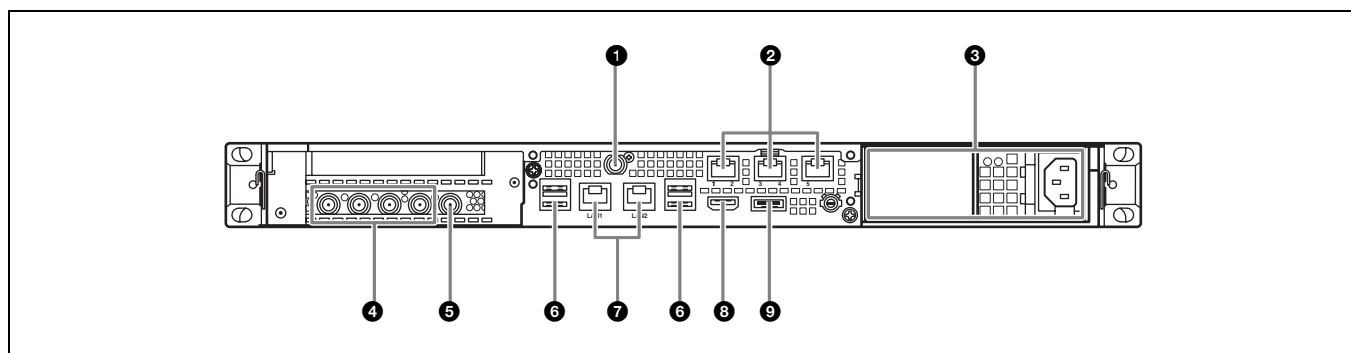
③ TEMP インジケータ

本機内部温度の異常上昇を検出した場合に赤く点灯します。

④ HDD ステータスインジケータ

HDD にワーニングが発生した場合に赤く点灯します。該当の HDD の故障を検出した場合、HDD がスリープ状態の場合、HDD が存在しない場合は消灯します。

背面



① SYSTEM TC 端子

本システムでは使用しません。

② Remote 端子 (1/2、3/4、5)

Remote 1/2、Remote 3/4 端子は、RJ-45 - D-sub 変換ケーブル (同梱) と市販の 9 ピンリモートケーブルを使用して VTR 機器と接続し、VTR 機器のリモート操作を行います。RJ-45 - D-sub 変換ケーブル 1 本と 9 ピンリモートケーブル 2 本を使用して、2 台の VTR と接続することができます。Remote 5 端子は、本システムでは使用しません。

③ AC 電源ユニット

電源コードを挿入して、電源コンセントに接続します。工場出荷時は、AC 電源ユニットが 1 つ装着されています。別売の電源ユニットを追加装着することによって、電源を二重化することができます。信頼性が要求されるシステムで本機を使用するとき、一方の電源ユニットが故障しても運用の継続が可能です。

◆ 電源ユニットの追加または交換については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

④ SDI (1 ~ 4) 端子

左から SDI 1 端子 ~ SDI 4 端子の順になります。

SDI ケーブルで VTR 機器または外部モニターに接続し、SDI 信号の入出力を行います。

SDI 1 端子には、同期の基準信号となる SDI 信号を入力します。

⑤ REF IN 端子

本システムでは使用しません。

⑥ USB 端子 (背面)

USB ケーブルでドライブユニットに接続します。

本書で説明されていない USB 機器については対応していません。

ご注意

- 背面の 4 つの USB 端子のうち、右下のポートのみ給電に対応しています (900 mA)。他の 3 ポートは給電非対応ですので、USB 端子からの電力供給が不要な USB 機器を接続してください。
- ケーブルは、SuperSpeed USB ケーブルをご使用ください。

⑦ LAN 端子

ギガビットイーサネットに接続します。

⑧ HDMI 端子

HDMI ケーブルでディスプレイに接続します。

HDMI ケーブルは、ソニー製ケーブルをご使用ください。

推奨ケーブル (例) : HIGH SPEED HDMI ケーブル
DLC-HE20XF (2m)

⑨ DisplayPort 端子

DisplayPort ケーブルでディスプレイに接続します。

下記の推奨ケーブルをご使用ください。

- LINDY 社製 型番 41630 4K 対応 DisplayPort ケーブル (1m)

ディスプレイについては下記機種で動作を確認済みです。

- ソニー : BVM-F170
- ASUS 社 : PB248Q

ご注意

DisplayPort – DVI 変換ケーブルまたは DisplayPort – HDMI 変換ケーブルをご使用の場合は、アクティブタイプのケーブルを使用してください。

準備

初期設定

本機を使用する前に、本機内の Windows の設定を行います。設定方法については、標準的な Windows 8 の操作方法に準じます。

ご注意

本機を再起動する場合は、Windows の再起動ではなく、いったんシャットダウンさせてから、前面のオン / スタンバイボタンを再度オンにしてください。

- 1 前面の USB 端子にキーボードとマウスを接続し、背面の DisplayPort 端子または HDMI 端子にディスプレイを接続する。
- 2 本体のオン / スタンバイボタンをオンにする。
- 3 Windows のログイン画面が表示されたら、ユーザー名「tds」、パスワード「tds」でログインする。

Windows の表示言語を設定する

- 1 Windows ボタンを押しながら X キーを押し、表示されるメニューから [Control Panel] を選択する。
- 2 [Clock, Language, and Region] の [Language] を選択する。
- 3 言語を追加する場合は、[Add language] を選択する。
- 4 追加する言語を選択し、[Add] をクリックする。
- 5 使用する言語を選択して [Move up] をクリックし、その言語がいちばん上に表示されるようにする。
- 6 いったんサインアウトしてからサインインする。

ネットワークを設定する

- 1 本機背面の LAN 端子に LAN ケーブルを接続し、ネットワークに接続する。
- 2 コントロールパネルの [Network and Internet] – [View network status and tasks] をクリックする。
- 3 [Connections] の [LAN 1/2] をクリックする。
- 4 [Properties] ボタンをクリックする。

- 5 [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[Properties] ボタンをクリックする。
- 6 IP アドレスなどの設定を変更する。
- 7 DNS、WINS などの設定を行う場合は、[Advanced] ボタンをクリックする。
- 8 設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックする。

日時を設定する

- 1 コントロールパネルの [Clock, Language, and Region] で [Date and Time] - [Set the time and date] を選択する。
- 2 [Date and Time] タブの [Change time zone] をクリックして、タイムゾーンを選択する。
- 3 [Date and Time] タブの [Change date and time] をクリックして、日付と時刻を設定する。
- 4 [Internet Time] タブの [Change settings] ボタンをクリックする。
- 5 NTP サーバーを設定し、[Update Now] ボタンをクリックする。
- 6 定期的に NTP サーバーで時刻を補正する場合は、[Synchronize with an Internet time server] をチェックする。

ユーザーのパスワードを設定する

本機内蔵の Windows には、工場出荷時にユーザー「tds」が設定されています。セキュリティのため、このユーザーのパスワードを設定してください。

- 1 コントロールパネルの [User Accounts and Family Safety] をクリックする。
- 2 [User Account] の [Change account type] をクリックする。
- 3 ユーザー「tds」を選択する。
- 4 [Change the password] をクリックする。
- 5 新しいパスワードとヒントを入力し、[Change Password] ボタンをクリックする。

サービスのパスワードを設定する

ユーザー「tds」のパスワードを設定 / 変更したときは以下のとおりサービスのパスワードを設定してください。

- 1 コントロールパネルから [System and Security] - [Administrative tools] - [Services] を選択する。
- 2 サービスのリストで「Apache Tomcat 7.0 Tomcat7」を右クリックし、[Properties] を選択する。
- 3 [Log On] タブを開く。
- 4 [This Account] をクリックして「.¥tds」を入力し、[Password] にユーザー「tds」のパスワードを入力する。
- 5 [Apply] ボタンをクリックし、[OK] をクリックしてダイアログを閉じる。
- 6 サービスのリストで「Sony Ingest Service」を選択し、手順 2 ～ 5 の操作を行う。

ユーザーを追加する

Windows に新規ユーザーを追加します。

- 1 コントロールパネルの [User Accounts and Family Safety] をクリックする。
- 2 [User Accounts] の [Change account type] をクリックする。
- 3 [Add a new user in PC settings] をクリックする。
- 4 [Add a user] をクリックする。
- 5 ユーザー名、パスワード、ヒントを入力し、[Next] をクリックする。
- 6 [Finish] をクリックする。
続けてアカウントタイプを変更します。
- 7 コントロールパネル - [User Accounts and Family Safety] - [Change account type] をクリックする。
- 8 アカウントタイプを変更したいユーザーを選択する。
- 9 [Change the account type] をクリックする。
- 10 [Standard] または [Administrator] を選択して、[Change account type] ボタンをクリックする。

サインアウトする

設定が完了したら、Windows からサインアウトします。

- 1 マウスポインターを画面の右上に移動してチャームを表示し、[Start] をクリックする。
- 2 画面右上のアカウント名をクリックし、[Sign out] をクリックする。

Web メニューの表示

本機の設定・操作は、クライアント PC からネットワークを介して本機に接続し、クライアント PC の Web ブラウザーに Web メニューを表示して行います。

クライアント PC の推奨環境

CPU : Core i5 3 GHz 以上

メモリー : 4GB 以上

OS : Windows 7 Pro 32/64 ビット

Windows 8/8.1 Pro 32/64 ビット

Mac OS X 10.8/10.9

Web ブラウザー : Google Chrome 33 以上

ディスプレイ : 1280 × 960 以上

上記推奨環境を備えたコンピューターを本機背面の LAN 端子 1 または 2 に接続します。コンピューターの Web ブラウザーのアドレス欄に「http:// (IP アドレス) :8080/tds」(「ネットワークを設定する」で設定した IP アドレス) と入力して、Web メニューを表示させます。
ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。
工場出荷時は、下記のユーザー名とパスワードが設定されています。

ユーザー名 : admin

パスワード : tds

システム設定

Web メニューの設定画面で、本システムの設定を行います。

Web メニューにログインする際は、管理者権限のあるユーザーでログインしてください。

なお、Web メニューでの操作について詳しくは、Web メニューのヘルプをご覧ください。

表示言語の切り換え

Web メニューの表示言語を切り換えます。

設定は、設定画面の [個人設定] - [言語] で行います。

動作周波数の選択

本システムの動作周波数を選択します。設定は、設定画面の [インジェスト] ページ [インジェスト設定] で行います。

ユーザーの追加

デフォルトの admin 以外にオペレーターなどのアカウントを追加するには、設定画面の [ユーザー] ページで新規ユーザーを追加してください。

転送先の登録

作成したクリップを転送するカートリッジまたはネットワークサーバーは、設定画面の [転送] ページで登録します。

ライブラリ等のライセンスについて

PWS-100TD1 が使用する各種ライブラリ等のライセンスについては、Web メニューの [ヘルプ] から確認できます。

使用上のご注意

HDD 内蔵機器に対する注意事項

本機には、ハードディスクドライブ（以下 HDD と称する）が搭載されています。HDD は精密部品であり、衝撃・振動・静電気・温度・湿度が原因で故障したり、HDD 内のデータが破損する恐れがあります。本機を設置・使用するときは、以下の注意事項をよくお読みのうえ、慎重に取り扱ってください。

衝撃・振動を与えない

衝撃・振動が加わると HDD が故障あるいは HDD 内のデータが破損される恐れがあります。

- 本機を輸送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。台車などで搬送する場合は、振動の少ない台車を使用してください。過度な衝撃・振動が加わると HDD が故障するおそれがあります。
- 通電中は本機を移動しないでください。
- 本機の外装を取り外さないでください。
- 本機を床などに置くときは、水平で安定した場所に置いてください。
- 振動を発生する機器の近くには置かないでください。
- 本機を車載する場合、走行中は電源をオフにしてください。

電源オフ後 30 秒間は作業しない

電源をオフにした後もしばらくの間は、HDD 内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は、通電中以上に衝撃・振動に弱い状態です。電源オフ後、最低 30 秒間は軽い衝撃も与えないようにご注意ください。30 秒以上経過すれば、（ディスクが静止するので）作業を開始できます。

温度・湿度に関するご注意

適正範囲内の温度・湿度のある場所で、保管・使用してください。（仕様を守ってお使いください。）

HDD に不良症状が現れた場合

万一、本機の HDD が故障した（不良症状が現れた）と思われる場合でも、本機の取り扱い、上記と同様に行ってください。不良内容の確認や不良解析を行うまでの損傷の拡大を防ぎます。

HDD を含む有寿命部品の交換

HDD、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。常温でのご使用の場合、2～5 年を目安に交換することを推奨します。ただし、交換時間は目安であり、部品

の寿命を保証するものではありません。交換の際は買い上げ店にご相談ください。

交換時期については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご確認ください。

電源に関する注意事項

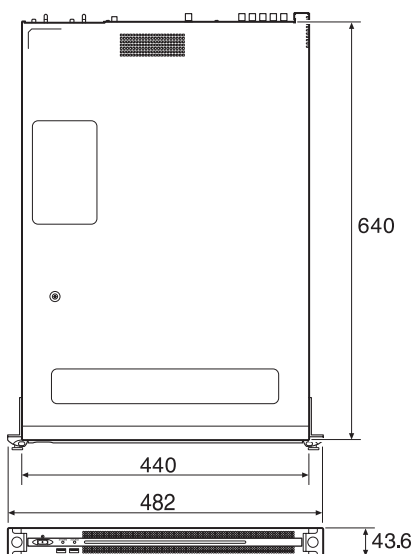
本機が動作中に突然電源が切れた場合、データが壊れる可能性があります。データ保護のため、UPS（無停電電源装置）のご使用をお勧めします。

また、電源コードを抜く場合やブレーカーを落とす場合は、必ず事前に本機のオン/スタンバイボタンを押して本機の動作を停止させてください。

仕様

一般

電源	AC 100 V ~ 240 V 50/60 Hz
消費電力	235 W
待機電力	3 W 以下
使用温度	5 °C ~ 35 °C
保存温度	- 20 °C ~ +55 °C
使用湿度	20% ~ 90% (相対湿度)
保存湿度	75% 以下
質量	14 kg
外形寸法	440 × 436 × 640 mm (幅/高さ/奥行き)



CPU

プロセッサ	Intel Core i7-3770 (3.4 GHz)
メモリ	8 GBytes SO-DIMM (DDR3) (2)
ドライブ (m-SATA)	60 GBytes
ドライブ (HDD)	2.5 インチ、500 GBytes、12 台
拡張バス	PCIe Gen2 8Lane (30W) (2)

入出力

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
USB (前面 / 背面)	Super Speed USB (USB 3.0) Type A (6、うち前面 2、背面 4)

前面：給電対応 (各 900 mA)
背面：右下のポートのみ給電対応
(900 mA)、他 3 ポートは給電非対応

HDMI	Type A (1) HDMI Ver. 1.4a、 最大解像度 1920 × 1200、60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort Ver. 1.1a、 最大解像度 2560 × 1600、60 Hz
Remote	RJ-45 (3) Sony VTR Protocol (9pin) 対応、 RJ-45 - D-sub 変換ケーブル (同梱) が必要です
REF IN	BNC (1) SMPTE-318M 準拠 HD 3 値シンク (0.6Vp-p/75Ω/ 同期負) または SD ブ ラックバースト / コンポジットシンク (0.286Vp-p/ 75Ω/ 同期負)
SDI 1 ~ 4	BNC (4) HD : SMPTE-292M 準拠 SD : SMPTE-259M 準拠

対応フォーマット

コーデック	動作周波数	解像度量子化 ビット数	オーディオ チャンネル
IMX 30M, 40M, 50M	59.94i	720 × 576 422 8bit	8ch (16bit)
	50i	720 × 480 422 8bit	8ch (16bit)
MPEG HD 50M	59.94i, 50i	1920 × 1080 422 8bit	8ch (24bit)
	29.97P, 25P, 23.98P	420 8bit	4ch (16bit)
MPEG HD 35M	59.94i, 50i	1920 × 1080 420 8bit	8ch (24bit)
	29.97P, 25P, 23.98P	422 10bit	8ch (24bit)
XAVC-I 100M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P		

付属品

RJ-45 - D-sub 変換ケーブル 部品番号 1-848-424-11 (SONY) (2)
--

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

Table of Contents

- Overview..... 15**
 - System Configuration Examples..... 16
- Supported Devices 17**
 - Supported VTRs..... 17
 - Supported ODS Drives..... 17
- Name and Function of Parts 18**
 - Front View 18
 - Front View (Panel Removed)..... 18
 - Rear View..... 19
- Setting Up..... 20**
 - Initial Settings 20
 - Displaying the Web Application..... 21
 - System Settings 21
 - Library Licenses..... 22
- Usage Precautions 22**
- Specifications 23**

Overview

The PWS-100TD1 is a system for digitizing VTR material to create clips and for storing clips on cartridges in an Optical Disc Archive System. It features the following functions.

Ingest

The unit creates high-resolution video and proxy video files from input SDI signals from one or more VTRs and stores the ingested clips on internal HDDs. It can also control VTR devices remotely using an RS-422 interface.

Video quality checking

The video quality of ingested clips can be checked automatically. The video can also be checked visually by an operator in the web application screen or on an external monitor.

Clip storage

High-resolution clips can be transferred and stored on cartridges or on a network server.

Workflows

A series of tasks, from ingesting through to transfer of clips, can be executed in a single operation using workflows. A manager can define the workflow tasks to execute and assign an operator to execute the tasks in a work order, and the operator then executes the tasks according to the work order.

Web application

Control and configuration of the unit is performed using a graphical interface displayed in a web browser on a client PC.

Integration with management software

The properties of clips stored on cartridges and proxy video files can be exported and managed using other software.

System Configuration Examples

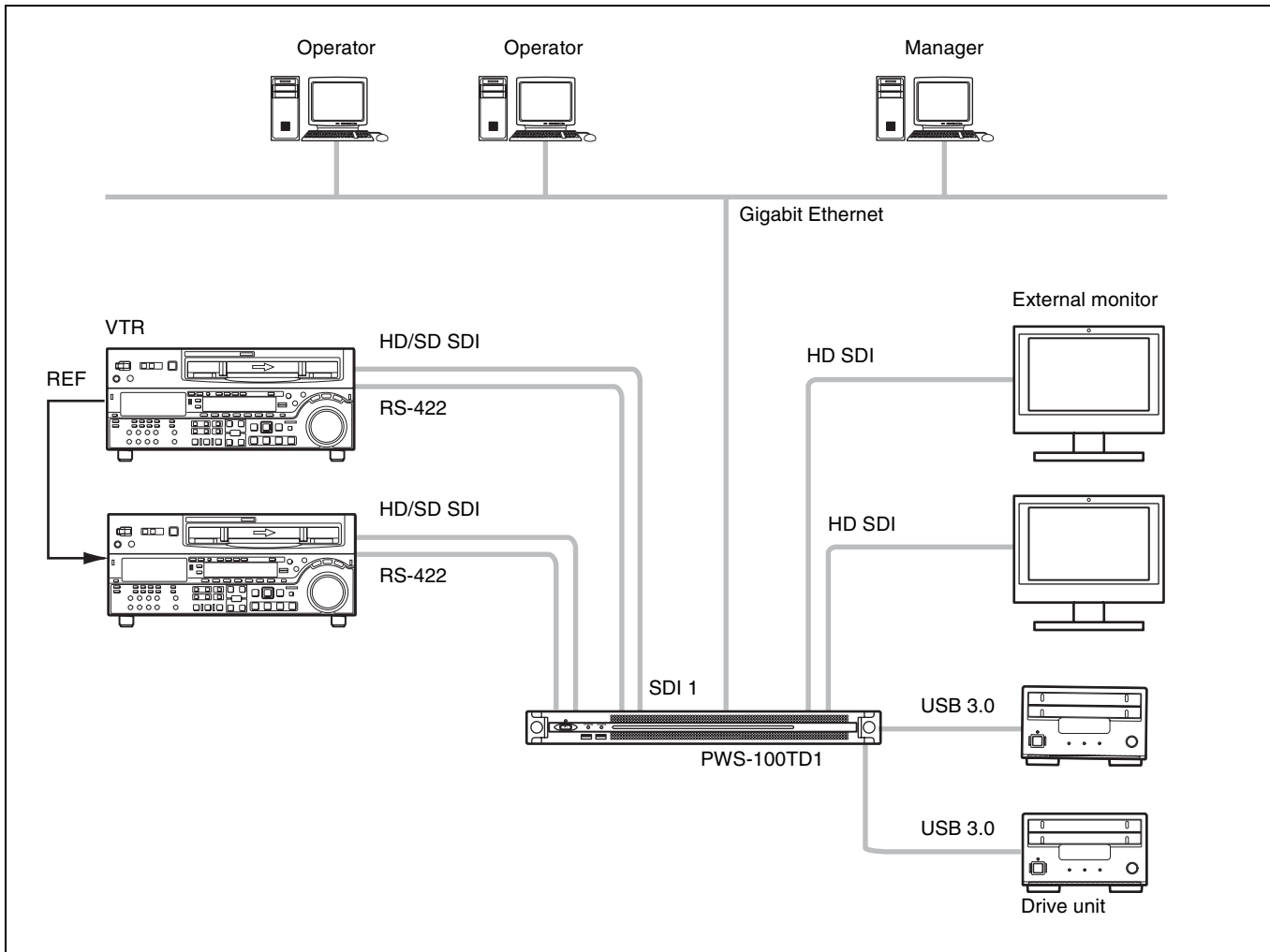
Connect VTRs to the SDI 1 and SDI 2 connectors, and external monitors to the SDI 3 and SDI 4 connectors. You can use this configuration to digitize video from two VTRs in parallel.

You can connect up to two drive units to the PWS-100TD1.

- Set the EE/PB setting of the VTR to PB.
- The PWS-100TD1 is synchronized to the SDI 1 connector input signal. Accordingly, always input a synchronized video signal on the SDI 1 connector.

Notes

- If multiple VTRs are connected, make sure that all VTRs are synchronized ($\pm 1H$).



Supported Devices

Operation with the following devices has been certified.

Supported VTRs

Operation with the following VTRs has been certified.

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

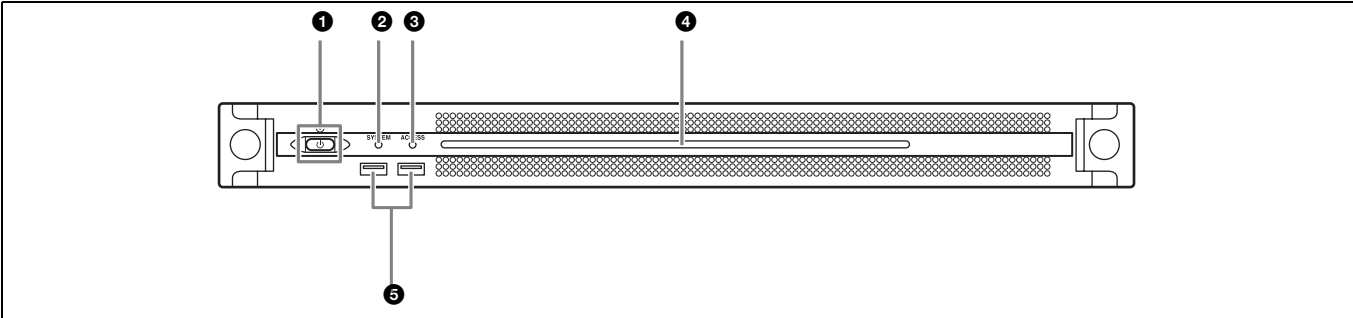
Supported ODS Drives

Operation with the following ODS drives has been certified.

- ODS-D55U
- ODS-D77U

Name and Function of Parts

Front View



❶ On/Standby button and indicator

Switches the unit on/off (standby state). Connecting the power cord places the unit in standby state, and the indicator turns on red. Pressing the On/Standby button while in standby state turns on the unit and the indicator turns on green. Pressing and holding the On/Standby button for two seconds switches the unit to standby state, and the indicator changes to red. To turn the unit on again after switching from On state to standby state, when the indicator is red, press and hold the On/Standby button for three seconds or longer. The indicator goes out when the power cord is disconnected.

❷ SYSTEM indicator

Indicates the status of the unit.

Green: Operating normally

Flashing green (once per second): System is booting or transitioning to standby state.

Flashing orange (once per second): A warning has been generated.

High-speed flashing read (four times per second): An error has occurred.

❸ ACCESS indicator

Indicates the access status to storage.

Off: Not accessing storage

Blue: Accessing storage

❹ Front panel LED

Turns on according to settings in the web application. The LED is configured using [001: LINE LED] in the [Settings] page on the Maintenance screen.

❺ USB connectors (front panel)

Connects to a keyboard and mouse for initializing the unit. USB devices not described in this document are not supported.

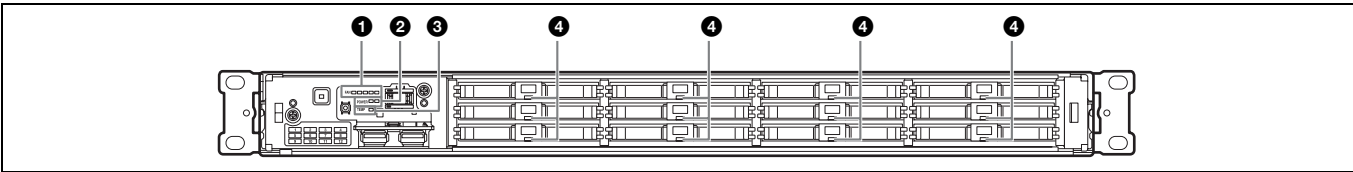
Notes

- Both USB ports on the front panel support power delivery (900 mA).
- Use SuperSpeed USB cables.

Front View (Panel Removed)

When the SYSTEM indicator or web application indicates an error, you can remove the front panel to check the status of the hardware components.

To remove the front panel, loosen the screws on the left and right sides and pull the panel towards you.



❶ FAN indicators

If any of the fans fail, the corresponding fan indicator turns on red.

❷ POWER indicators

If either of the AC power supply units fail, the corresponding indicator turns on red.

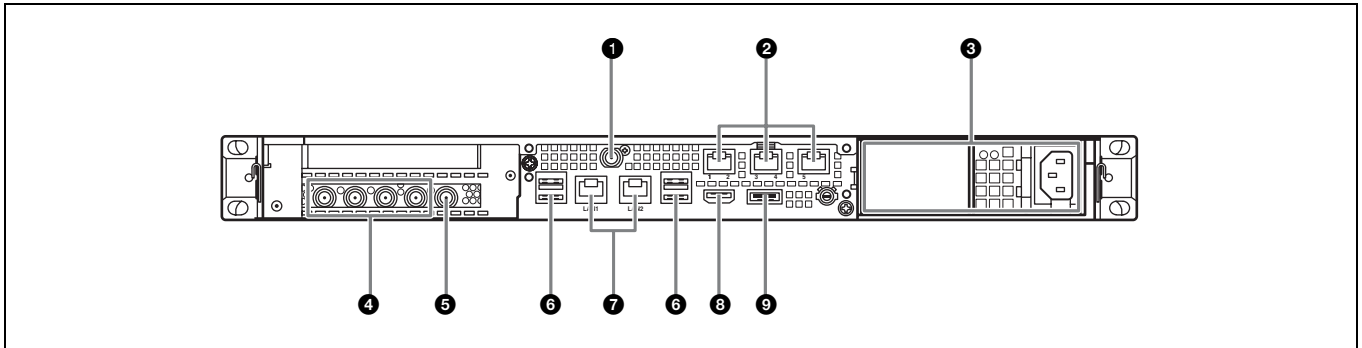
③ TEMP indicator

If an abnormally high temperature is detected within the unit, the indicator turns on red.

④ HDD status indicators

If a warning is generated for an HDD, the corresponding indicator turns on red. The indicator turns off if the corresponding HDD fails, is in sleep state, or has been removed.

Rear View



① SYSTEM TC connector

Not used by this system.

② Remote connectors (1/2, 3/4, 5)

Connect VTR devices to the Remote 1/2 and Remote 3/4 connectors, using the RJ-45 D-sub conversion cable (supplied) and commercially-available 9-pin remote cables, for VTR remote control operation. You can connect two VTRs using a single RJ-45 D-sub conversion cable and two 9-pin remote cables.

The Remote 5 connector is not used by this system.

③ AC power supply units

Insert the power cords and connect to power outlets. Only one AC power supply unit is installed at the factory. A second optional power supply unit can be installed to provide power supply redundancy. When used in systems that require reliability, power supply redundancy allows the unit to continue operating even if a power supply unit fails.

For details about installing or replacing a power supply unit, consult your Sony sales or service representative.

④ SDI (1 to 4) connectors

SDI1 to SDI4 connectors are numbered from left to right. Connect to a VTR device or external monitor, using an SDI cable, to input/output SDI signals. Connect a sync reference signal SDI input to the SDI 1 connector.

⑤ REF IN connector

Not used by this system.

⑥ USB connectors (rear panel)

Connect to drive units using USB cables.

USB devices not described in this document are not supported.

Notes

- Of the four USB connectors on the rear panel, only the bottom right port supports power delivery (900 mA). The other three ports do not support power delivery, and should be used to connect USB devices that do not require power supplied from the USB connector.
- Use SuperSpeed USB cables.

⑦ LAN connectors

Connect to a Gigabit Ethernet network.

⑧ HDMI connector

Connect to a monitor using an HDMI cable.

Use only Sony-brand HDMI cables.

Recommended cable (example): DLC-HE20XF
HIGH SPEED HDMI cable (2 m ((6 ft.))

⑨ DisplayPort connector

Connect to a monitor using a DisplayPort cable.

Use the following recommended cable.

- LINDY 41630 4K-compatible DisplayPort cable (1 m (3 ft.))

The compatibility of the following displays has been confirmed.

- Sony: BVM-F170
- ASUS: PB248Q

Note

Use an active-type cable if using a DisplayPort-DVI conversion cable or DisplayPort-HDMI conversion cable.

Setting Up

Initial Settings

Before using the unit, configure the Windows settings within the unit. The description below describes the standard settings in Windows 8.

Note

To reboot the unit, first shut down the unit and then turn the On/Standby button on the front panel on again, without rebooting Windows.

- 1 Connect a keyboard and mouse to the USB connectors on the front panel, and connect a monitor to the DisplayPort connector or HDMI connector on the rear panel.
- 2 Set the On/Standby button to the On position.
- 3 When the Windows login screen appears, enter “tds” as the user name, enter “tds” as the password, and log in.

Setting the Windows interface language

- 1 Hold down the Windows key and press the X key, then select [Control Panel] from the displayed menu.
- 2 Select [Clock, Language, and Region] > [Language].
- 3 Select [Add language] to add a language.
- 4 Select the language to add, then click [Add].
- 5 Select the language to use and click [Move up] until the language is displayed at the top.
- 6 Sign out and then sign in again.

Configuring the network

- 1 Connect a LAN cable to the LAN connector on the rear panel of the unit, and connect the other end to the network.
- 2 Click [View network status and tasks] under [Network and Internet] in the control panel.
- 3 Click [Connections] > [LAN 1/2].
- 4 Click the [Properties] button.

- 5 Select [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)], then click the [Properties] button.
- 6 Change the IP address and other settings.
- 7 Click the [Advanced] button to configure DNS, WINS, and other settings.
- 8 When finished, click the [OK] button.

Setting the date and time

- 1 Select [Set the time and date] under [Date and Time] in the [Clock, Language, and Region] control panel.
- 2 Click [Change time zone] on the [Date and Time] tab, and select the time zone.
- 3 Click [Change date and time] on the [Date and Time] tab, and set the date and time.
- 4 Click the [Change settings] button on the [Internet Time] tab.
- 5 Specify an NTP server, then click the [Update Now] button.
- 6 Place a check mark in [Synchronize with an Internet time server] to periodically correct the clock using the NTP server.

Setting user passwords

The default user “tds” is configured for Windows within the unit. Set the password for the user to provide security.

- 1 Click [User Accounts and Family Safety] in the control panel.
- 2 Click [User Account] > [Change account type].
- 3 Select the “tds” user.
- 4 Click [Change the password].
- 5 Enter a new password and a password hint, then click the [Change Password] button.

Setting the service password

When setting/modifying the “tds” user password, set the service password as follows.

- 1 Double-click [Services] under [Administrative tools] in the [System and Security] control panel.

- 2** Right-click “Apache Tomcat 7.0 Tomcat7” in the Services list and select [Properties].
- 3** Open the [Log On] tab.
- 4** Click [This account], enter “.tds” and then enter a password for user “tds” under [Password].
- 5** Click the [Apply] button, then click [OK] to close the dialog.
- 6** Select “Sony Ingest Service” in the Services list, and repeats steps **2** to **5**.

Adding a user

You can add new users to Windows.

- 1** Click [User Accounts and Family Safety] in the control panel.
- 2** Click [User Accounts] > [Change account type].
- 3** Click [Add a new user in PC settings].
- 4** Click [Add a user].
- 5** Enter a user name, password, and password hint, then click [Next].
- 6** Click [Finish].
Next, change the account type.
- 7** Click [Change account type] under [User Accounts and Family Safety] in the control panel.
- 8** Select the user whose account type you want to change.
- 9** Click [Change the account type].
- 10** Select [Standard] or [Administrator], then click the [Change account type] button.

Signing out

When finished, sign out from Windows.

- 1** Move the mouse cursor to the top right corner of the screen to display the Charms bar, then click [Start].
- 2** Click the account name on the top right of the screen, then click [Sign out].

Displaying the Web Application

You connect to the unit via the network from a client PC and use the web application in a web browser on the client PC to control and configure the unit.

Recommended client PC environment

CPU: Core i5 3 GHz or higher

Memory: 4 GB or higher

OS: Windows 7 Pro 32/64-bit

Windows 8/8.1 Pro 32/64-bit

Mac OS X 10.8/10.9

Web browser: Google Chrome 33 or later

Display resolution: 1280 × 960 pixels or higher

Connect a computer satisfying the above conditions to the LAN 1 or LAN 2 connector on the rear panel of the unit. Enter “http://(IP_address):8080/tds” in the address bar of a web browser on the computer (where IP_address is the address specified in “*Configuring the network*”) to display the web application.

Enter the user name and password when the login screen appears.

The following user name and password are configured by default.

User name: admin

Password: tds

System Settings

Configure the system on the Setting screen in the web application.

Log in as a user with administrator privileges when logging in to the web application.

For details about operating the web application, refer to the Help of the application.

Changing the interface language

You can change the interface language of the web application.

Select the language in [Language] on the [My Settings] page of the Setting screen.

Operation frequency selection

Select the operation frequency of the system. You select the frequency under [Ingest Settings] on the [Ingest] page of the Setting screen.

Adding users

To add user accounts in addition to the default admin account, add new users on the [Users] page of the Setting screen.

Registering a transfer destination

To transfer ingested clips to a cartridge or network server, register the transfer destination on the [Transfer] page of the Setting screen.

Library Licenses

Refer to the [Help] menu in the web application for the licenses of each type of library used by the PWS-100TD1.

Usage Precautions

Precautions for products with built-in HDD

This unit has a built-in hard disk drive (HDD). The HDD is a precision device. If subject to shock, vibration, static electricity, high temperature or humidity, data loss can occur. When installing and using the unit, closely observe the following precautions.

Protect from shocks and vibrations

When subject to shocks or vibrations, the HDD can be damaged and loss of data on the HDD can occur.

- When transporting the unit, use the specified packing material. When transporting on a dolly or similar, use a type which does not transmit excessive vibrations. Excessive shocks and vibrations can damage the HDD.
- Never move the unit while it is powered.
- Do not remove panels or outer parts of the unit.
- When placing the unit on a floor or other surface, place on a level, stable surface.
- Do not place the unit near other devices that may become a source of vibrations.
- When moving the unit, always turn the power supply off.

Wait for 30 seconds after turning power off

For a brief interval after the power is turned off, the platters inside the HDD will still keep spinning and the heads will be in an insecure position. During this interval, the unit is more susceptible to shocks and vibrations than during normal operation. For a period of at least 30 seconds after turning power off, avoid subjecting the unit even to very light shocks. After this period, the hard disk will be fully stopped and the unit can be manipulated.

Temperature and humidity related precautions

Use and store the unit only in locations where the specified temperature and humidity ranges are not exceeded. (Be sure to use the unit that conforms fully to the specifications of this unit.)

When HDD seems to be faulty

Even if the HDD is showing signs of malfunction, be sure to observe all the above precautions. This will prevent further damage from occurring until the problem can be diagnosed and corrected.

Replacement of the HDD and other consumable parts

The HDD and battery are consumable parts that will need periodic replacement.

When operating at room temperature, a normal replacement cycle will be about 2 to 5 years.

However, this replacement cycle represents only a general guideline and does not imply that the life expectancy of these parts is guaranteed. For details on parts replacement, contact your dealer.

For details about the replacement cycle, contact your Sony sales or service representative.

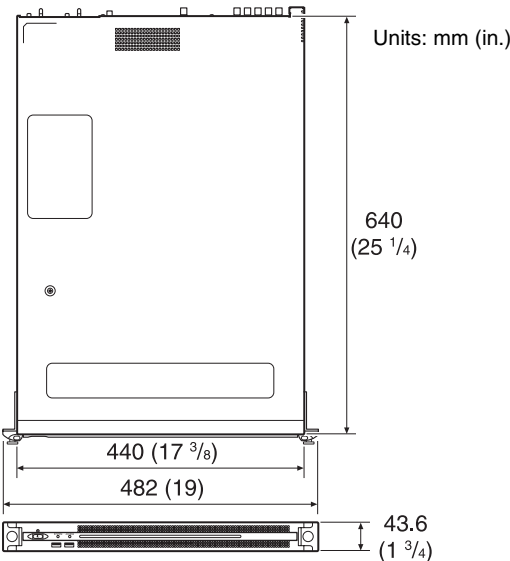
Power supply precautions

If the unit is suddenly turned off during operation, data loss may occur. To maintain data integrity, the use of an uninterruptible power supply (UPS) is recommended. To disconnect the power cord or turn off the breaker, always press the On/Standby button on the unit to stop the unit before proceeding.

Specifications

General

Power requirement	100 V to 240 V AC 50/60 Hz
Power consumption	235 W
Standby power consumption	3 W or lower
Operating temperature	5 °C to 35 °C (41 °F to 95 °F)
Storage temperature	-20 °C to +55 °C (-4 °F to +131 °F)
Operating humidity	20% to 90% (relative humidity)
Storage humidity	75% or lower
Mass	14 kg (30 lb. 14 oz.)
Dimensions	440 × 43.6 × 640 mm (17 ³ / ₈ × 1 ³ / ₄ × 25 ¹ / ₄ in.) (width / height / depth)



CPU

Processor	Intel Core i7-3770 (3.4 GHz)
Memory	8 GBytes SO-DIMM (DDR3) (2)
Drive (m-SATA)	60 GBytes
Drives (HDD)	2.5-inch, 500 GBytes (12)
Expansion bus	PCIe Gen2 8Lane (30 W) (2)

Inputs/outputs

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
USB (front panel/rear panel)	Super Speed USB (USB 3.0) Type A (6, 2 on front and 4 on rear) Front: Power delivery support (900 mA/ port) Rear: Power delivery support on bottom right port (900 mA), not supported on other three ports
HDMI	Type A (1) HDMI Ver. 1.4a, 1920 × 1200 maximum resolution, 60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort Ver. 1.1a, 2560 × 1600 maximum resolution, 60 Hz
Remote	RJ-45 (3) Sony VTR Protocol (9-pin) compatible, requires RJ-45 to D-sub conversion cable (supplied)
REF IN	BNC (1) SMPTE-318M compliant, HD tri-level sync (0.6 Vp-p/75 Ω/sync load) or SD black burst/composite sync (0.286 Vp-p/75 Ω/sync load)
SDI 1 to 4	BNC (4) HD: SMPTE-292M compliant SD: SMPTE-259M compliant

Supported formats

Codec	Operation frequency	Resolution No. of quantization bits	Audio channels
IMX 30M, 40M, 50M	59.94i	720 × 576 422 8-bit	8ch (16-bit)
	50i	720 × 480 422 8-bit	8ch (16-bit)
MPEG HD 50M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 422 8-bit	8ch (24-bit)
MPEG HD 35M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 420 8-bit	4ch (16-bit)
XAVC-I 100M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 422 10-bit	8ch (24-bit)

Supplied accessories

RJ-45 to D-sub conversion cable
Part No. 1-848-424-11 (SONY) (2)

Design and specifications are subject to change without notice.

SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND RESULTING FROM A FAILURE TO IMPLEMENT PROPER SECURITY MEASURES ON TRANSMISSION DEVICES, UNAVOIDABLE DATA LEAKS RESULTING FROM TRANSMISSION SPECIFICATIONS, OR SECURITY PROBLEMS OF ANY KIND.

Notes

- Always make a test recording, and verify that it was recorded successfully.
SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF FAILURE OF THIS UNIT OR ITS RECORDING MEDIA, EXTERNAL STORAGE SYSTEMS OR ANY OTHER MEDIA OR STORAGE SYSTEMS TO RECORD CONTENT OF ANY TYPE.
- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR CLAIMS OF ANY KIND MADE BY USERS OF THIS UNIT OR MADE BY THIRD PARTIES.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE LOSS, REPAIR, OR REPRODUCTION OF ANY DATA RECORDED ON THE INTERNAL STORAGE SYSTEM, RECORDING MEDIA, EXTERNAL STORAGE SYSTEMS OR ANY OTHER MEDIA OR STORAGE SYSTEMS.
- SONY WILL NOT BE LIABLE FOR THE TERMINATION OR DISCONTINUATION OF ANY SERVICES RELATED TO THIS UNIT THAT MAY RESULT DUE TO CIRCUMSTANCES OF ANY KIND.

Table des matières

Présentation.....	26
Exemples de configuration système	27
Périphériques pris en charge.....	28
Magnétoscopes pris en charge.....	28
Lecteurs ODS pris en charge	28
Nomenclature	29
Vue de face	29
Vue de face (panneau retiré).....	29
Vue arrière	30
Mise en service.....	31
Configuration initiale	31
Affichage de l'application web	33
Paramètres du système	33
Licences de bibliothèque	33
Précautions d'utilisation.....	34
Spécifications	35

Présentation

Le PWS-100TD1 est un système conçu pour numériser les signaux vidéo d'un magnétoscope sous forme de plans et pour stocker ceux-ci sur les cartouches d'un système d'archivage sur disque optique (ODA). Cet appareil dispose des fonctions suivantes.

Acquisition

L'appareil crée des fichiers vidéo haute résolution et vidéo proxy à partir des signaux d'entrée SDI en provenance d'un ou de plusieurs magnétoscopes, puis stocke les plans numérisés sur des disques durs internes. Il peut également piloter des magnétoscopes à distance via une interface RS-422.

Contrôle qualité de la vidéo

La qualité vidéo des plans numérisés peut être contrôlée automatiquement. La vidéo peut être également contrôlée visuellement par un opérateur sur l'écran de l'application web ou sur un moniteur externe.

Stockage des plans

Les plans haute résolution peuvent être transférés et stockés sur des cartouches ou sur un serveur réseau.

Flux de travail

Une série de tâches, depuis l'acquisition jusqu'au transfert des plans, peut être exécutée en une seule opération en utilisant des flux de travail. Un responsable peut définir les tâches d'un flux de travail et les attribuer pour exécution à un opérateur sous la forme d'un ordre de travail : l'opérateur exécute ensuite ces tâches conformément à l'ordre de travail.

Application web

Le contrôle et la configuration de l'appareil s'effectuent via une interface graphique qui s'affiche dans le navigateur web d'un PC client.

Intégration avec des logiciels de gestion

Les propriétés des plans stockés sur des cartouches et des fichiers vidéo proxy peuvent être exportées et gérées à l'aide d'autres logiciels.

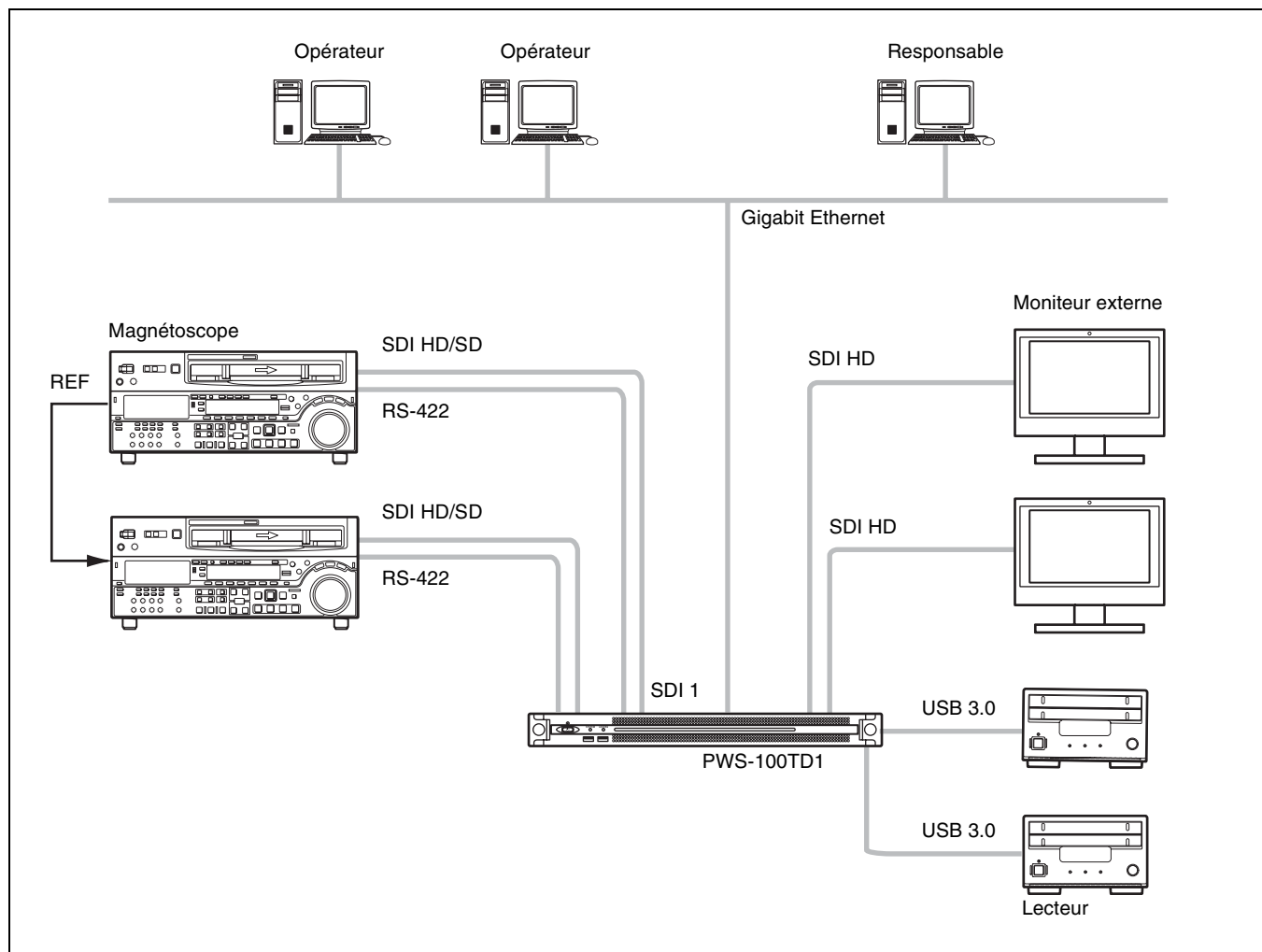
Exemples de configuration système

Raccordez les magnétoscopes aux connecteurs SDI 1 et 2 et les moniteurs externes aux connecteurs SDI 3 et 4. Vous pouvez utiliser cette configuration pour numérisiser des vidéos en provenance de deux magnétoscopes en parallèle. Vous pouvez connecter jusqu'à deux unités de lecture au PWS-100TD1.

- Réglez le paramètre EE/PB du magnétoscope sur PB.
- Le PWS-100TD1 se synchronise sur le signal d'entrée du connecteur SDI 1. Par conséquent, ce connecteur SDI 1 doit toujours recevoir un signal vidéo synchronisé.

Remarques

- Si plusieurs magnétoscopes sont raccordés à l'appareil, veillez à ce que tous les magnétoscopes soient synchronisés ($\pm 1H$).



Périphériques pris en charge

L'utilisation des périphériques suivants a été certifiée.

Magnétoscopes pris en charge

L'utilisation des magnétoscopes suivants a été certifiée.

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

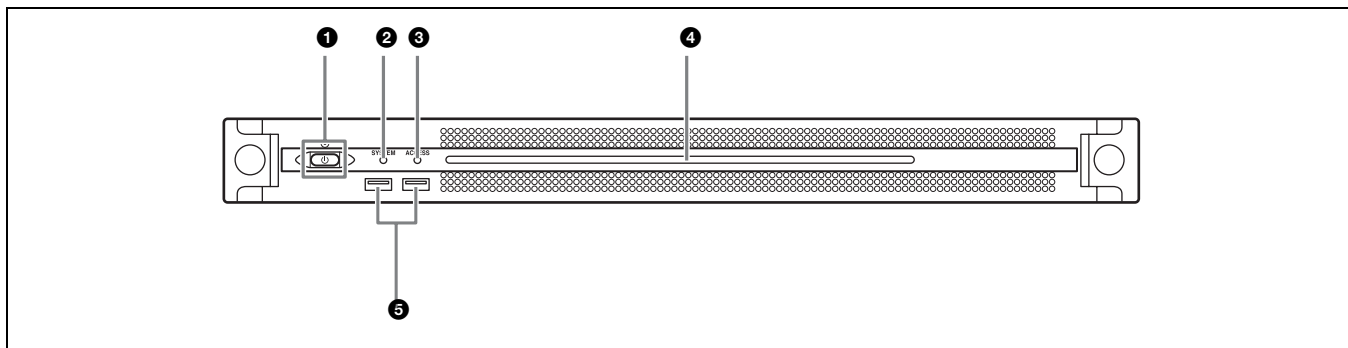
Lecteurs ODS pris en charge

L'utilisation des lecteurs ODS suivants a été certifiée.

- ODS-D55U
- ODS-D77U

Nomenclature

Vue de face



① Touche et indicateur marche/attente

Met l'appareil sous/hors tension (mode d'attente). La connexion du cordon d'alimentation met l'appareil en attente et l'indicateur s'allume en rouge. Appuyez sur la touche marche/attente en mode d'attente pour mettre l'appareil en marche et l'indicateur s'allume en vert. Appuyez et maintenez la touche marche/attente enfoncée pendant deux secondes pour mettre l'appareil en mode d'attente et l'indicateur s'allume en rouge. Pour remettre l'appareil sous tension après l'avoir fait passer du mode marche au mode d'attente, lorsque l'indicateur est allumé en rouge, appuyez et maintenez la touche marche/attente enfoncée pendant trois secondes ou plus. L'indicateur s'éteint lorsque le cordon d'alimentation est débranché.

② Indicateur SYSTEM

Indique l'état de l'appareil.

Vert : Fonctionnement normal

Clignotant en vert (une fois par seconde) : Le système est en cours de démarrage ou en train de passer en mode d'attente.

Clignotant en orange (une fois par seconde) : Un avertissement a été généré.

Clignotant rapidement en rouge (quatre fois par seconde) : Une erreur s'est produite.

③ Indicateur ACCESS

Indique l'état d'accès au stockage.

Éteint : Pas d'accès au stockage

Bleu : Accès au stockage

④ DEL du panneau avant

S'allume en fonction des réglages de l'application web. La DEL est configurée à l'aide de [001: LINE LED] sur la page [Settings] de l'écran Maintenance.

⑤ Connecteurs USB (panneau avant)

Permettent de raccorder un clavier et une souris pour l'initialisation de l'appareil.

Les périphériques USB qui ne sont pas mentionnés dans ce document ne sont pas pris en charge.

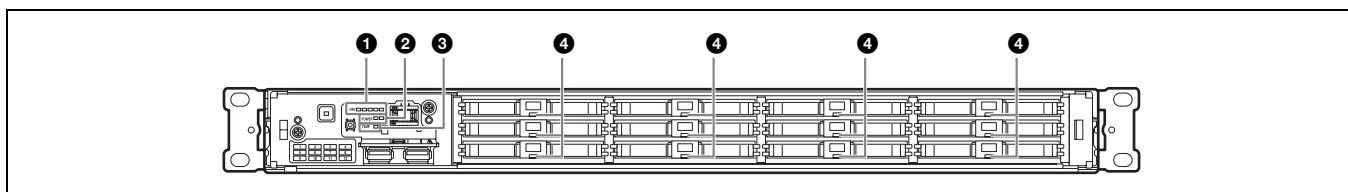
Remarques

- Les deux ports USB sur le panneau avant prennent en charge l'alimentation fournie (900 mA).
- Utilisez les câbles USB SuperSpeed.

Vue de face (panneau retiré)

Lorsque l'indicateur SYSTEM ou l'application web indique une erreur, vous pouvez retirer le panneau avant pour vérifier l'état des composants matériels.

Pour retirer le panneau avant, dévissez les vis des côtés gauche et droit, puis tirez le panneau vers vous.



❶ Indicateurs FAN

Si l'un des ventilateurs tombe en panne, l'indicateur du ventilateur correspondant s'allume en rouge.

❷ Indicateurs POWER

Si l'une des alimentations CA tombe en panne, l'indicateur correspondant s'allume en rouge.

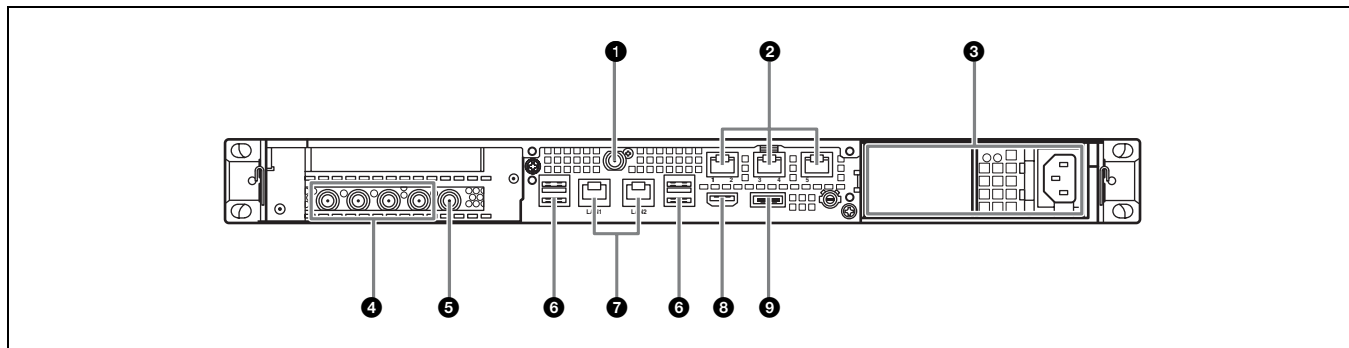
❸ Indicateur TEMP

Si une température anormale est détectée dans l'appareil, cet indicateur s'allume en rouge.

❹ Indicateurs d'état des disques durs

Si un avertissement est généré pour un disque dur, l'indicateur correspondant s'allume en rouge. L'indicateur est éteint si le disque dur correspondant tombe en panne, passe en mode d'attente ou est retiré.

Vue arrière



❶ Connecteur SYSTEM TC

Non utilisé par ce système.

❷ Connecteurs Remote (1/2, 3/4, 5)

Raccordez les magnétoscopes aux connecteurs Remote 1/2 et 3/4 à l'aide du câble de conversion RJ-45 / D-sub (fourni) et des câbles distants à 9 broches disponibles dans le commerce afin de piloter les magnétoscopes à distance. Vous pouvez raccorder deux magnétoscopes à l'aide d'un seul câble de conversion RJ-45 / D-sub et de deux câbles distants à 9 broches.

Le connecteur Remote 5 n'est pas utilisé par ce système.

❸ Unités d'alimentation CA

Insérez les cordons d'alimentation et branchez-les dans les prises électriques.

Une seule unité d'alimentation CA est installée au départ d'usine.

Une deuxième unité d'alimentation optionnelle peut être installée pour fournir une redondance d'alimentation.

Utilisée dans des systèmes qui requièrent de la fiabilité, la redondance d'alimentation permet à l'appareil de continuer à fonctionner même lorsque l'unité d'alimentation principale tombe en panne.

Pour en savoir davantage sur l'installation ou le remplacement d'une unité d'alimentation, contactez le service après-vente ou votre concessionnaire Sony.

❹ Connecteurs SDI (1 à 4)

Les connecteurs SDI 1 à 4 sont numérotés de gauche à droite.

Raccordez un magnétoscope ou un moniteur externe, à l'aide d'un câble SDI, aux signaux d'entrée/sortie SDI. Raccordez le signal d'entrée SDI de référence de synchronisation au connecteur SDI 1.

❺ Connecteur REF IN

Non utilisé par ce système.

❻ Connecteurs USB (panneau arrière)

Raccordez-les aux lecteurs à l'aide de câbles USB.

Les périphériques USB qui ne sont pas mentionnés dans ce document ne sont pas pris en charge.

Remarques

- Sur les quatre connecteurs USB du panneau arrière, seul le port en bas à droite prend en charge l'alimentation fournie (900 mA). Les trois autres ports ne prennent pas en charge l'alimentation fournie et servent à connecter les périphériques USB qui ne nécessitent pas une alimentation fournie par le connecteur USB.
- Utilisez les câbles USB SuperSpeed.

❼ Connecteurs LAN

Raccordez-les à un réseau Gigabit Ethernet.

❽ Connecteur HDMI

Raccordez-le à un moniteur à l'aide d'un câble HDMI. Utilisez uniquement les câbles HDMI de marque Sony.

Câble recommandé (exemple) : DLC-HE20XF câble HIGH SPEED HDMI(2 m (6 pieds))

⑨ Connecteur DisplayPort

Raccordez-le à un moniteur à l'aide d'un câble DisplayPort.

Utilisez le câble recommandé suivant :

- LINDY 41630 câble DisplayPort compatible 4K (1 m (3 pieds))

La compatibilité des écrans suivants a été vérifiée.

- Sony : BVM-F170
- ASUS : PB248Q

Remarque

Si vous utilisez un câble de conversion DisplayPort-DVI ou DisplayPort-HDMI, utilisez un câble de type actif.

Mise en service

Configuration initiale

Avant d'utiliser l'appareil, configurez les paramètres Windows dans l'appareil. La procédure ci-dessous décrit les réglages standard dans Windows 8.

Remarque

Pour redémarrer l'appareil, éteignez d'abord l'appareil puis appuyez de nouveau sur la touche marche/attente sur le panneau avant, sans redémarrer Windows.

- 1 Raccordez un clavier et une souris aux connecteurs USB du panneau avant, puis raccordez un moniteur au connecteur DisplayPort ou au connecteur HDMI du panneau arrière.
- 2 Placez la touche marche/attente en position marche.
- 3 Lorsque l'écran d'ouverture de session Windows s'affiche, saisissez « tds » comme nom d'utilisateur et saisissez « tds » comme le mot de passe vide, puis connectez-vous.

Configuration de la langue de l'interface Windows

- 1 Maintenez la touche Windows enfoncée et appuyez sur la touche X, puis sélectionnez [Control Panel] dans le menu affiché.
- 2 Sélectionnez [Clock, Language, and Region] > [Language].
- 3 Sélectionnez [Add language] pour ajouter une langue.
- 4 Sélectionnez la langue à ajouter, puis cliquez sur [Add].
- 5 Sélectionnez la langue à utiliser et cliquez sur [Move up] jusqu'à ce que la langue s'affiche en haut.
- 6 Fermez votre session actuelle et rouvrez une nouvelle session Windows.

Configuration du réseau

- 1 Raccordez un câble LAN au connecteur LAN du panneau arrière de l'appareil, puis branchez l'autre extrémité au réseau.

- 2** Cliquez sur [View network status and tasks] sous [Network and Internet] dans le panneau de configuration.
- 3** Cliquez sur [Connections] > [LAN 1/2].
- 4** Cliquez sur le bouton [Properties].
- 5** Sélectionnez [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)], puis cliquez sur le bouton [Properties].
- 6** Modifiez l'adresse IP et les autres paramètres à votre convenance.
- 7** Cliquez sur le bouton [Advanced] pour configurer les paramètres DNS, WINS et les autres réglages.
- 8** Lorsque vous avez terminé, cliquez sur le bouton [OK].

Configuration de la date et de l'heure

- 1** Sélectionnez [Set the time and date] sous [Date and Time] dans le panneau de configuration [Clock, Language, and Region].
- 2** Cliquez sur [Change time zone] dans l'onglet [Date and Time], puis sélectionnez le fuseau horaire.
- 3** Cliquez sur [Change date and time] dans l'onglet [Date and Time], puis définissez la date et l'heure.
- 4** Cliquez sur le bouton [Change settings] dans l'onglet [Internet Time].
- 5** Indiquez un serveur NTP, puis cliquez sur le bouton [Update Now].
- 6** Cochez la case [Synchronize with an Internet time server] pour mettre à jour régulièrement l'horloge à l'aide du serveur NTP.

Configuration des mots de passe utilisateur

L'utilisateur par défaut « tds » est configuré pour Windows dans l'appareil. Attribuez un mot de passe à cet utilisateur pour renforcer la sécurité.

- 1** Cliquez sur [User Accounts and Family Safety] dans le panneau de configuration.
- 2** Cliquez sur [User Account] > [Change account type].
- 3** Sélectionnez l'utilisateur « tds ».

- 4** Cliquez sur [Change the password].
- 5** Saisissez un nouveau mot de passe et une question secrète, puis cliquez sur le bouton [Change Password].

Configuration du mot de passe du service

Lors de la configuration/modification du mot de passe utilisateur « tds », configurez le mot de passe du service de la manière suivante.

- 1** Double-cliquez sur [Services] sous [Administrative tools] dans le panneau de configuration [System and Security].
- 2** Faites un clic droit sur « Apache Tomcat 7.0 Tomcat7 » dans la liste des services, puis sélectionnez [Properties].
- 3** Ouvrez l'onglet [Log On].
- 4** Cliquez sur [This account], saisissez « \tds », puis saisissez un mot de passe pour l'utilisateur « tds » sous [Password].
- 5** Cliquez sur le bouton [Apply], puis cliquez sur [OK] pour fermer la boîte de dialogue.
- 6** Sélectionnez « Sony Ingest Service » dans la liste des services, et répétez les étapes **2** à **5**.

Ajout d'un utilisateur

Vous pouvez ajouter de nouveaux utilisateurs à Windows.

- 1** Cliquez sur [User Accounts and Family Safety] dans le panneau de configuration.
- 2** Cliquez sur [User Accounts] > [Change account type].
- 3** Cliquez sur [Add a new user in PC settings].
- 4** Cliquez sur [Add a user].
- 5** Saisissez un nom d'utilisateur, un mot de passe et une question secrète, puis cliquez sur [Next].
- 6** Cliquez sur [Finish].
Ensuite, modifiez le type de compte.
- 7** Cliquez sur [Change account type] sous [User Accounts and Family Safety] dans le panneau de configuration.
- 8** Sélectionnez l'utilisateur dont vous souhaitez modifier le type de compte.

9 Cliquez sur [Change the account type].

10 Sélectionnez [Standard] ou [Administrator], puis cliquez sur le bouton [Change account type].

Fermeture de session

Lorsque vous avez terminé, fermez votre session Windows.

1 Déplacez le pointeur de la souris dans l'angle supérieur droit de l'écran pour afficher la barre des charmes, puis cliquez sur [Start].

2 Cliquez sur le nom du compte dans l'angle supérieur droit de l'écran, puis cliquez sur [Sign out].

Affichage de l'application web

Vous pouvez vous connecter à l'appareil via le réseau à l'aide d'un PC client, puis utiliser l'application web dans un navigateur du client PC pour piloter et configurer l'appareil.

Environnement recommandé du PC client

CPU : Core i5 3 GHz ou supérieur

Mémoire : 4 Go ou supérieur

Système d'exploitation :

Windows 7 Pro 32/64 bits

Windows 8/8.1 Pro 32/64 bits

Mac OS X 10.8/10.9

Navigateur web : Google Chrome 33 ou ultérieur

Résolution d'affichage : 1280 × 960 pixels ou supérieur

Raccordez un ordinateur conforme aux exigences ci-dessus au connecteur LAN 1 ou LAN 2 du panneau arrière de l'appareil. Saisissez « http://(adresse_IP):8080/tds » dans la barre d'adresse du navigateur web de l'ordinateur (où adresse_IP est l'adresse indiquée dans « *Configuration du réseau* ») pour afficher l'application web.

Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe lorsque l'écran d'identification s'affiche.

Le nom d'utilisateur suivant et son mot de passe sont configurés par défaut.

Nom d'utilisateur : admin

Mot de passe : tds

Paramètres du système

Configurez le système dans l'écran Réglages de l'application web.

Identifiez-vous comme un utilisateur avec des droits administrateur lors de l'ouverture de l'application web.

Pour en savoir davantage sur l'utilisation de l'application web, reportez-vous à l'aide de l'application.

Modification de la langue de l'interface

Vous pouvez modifier la langue de l'interface de l'application web.

Sélectionnez la langue dans [Langue] sur la page [Mes réglages] de l'écran Réglages.

Sélection de la fréquence de fonctionnement

Sélectionnez la fréquence de fonctionnement du système.

La fréquence peut être sélectionnée dans [Réglage d'acquisition] sur la page [Acquérir] de l'écran Réglages.

Ajout d'utilisateurs

Pour ajouter des comptes utilisateur en plus du compte administrateur par défaut, ajoutez les nouveaux utilisateurs sur la page [Utilisateur] de l'écran Réglages.

Enregistrement d'une destination de transfert

Pour transférer les plans numérisés sur une cartouche ou un serveur réseau, enregistrez la destination de transfert sur la page [Transférer] de l'écran Réglages.

Licences de bibliothèque

Reportez-vous au menu [Aide] de l'application web pour les licences de chaque type de bibliothèque utilisée par le PWS-100TD1.

Précautions d'utilisation

Précautions pour les appareils avec lecteur de disque dur intégré

Cet appareil est équipé d'un lecteur de disque dur (HDD) interne. Il s'agit d'un appareil de précision. En cas de choc, de vibrations, d'électricité statique et de température ou d'humidité élevée, une perte de données risque de se produire. Observez attentivement les précautions suivantes lors de l'installation et de l'utilisation de l'appareil.

Protection contre les chocs et les vibrations

En cas de chocs ou de vibrations, le lecteur de disque dur risque d'être endommagé et une perte de données est susceptible de se produire.

- Lors du transport de l'appareil, utilisez le matériel d'emballage spécifié. Lors du transport sur un diable ou un autre appareil similaire, utilisez un type de dispositif amortissant les vibrations excessives. Les chocs et vibrations excessifs risquent d'endommager le lecteur de disque dur.
- Ne déplacez jamais l'appareil lorsque celui est sous tension.
- Ne retirez pas les panneaux ou les parties externes de l'appareil.
- Lors de l'installation de l'appareil sur le sol ou un autre endroit, placez-le sur une surface stable et de niveau.
- Ne placez pas l'appareil près d'autres appareils susceptibles de provoquer des vibrations.
- Lors du déplacement de l'appareil, mettez-le toujours hors tension.

Attendez 30 secondes après avoir mis l'appareil hors tension

Les plateaux à l'intérieur du lecteur de disque dur intégré continuent à tourner pendant un court instant après la mise hors tension et les têtes de lecture se trouvent en position dangereuse. Pendant ce court instant, l'appareil est plus sensible aux chocs et aux vibrations qu'en fonctionnement normal. Évitez de soumettre l'appareil à des chocs, même très légers, pendant au moins 30 secondes après la mise hors tension. Ensuite, le disque dur s'arrête complètement et l'appareil peut être déplacé.

Précautions relatives à la température et à l'humidité

Utilisez et rangez l'appareil uniquement dans des endroits respectant les plages de températures et d'humidité spécifiées. (Je suis les spécifications de cet appareil par tous les moyens et s'il vous plaît l'utilise.)

En cas de lecteur de disque dur défectueux

Même si le lecteur de disque dur intégré montre des signes de problème de fonctionnement, veuillez observer toutes les précautions ci-dessus. Cela évitera d'aggraver les

dommages jusqu'à ce que le problème puisse être diagnostiqué et corrigé.

Remplacement du disque dur et d'autres consommables

Le disque dur et la batterie sont des consommables qui doivent être régulièrement remplacés. Lorsque vous utilisez l'appareil à température ambiante, le cycle de remplacement est d'environ 2 à 5 ans. Mais ce cycle de remplacement ne représente qu'une indication et ne garantit pas la durée de vie de ces consommables. Pour plus de détails sur le remplacement de ces pièces, veuillez contacter votre revendeur.

Pour en savoir davantage sur le cycle de remplacement, contactez le service après-vente ou votre concessionnaire Sony.

Précautions relatives à l'alimentation électrique

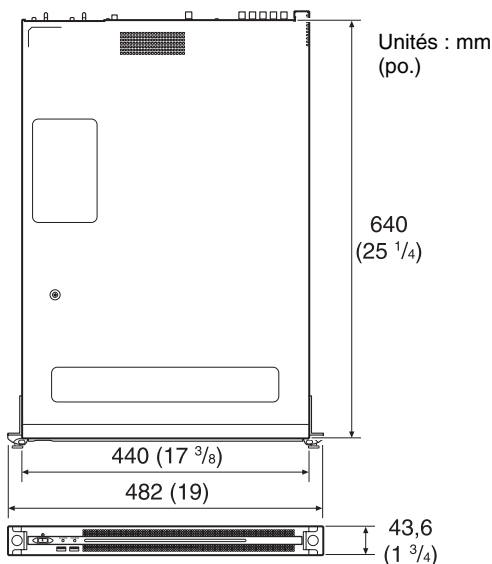
Une mise hors tension soudaine de l'appareil lors de son fonctionnement peut entraîner une perte de données. Afin de préserver l'intégrité des données, l'utilisation d'un onduleur est recommandée.

Appuyez toujours sur la touche marche/attente de l'appareil avant de débrancher le cordon d'alimentation ou d'éteindre le disjoncteur.

Spécifications

Généralités

Condition d'alimentation	100 V à 240 V CA 50/60 Hz
Consommation électrique	235 W
Consommation électrique en mode d'attente	3 W ou moins
Température de fonctionnement	5 °C à 35 °C (41 °F à 95 °F)
Température de rangement	-20 °C à +55 °C (-4 °F à +131 °F)
Humidité de fonctionnement	20% à 90% (humidité relative)
Humidité de rangement	75% ou moins
Poids	14 kg (30 li. 14 on.)
Dimensions	440 × 43,6 × 640 mm (17 3/8 × 1 3/4 × 25 1/4 po.) (largeur / hauteur / profondeur)



CPU

Processeur	Intel Core i7-3770 (3,4 GHz)
Mémoire	8 Go SO-DIMM (DDR3) (2)
Lecteur (m-SATA)	60 Go
Disques durs (HDD)	2,5 pouces, 500 Go (12)
Bus d'extension	PCIe Gen2 8Lane (30 W) (2)

Entrées/sorties

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
USB (panneau avant / panneau arrière)	USB super rapide (USB 3.0) Type A (6, 2 à l'avant et 4 à l'arrière) Avant : prise en charge de l'alimentation fournie (900 mA/port) Arrière : le port en bas à droite prend en charge l'alimentation fournie (900 mA). Alimentation non prise en charge par les trois autres ports.
HDMI	Type A (1) HDMI Ver. 1.4a, 1920 × 1200 résolution maximale, 60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort Ver. 1.1a, 2560 × 1600 résolution maximale, 60 Hz
Remote	RJ-45 (3) Compatible Sony VTR Protocol (9 broches), nécessite un câble de conversion RJ-45 / D-sub (fourni)
REF IN	BNC (1) Conforme SMPTE-318M, synchronisation HD à trois niveaux (0,6 Vp-p/75 Ω/synchronisation en charge) ou synchronisation SD composite / salve noire (0,286 Vp-p/75 Ω/synchronisation en charge)
SDI 1 à 4	BNC (4) HD : Conforme SMPTE-292M SD : Conforme SMPTE-259M

Formats pris en charge

Codec	Fréquence de fonctionnement	Résolution Nombre de bits de quantification	Canaux audio
IMX 30M, 40M, 50M	59.94i	720 × 576 422 8 bits	8 canaux (16-bits)
	50i	720 × 480 422 8 bits	8 canaux (16-bits)
MPEG HD 50M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 422 8 bits	8 canaux (24-bits)
MPEG HD 35M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 420 8 bits	4 canaux (16-bits)
XAVC-I 100M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 422 10 bits	8 canaux (24-bits)

Accessoires fournis

Câble de conversion RJ-45 / D-sub

Pièce N° 1-848-424-11 (SONY) (2)

La conception et les spécifications sont sujettes à des modifications sans préavis.

Sony ne peut être tenue responsable de tout dommage, de quelque nature que ce soit, résultant d'une incapacité à mettre en place des mesures de sécurité adaptées pour les dispositifs de transmission, de fuites de données inévitables dues aux spécifications de transmission ou de tout autre problème de sécurité.

Remarques

- Effectuez toujours un essai d'enregistrement pour vérifier que l'enregistrement s'est fait correctement. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, suite au manquement de cet appareil ou de son support d'enregistrement, de systèmes de mémoire extérieurs ou de tout autre support ou système de mémoire à enregistrer un contenu de tout type.**
- Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour les réclamations, quelle qu'elles soient, effectuées par les utilisateurs de cet appareil ou par des tierces parties.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour la perte, la réparation ou la reproduction de toutes données enregistrées sur le système de mémoire intérieur, le support d'enregistrement, les systèmes de mémoire extérieurs ou tout autre support ou système de mémoire.**
- **Sony n'assumera pas de responsabilité pour la cessation ou l'interruption de tout service lié à cet appareil, résultant de quelque circonstance que ce soit.**

Inhaltsverzeichnis

Überblick	38
Beispiele für Systemkonfigurationen	39
Unterstützte Geräte	40
Unterstützte MAZ.....	40
Unterstützte Archivlaufwerke für optische Speicher	40
Name und Funktion der Teile	41
Vorderansicht	41
Vorderansicht (mit abgenommener Blende)	41
Rückansicht	42
Einrichtung	43
Ersteinstellungen	43
Anzeigen der Web-Anwendung	45
Systemeinstellungen	45
Bibliothekslizenzen	45
Vorsichtsmaßnahmen	46
Spezifikationen	47

Überblick

Die PWS-100TD1 ist ein System zur Digitalisierung von MAZ-Material zur Erstellung von Clips und Aufbewahrung der Clips auf Kassetten in einem Archivsystem für optische Datenspeicher. Das System verfügt über die nachfolgenden Funktionen.

Einspeisung

Das Gerät erstellt hochauflösende und Proxy-Videodateien aus SDI-Eingangssignalen von einem oder mehreren MAZ und speichert die eingespeisten Clips auf internen Festplatten. Es kann die MAZ-Geräte über eine RS-422-Schnittstelle auch fernsteuern.

Video-Qualitätsüberprüfung

Die Videoqualität der eingelesenen Clips kann automatisch überprüft werden. Das Video kann auch von einem Bediener in der Web-Anwendung oder auf einem externen Monitor visuell überprüft werden.

Aufbewahren von Clips

Hochauflösende Clips können zur Aufbewahrung auf Kassetten oder einen Netzwerkserver übertragen werden.

Arbeitsabläufe

Eine Reihe von Aufgaben, von der Einspeisung bis hin zur Übertragung von Clips, kann mit Arbeitsabläufen als einzelner Prozess ausgeführt werden. Ein Manager definiert die im Arbeitsablauf auszuführenden Aufgaben und weist einen Bediener zu, der die Aufgaben aus einem Arbeitsauftrag ausführt. Der Bediener führt die Aufgaben dann entsprechend dem Arbeitsauftrag aus.

Web-Anwendung

Das Gerät wird über eine grafische Benutzeroberfläche gesteuert und konfiguriert, die in einem Webbrowser auf einem Client-PC angezeigt wird.

Integration mit Management-Software

Die Eigenschaften von auf Kassetten gespeicherten Clips und Proxy-Videodateien können exportiert und mit externer Software verwaltet werden.

Beispiele für Systemkonfigurationen

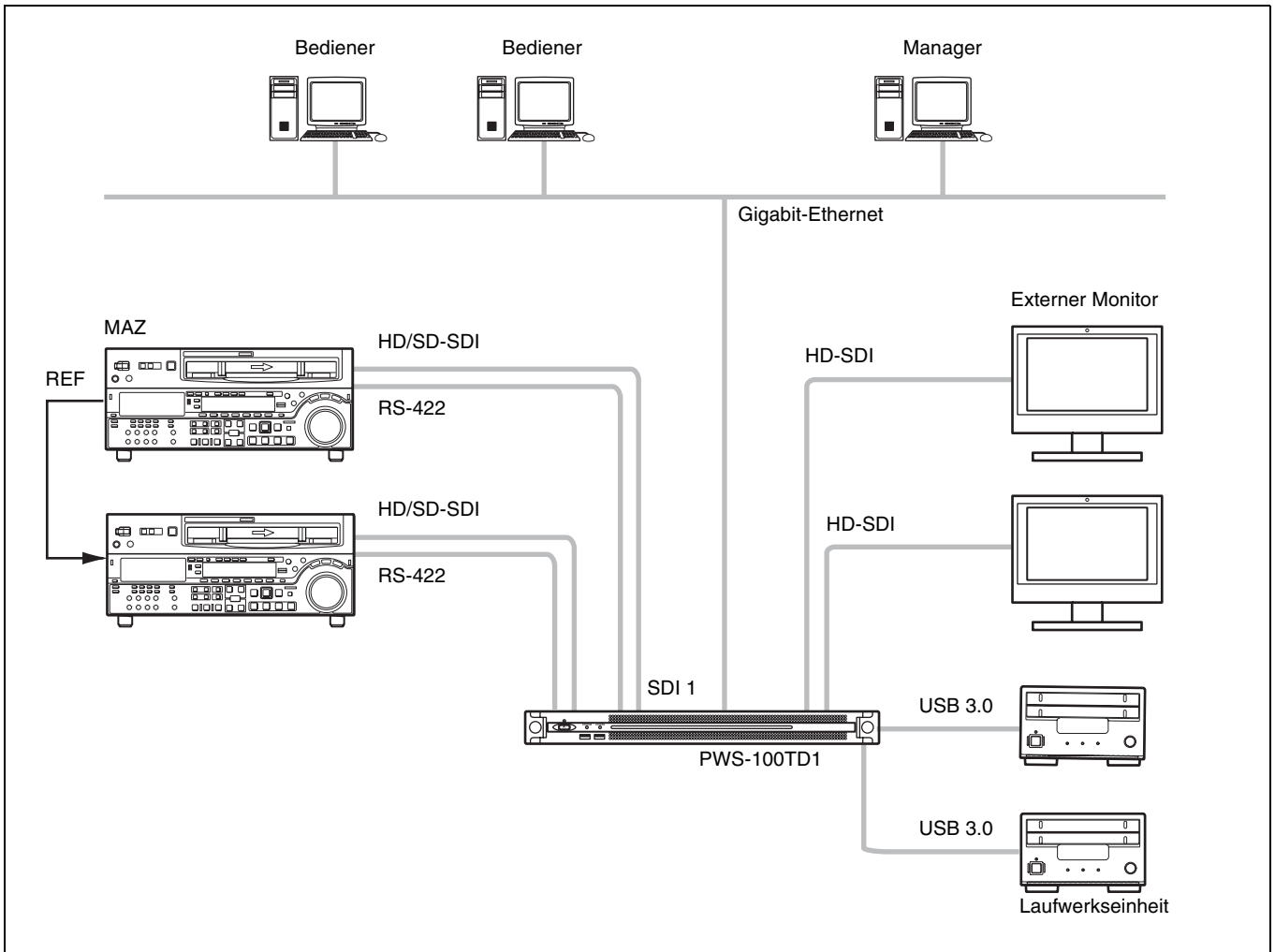
Schließen Sie MAZ an den SDI 1- und SDI 2-Anschluss und externe Monitore an den SDI 3- und SDI 4-Anschluss an. Mit dieser Konfiguration können Sie Video von zwei MAZ parallel digitalisieren.

Sie können bis zu zwei Laufwerkseinheiten an das PWS-100TD1 anschließen.

- Stellen Sie die EE/PB-Einstellung des MAZ auf PB.
- Die PWS-100TD1 ist mit dem Eingangssignal des SDI 1-Anschlusses synchronisiert. Legen Sie dementsprechend immer ein synchronisiertes Video-Eingangssignal auf den SDI 1-Anschluss.

Hinweise

- Wenn mehrere MAZ angeschlossen sind, müssen diese synchronisiert sein ($\pm 1H$).



Unterstützte Geräte

Der Betrieb mit den folgenden Geräten wurde erfolgreich getestet.

Unterstützte MAZ

Der Betrieb mit den folgenden MAZ wurde erfolgreich getestet.

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

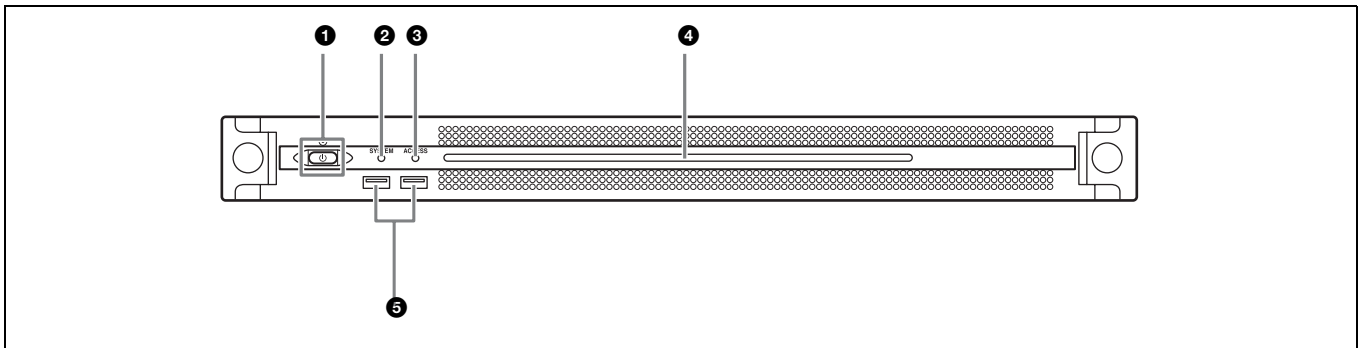
Unterstützte Archivlaufwerke für optische Speicher

Der Betrieb mit den folgenden Archivlaufwerken für optische Speicher wurde erfolgreich getestet.

- ODS-D55U
- ODS-D77U

Name und Funktion der Teile

Vorderansicht



1 Taste und LED Ein/Bereitschaft

Schaltet das Gerät ein- und aus (Bereitschaftsmodus). Wenn das Netzkabel angeschlossen wird, wird das Gerät in den Bereitschaftsmodus versetzt und die LED leuchtet rot. Wenn im Bereitschaftsmodus die Taste Ein/Bereitschaft gedrückt wird, wird das Gerät eingeschaltet und die LED leuchtet grün. Wenn die Taste Ein/Bereitschaft zwei Sekunden lang gedrückt wird, wird das Gerät in den Bereitschaftsmodus versetzt, und die LED leuchtet rot. Wenn die LED rot leuchtet und Sie das Gerät wieder einschalten möchten, halten Sie die Taste Ein/Bereitschaft drei Sekunden oder länger gedrückt. Die LED erlischt, wenn das Netzkabel vom Gerät getrennt wird.

2 SYSTEM-LED

Gibt den Status des Gerätes an.

Grün: Normaler Betrieb

Grünes Blinken (einmal pro Sekunde): System startet oder wechselt in den Bereitschaftsmodus.

Oranges Blinken (einmal pro Sekunde): Eine Warnmeldung wurde ausgegeben.

Schnelles rotes Blinken (viermal pro Sekunde): Ein Fehler ist aufgetreten.

3 ACCESS-LED

Gibt den Status des Zugriffs auf den Speicher an.

Aus: Kein Zugriff auf Speicher

Blau: Zugriff auf Speicher

4 LED auf der Frontblende

Leuchtet entsprechend den Einstellungen im Menü der Web-Anwendung. Die LED wird über [001: LINE LED] auf der Seite [Settings] des Wartungsbildschirms konfiguriert.

5 USB-Anschlüsse (Frontblende)

Zum Anschluss einer Tastatur und einer Maus für die Initialisierung des Gerätes.

USB-Geräte, die nicht in diesem Dokument beschrieben werden, werden nicht unterstützt.

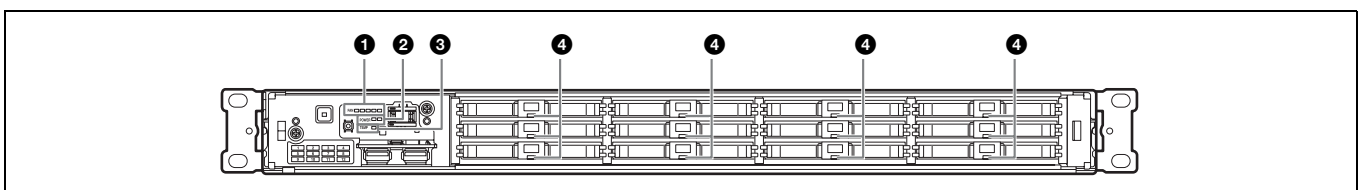
Hinweise

- Beide USB-Anschlüsse an der Frontblende unterstützen die Stromversorgung (900 mA).
- Verwenden Sie SuperSpeed-USB-Kabel.

Vorderansicht (mit abgenommener Blende)

Wenn die SYSTEM-LED oder das Menü der Web-Anwendung einen Fehler anzeigt, können Sie die Frontblende abnehmen, um den Status der Hardwarekomponenten zu überprüfen.

Lösen Sie zum Entfernen der Frontblende die Schrauben auf der linken und rechten Seite und ziehen Sie die Blende nach vorne ab.



❶ FAN-LEDs

Bei einer Fehlfunktion eines Lüfters leuchtet die entsprechende LED rot.

❷ POWER-LEDs

Bei einer Fehlfunktion eines Netzteils leuchtet die entsprechende LED rot.

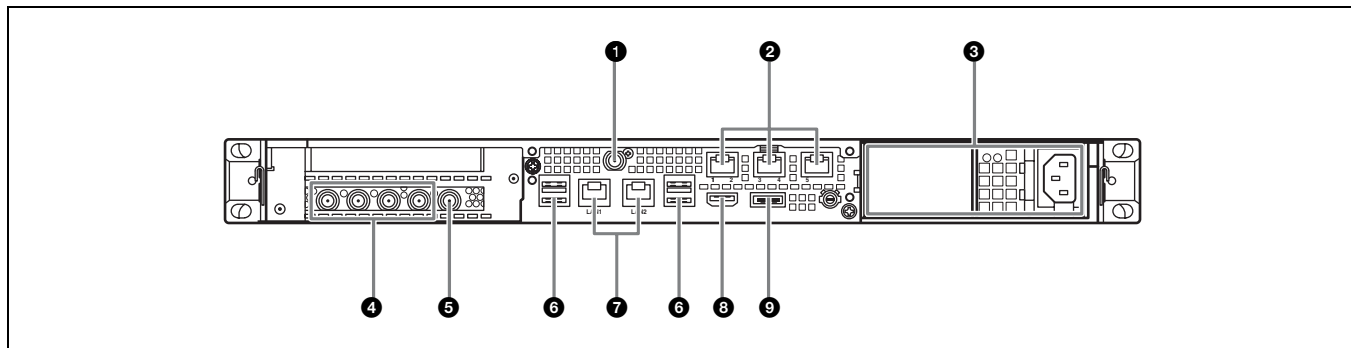
❸ TEMP-LED

Wenn im Gerät eine ungewöhnlich hohe Temperatur erkannt wird, leuchtet die Anzeige rot.

❹ Festplattenstatus-LEDs

Wenn eine Warnung für eine Festplatte ausgegeben wird, leuchtet die entsprechende LED rot. Die LED erlischt, wenn die entsprechende Festplatte ausfällt, sich im Ruhemodus befindet oder entfernt wurde.

Rückansicht



❶ SYSTEM TC-Anschluss

Von diesem System nicht verwendet.

❷ Remote-Anschlüsse (1/2, 3/4, 5)

Hier MAZ-Geräte zum ferngesteuerten Betrieb an die Remote-Anschlüsse 1/2 und 3/4 anschließen. Dazu sind das Konvertierungskabel von RJ-45 D-sub (im Lieferumfang enthalten) und handelsübliche 9-polige Remote-Kabel erforderlich. Mit einem Konvertierungskabel von RJ-45 D-sub und zwei 9-poligen Remote-Kabeln können zwei MAZ angeschlossen werden.

Der Remote-Anschluss 5 wird von diesem System nicht verwendet.

❸ Netzteile

Hier Stromkabel anschließen und mit Steckdosen verbinden.

Werkseitig ist nur ein Netzteil installiert.

Optional kann ein zweites Netzteil installiert werden, wenn eine redundante Stromversorgung gewünscht ist. Bei der Verwendung in Systemen, die eine hohe Zuverlässigkeit erfordern, kann das Gerät durch eine redundante Stromversorgung auch dann weiterbenutzt werden, wenn ein Netzteil ausgefallen ist.

Ausführliche Informationen zum Installieren oder Austauschen eines Netzteils erhalten Sie von Ihrem örtlichen Sony-Vertreter oder Kundendienst.

❹ SDI-Anschlüsse (1 bis 4)

Die Anschlüsse SDI1 bis SDI4 sind von links nach rechts nummeriert.

Mittels SDI-Kabel ein MAZ-Gerät oder einen externen Monitor verbinden, um SDI-Signale ein-/auszugeben. SDI-Synchronisierungsreferenz-Eingangssignal mit dem SDI 1-Anschluss verbinden.

❺ REF IN-Anschluss

Von diesem System nicht verwendet.

❻ USB-Anschlüsse (Rückseite)

Mittels USB-Kabeln mit den Laufwerkseinheiten verbinden.

USB-Geräte, die nicht in diesem Dokument beschrieben werden, werden nicht unterstützt.

Hinweise

- Von den vier USB-Anschlüssen auf der Geräterückseite unterstützt nur der untere rechte Anschluss die Stromversorgung (900 mA). Die anderen drei Anschlüsse unterstützen keine Stromversorgung und sollten verwendet werden, um USB-Geräte anzuschließen, die keine vom USB-Anschluss gelieferte Stromversorgung benötigen.
- Verwenden Sie SuperSpeed-USB-Kabel.

❼ LAN-Anschlüsse

Mit einem Gigabit-Ethernet-Netzwerk verbinden.

❽ HDMI-Anschluss

Mittels eines HDMI-Kabels mit einem Monitor verbinden.

Verwenden Sie nur HDMI-Kabel der Marke SONY.
Empfohlenes Kabel (Beispiel): DLC-HE20XF HIGH
SPEED HDMI-Kabel (2 m)

⑨ DisplayPort-Anschluss

Mittels eines DisplayPort-Kabels mit einem Monitor verbinden.

Verwenden Sie das folgende empfohlene Kabel.

- LINDY 41630 4K-kompatibles DisplayPort-Kabel (1 m)

Die Kompatibilität der folgenden Bildschirme wurde bestätigt.

- Sony: BVM-F170
- ASUS: PB248Q

Hinweis

Verwenden Sie ein Aktiv-Kabel, falls Sie ein DisplayPort-DVI-Konvertierungskabel oder ein DisplayPort-HDMI Konvertierungskabel verwenden.

Einrichtung

Ersteinstellungen

Konfigurieren Sie die Windows-Einstellungen des Geräts, bevor Sie es verwenden. Die nachfolgende Beschreibung verwendet die Standardeinstellungen in Windows 8.

Hinweis

Um das Gerät neu zu starten, schalten Sie es zuerst aus und schalten Sie dann die Taste Ein/Bereitschaft an der Frontblende wieder ein, ohne Windows neu zu starten.

- 1 Schließen Sie eine Tastatur und Maus an die USB-Anschlüsse an der Frontblende an, und schließen Sie einen Monitor an den DisplayPort- oder HDMI-Anschluss auf der Rückseite an.
- 2 Schalten Sie die Taste Ein/Bereitschaft ein.
- 3 Geben Sie am Windows-Anmeldebildschirm als Benutzernamen „tds“ und Passwort „tds“ ein, dann melden Sie sich an.

Einstellen der Sprache der Windows-Oberfläche

- 1 Halten Sie die Windows-Taste gedrückt, und drücken Sie die Taste X. Wählen Sie im anschließend angezeigten Menü [Control Panel].
- 2 Wählen Sie [Clock, Language, and Region] > [Language].
- 3 Wählen Sie [Add language], um eine Sprache hinzuzufügen.
- 4 Wählen Sie die hinzuzufügende Sprache, und klicken Sie auf [Add].
- 5 Wählen Sie die zu verwendende Sprache, und klicken Sie auf [Move up], bis die Sprache ganz oben angezeigt wird.
- 6 Melden Sie sich ab und wieder an.

Konfigurieren des Netzwerks

- 1 Verbinden Sie ein LAN-Kabel mit dem LAN-Anschluss auf der Rückseite des Geräts, und verbinden Sie das andere Ende des Kabels mit dem Netzwerk.

- 2** Klicken Sie in der Systemsteuerung auf [View network status and tasks] unter [Network and Internet].
- 3** Klicken Sie auf [Connections] > [LAN 1/2].
- 4** Klicken Sie auf [Properties].
- 5** Wählen Sie [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)], und klicken Sie anschließend auf [Properties].
- 6** Ändern Sie die IP-Adresse und die anderen Einstellungen nach Bedarf.
- 7** Klicken Sie auf [Advanced], um DNS, WINS und andere Einstellungen zu konfigurieren.
- 8** Wenn alle Einstellungen vorgenommen sind, klicken Sie auf [OK].

Einstellen von Datum und Uhrzeit

- 1** Wählen Sie in der Systemsteuerung [Set the time and date] unter [Date and Time] im Menü [Clock, Language, and Region].
- 2** Klicken Sie auf [Change time zone] auf der Registerkarte [Date and Time], und wählen Sie die Zeitzone.
- 3** Klicken Sie auf [Change date and time] auf der Registerkarte [Date and Time], und stellen Sie Datum und Uhrzeit ein.
- 4** Klicken Sie auf [Change settings] auf der Registerkarte [Internet Time].
- 5** Geben Sie einen NTP-Server an, und klicken Sie auf [Update Now].
- 6** Aktivieren Sie das Kontrollkästchen neben [Synchronize with an Internet time server], um die Uhr in regelmäßigen Abständen anhand des NTP-Servers zu korrigieren.

Einstellen von Benutzerpasswörtern

Innerhalb des Geräts ist für Windows der Standardbenutzer „tds“ konfiguriert. Stellen Sie ein Passwort für den Benutzer ein, um mehr Sicherheit zu erhalten.

- 1** Klicken Sie in der Systemsteuerung auf [User Accounts and Family Safety].

- 2** Klicken Sie auf [User Account] > [Change account type].
- 3** Wählen Sie den Benutzer „tds“.
- 4** Klicken Sie auf [Change the password].
- 5** Geben Sie ein neues Passwort und einen Passworthinweis ein, und klicken Sie dann auf [Change Password].

Einstellen des Servicepasswortes

Stellen Sie beim Einstellen/Ändern des „tds“-Benutzerpasswortes das Servicepasswort wie folgt ein.

- 1** Doppelklicken Sie in der Systemsteuerung [System and Security] unter [Administrative tools] auf [Services].
- 2** Rechtsklicken Sie in der Service-Liste auf „Apache Tomcat 7.0 Tomcat7“ und wählen Sie [Properties].
- 3** Öffnen Sie die Registerkarte [Log On].
- 4** Klicken Sie auf [This account], geben Sie „\tds“ ein und geben Sie dann für Benutzer „tds“ unter [Password] ein Passwort ein.
- 5** Klicken Sie auf die Taste [Apply], klicken Sie dann auf [OK], um den Dialog zu schließen.
- 6** Wählen Sie in der Service-Liste „Sony Ingest Service“ und wiederholen Sie die Schritte **2** bis **5**.

Hinzufügen von Benutzern

Sie können neue Windows-Benutzer hinzufügen.

- 1** Klicken Sie in der Systemsteuerung auf [User Accounts and Family Safety].
- 2** Klicken Sie auf [User Accounts] > [Change account type].
- 3** Klicken Sie auf [Add a new user in PC settings].
- 4** Klicken Sie auf [Add a user].
- 5** Geben Sie einen Benutzernamen, ein Passwort und einen Passworthinweis ein, und klicken Sie auf [Next].
- 6** Klicken Sie auf [Finish].
Ändern Sie als nächstes den Kontotyp.

- 7** Klicken Sie in der Systemsteuerung auf [Change account type] unter [User Accounts and Family Safety].
- 8** Wählen Sie den Benutzer aus, dessen Kontotyp Sie ändern möchten.
- 9** Klicken Sie auf [Change the account type].
- 10** Wählen Sie [Standard] oder [Administrator], und klicken Sie anschließend auf [Change account type].

Abmelden

Melden Sie sich von Windows ab, wenn Sie die Einstellungen beendet haben.

- 1** Bewegen Sie den Mauszeiger nach oben rechts, um die Charms anzuzeigen, und klicken Sie auf [Start].
- 2** Klicken Sie oben rechts auf den Kontonamen, und klicken Sie anschließend auf [Sign out].

Anzeigen der Web-Anwendung

Die Verbindung mit dem Gerät wird von einem Client-PC aus über das Netzwerk hergestellt. Anschließend kann die Web-Anwendung in einem Webbrowser auf dem Client-PC verwendet werden, um das Gerät zu steuern und zu konfigurieren.

Empfohlene Spezifikationen für den Client-PC

CPU: Core i5 3 GHz oder besser

Speicher: 4 GB oder mehr

BS: Windows 7 Pro 32-/64-Bit

Windows 8/8.1 Pro 32-/64-Bit

Mac OS X 10.8/10.9

Webbrowser: Google Chrome 33 oder höher

Bildschirmauflösung: 1280 × 960 Pixel oder höher

Schließen Sie einen Computer, der die obigen Anforderungen erfüllt, an den LAN-1- oder LAN-2-Anschluss auf der Rückseite des Geräts an. Geben Sie „http://(IP_Adresse):8080/tds“ In die Adressleiste eines Webbrowsers auf dem Computer ein (wobei IP_Adresse die in „*Konfigurieren des Netzwerks*“ angegebene Adresse ist), um die Web-Anwendung anzuzeigen. Geben Sie am Anmeldebildschirm den Benutzernamen und das Passwort ein.

Standardmäßig sind folgender Benutzername und folgendes Kennwort konfiguriert.

Benutzername: admin

Passwort: tds

Systemeinstellungen

Konfigurieren Sie das System über den Einstellungen-Bildschirm der Web-Anwendung.

Melden Sie sich als Benutzer mit Administratorrechten bei der Web-Anwendung an.

Details zur Bedienung der Web-Anwendung finden Sie in der Hilfe der Anwendung.

Ändern der Sprache der Benutzeroberfläche

Sie können die Sprache der Benutzeroberfläche der Web-Anwendung ändern.

Wählen Sie dazu im Einstellungen-Bildschirm auf der Seite [Meine Einstellungen] die Option [Sprache].

Auswählen der Betriebsfrequenz

Wählen Sie die Betriebsfrequenz des Systems. Wählen Sie die Frequenz im Einstellungen-Bildschirm auf der Seite [Einspeisung] unter [Einstellung einspeisen].

Hinzufügen von Benutzern

Neue Benutzer (zusätzlich zum standardmäßigen Admin-Konto) werden im Einstellungen-Bildschirm auf der Seite [Benutzer] hinzugefügt.

Registrieren eines Übertragungszielorts

Wenn Sie eingespeiste Clips auf eine Kassette oder einen Netzwerkserver übertragen möchten, registrieren Sie den Übertragungszielort im Einstellungen-Bildschirm auf der Seite [Übertragen].

Bibliothekslizenzen

Weitere Informationen zu den Lizenzen für jeden von der PWS-100TD1 verwendeten Bibliothekstyp finden Sie im Menü [Hilfe] der Web-Anwendung.

Vorsichtsmaßnahmen

Sicherheitshinweise für Produkte mit eingebauter Festplatte

Dieses Gerät ist mit einer eingebauten Festplatte ausgestattet. Die Festplatte ist ein Präzisionsgerät. Wenn sie Stößen, Vibrationen, statischer Elektrizität, hohen Temperaturen oder hoher Luftfeuchtigkeit ausgesetzt wird, kann es zu Datenverlusten kommen. Beachten Sie beim Installieren und Verwenden des Geräts unbedingt folgende Sicherheitshinweise.

Schutz vor Stößen und Vibrationen

Wenn die Festplatte Stößen und Vibrationen ausgesetzt wird, kann sie beschädigt werden und Daten können verloren gehen.

- Verwenden Sie zum Transport des Geräts das angegebene Verpackungsmaterial. Beim Transport auf einem fahrbaren Rollwagen oder ähnlichem dürfen keine übermäßigen Vibrationen auftreten. Bei starken Stößen und Erschütterungen kann die Festplatte beschädigt werden.
- Stellen Sie das Gerät nie um, solange es eingeschaltet ist.
- Nehmen Sie keine Abdeckungen oder äußeren Teile vom Gerät ab.
- Wird das Gerät auf dem Boden oder einer anderen Oberfläche aufgestellt, muss diese Oberfläche eben und stabil sein.
- Stellen Sie das Gerät nicht in die Nähe anderer Geräte, die Vibrationen verursachen könnten.
- Die Stromversorgung immer abschalten, wenn das Gerät bewegt wird.

Warten Sie nach dem Ausschalten des Geräts 30 Sekunden lang

Nach dem Ausschalten des Geräts drehen sich die Platten im Festplattenlaufwerk eine kurze Weile weiter und die Köpfe befinden sich in einer instabilen Position. In dieser Zeit ist das Gerät bei Stößen und Vibrationen noch empfindlicher als im normalen Betrieb. Schützen Sie das Gerät nach dem Ausschalten mindestens 30 Sekunden lang selbst vor äußerst geringen Erschütterungen. Danach befindet sich die Festplatte vollständig im Ruhezustand und das Gerät kann transportiert werden.

Sicherheitshinweise hinsichtlich Temperatur und Luftfeuchtigkeit

Verwenden und lagern Sie das Gerät nur an Orten, an denen die angegebenen Temperatur- und Luftfeuchtigkeitswerte nicht über- oder unterschritten werden. (Ich folge den genauen Angabe dieses Gerätes und benutze es bitte.)

Bei defekter Festplatte

Beachten Sie bitte alle oben genannten Sicherheitshinweise, auch wenn die Festplatte bereits

Fehlfunktionen aufweist. Damit lassen sich weitere Schäden verhindern, bis das Problem festgestellt und behoben werden kann.

Ersetzen der Festplatte und anderer Verbrauchsmaterialien

Festplatte und Batterie des Geräts sind Verbrauchsmaterialien, die regelmäßig ersetzt werden müssen. Wenn das Gerät bei Raumtemperatur betrieben wird, sollten die Teile ca. alle 2 bis 5 Jahre ersetzt werden. Diese Ersatzfristen stellen jedoch nur eine allgemeine Richtlinie und keine Garantie der Lebensdauer dieser Teile dar. Weitere Informationen zum Austausch von Komponenten erhalten Sie bei Ihrem Händler. Details zum Ersatzzyklus erhalten Sie von Ihrem örtlichen Sony-Vertreter oder Kundendienst.

Vorsichtsmaßnahmen bezüglich der Stromversorgung

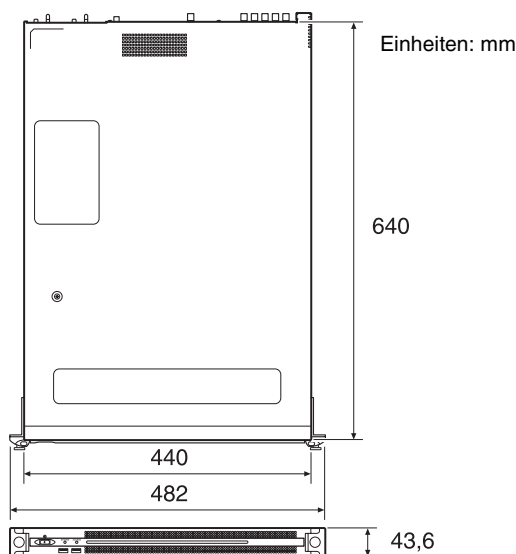
Falls das Gerät während des Betriebs plötzlich ausgeschaltet wird, könnte ein Datenverlust auftreten. Um die Datenintegrität aufrecht zu erhalten wird die Verwendung einer unterbrechungsfreien Stromversorgung (UPS) empfohlen.

Um das Netzkabel zu trennen oder den Ausschalter auszuschalten, drücken Sie stets die Taste Ein/Bereitschaft an dem Gerät, um das Gerät auszuschalten, bevor Sie fortfahren.

Spezifikationen

Allgemein

Stromversorgung	100 V bis 240 V AC 50/60 Hz
Leistungsaufnahme	235 W
Leistungsaufnahme im Bereitschaftsmodus	3 W oder niedriger
Betriebstemperatur	5 °C bis 35 °C
Lagertemperatur	-20 °C bis +55 °C
Luftfeuchtigkeit im Betrieb	20% bis 90% (Relative Luftfeuchtigkeit)
Luftfeuchtigkeit bei Lagerung	75% oder niedriger
Masse	14 kg
Abmessungen	440 × 43,6 × 640 mm (Breite / Höhe / Tiefe)



CPU

Prozessor	Intel Core i7-3770 (3,4 GHz)
Speicher	8 GB SO-DIMM (DDR3) (2)
Laufwerk (m-SATA)	60 GB
Festplatten (HDD)	2,5 Zoll, 500 GB (12)
Erweiterungsbuss	PCIe Gen2 8Lane (30 W) (2)

Eingänge/Ausgänge

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
USB (Vorderseite/Rückseite)	Super Speed USB (USB 3.0) Typ A (6, 2 auf der Vorderseite und 4 auf der Rückseite) Vorderseite: Stromversorgung wird unterstützt (900 mA/Anschluss) Rückseite: Stromversorgung wird von unterem rechten Anschluss unterstützt, (900 mA), keine Unterstützung bei den anderen drei Anschlüssen
HDMI	Typ A (1) HDMI Ver. 1.4a, 1920 × 1200 max. Auflösung, 60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort Ver. 1.1a, 2560 × 1600 max. Auflösung, 60 Hz
Remote	RJ-45 (3) kompatibel mit dem Sony MAZ-Protokoll (9-polig), erfordert Konvertierungskabel RJ-45 zu D-sub (im Lieferumfang enthalten)
REF IN	BNC (1) SMPTE-318M-konform, dreistufige HD-Sync. (0,6 Vp-p/75 Ω/Sync.-Last) oder SD-Black-Burst-/Composite-Sync. (0,286 Vp-p/75 Ω/Sync.-Last)
SDI 1 bis 4	BNC (4) HD: SMPTE-292M-konform SD: SMPTE-259M-konform

Unterstützte Formate

Codec	Betriebsfrequenz	Auflösung, Anzahl an Quantisierungsbits	Audiokanäle
IMX 30M, 40M, 50M	59,94i	720 × 576 422 8-Bit	8 Kan. (16-Bit)
	50i	720 × 480 422 8-Bit	8 Kan. (16-Bit)
MPEG HD 50M	59,94i, 50i, 29,97P, 25P, 23,98P	1920 × 1080 422 8-Bit	8 Kan. (24-Bit)
MPEG HD 35M	59,94i, 50i, 29,97P, 25P, 23,98P	1920 × 1080 420 8-Bit	4 Kan. (16-Bit)
XAVC-I 100M	59,94i, 50i, 29,97P, 25P, 23,98P	1920 × 1080 422 10-Bit	8 Kan. (24-Bit)

Im Lieferumfang enthaltenes Zubehör

Konvertierungskabel RJ-45 zu D-sub

Teilenr. 1-848-424-11 (SONY) (2)

Design und Spezifikationen können ohne Vorankündigung geändert werden.

SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART DURCH UNTERLASSENE GEEIGNETE SICHERHEITSMASSNAHMEN AN ÜBERTRAGUNGSGERÄTEN, DURCH UNVERMEIDBARE DATENPREISGABE AUFGRUND DER ÜBERTRAGUNGSSPEZIFIKATIONEN ODER DURCH SICHERHEITSPROBLEME JEDLICHER ART ÜBERNEHMEN.

Hinweise

- Führen Sie immer eine Probeaufnahme aus, und bestätigen Sie, dass die Aufnahme erfolgreich war. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER SEINER DATENTRÄGER, EXTERNEN SPEICHERSYSTEMEN ODER JEDLICHEN ANDEREN DATENGRÄGERN ODER SPEICHERSYSTEMEN ZUR AUFNAHME VON INHALTEN JEDER ART ÜBERNEHMEN.
- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEDLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR ANSPRÜCHE JEDER ART VON DEN BENUTZERN DIESES GERÄTS ODER VON DRITTER SEITE ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR VERLUST, RETTUNG ODER WIEDERHERSTELLUNG VON DATEN IM INTERNEN SPEICHERSYSTEM, AUF AUFZEICHNUNGSMEDIEN, EXTERNEN SPEICHERSYSTEMEN ODER ANDEREN MEDIEN BZW. SPEICHERSYSTEMEN ÜBERNEHMEN.
- SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR DIE BEENDIGUNG ODER EINSTELLUNG VON DIENSTLEISTUNGEN BEZÜGLICH DIESES GERÄTS GLEICH AUS WELCHEM GRUND ÜBERNEHMEN.

Indice

Descrizione	50
Esempi di configurazione del sistema	51
Dispositivi supportati.....	52
VTR supportati	52
Unità ODS supportate	52
Denominazione e funzione dei componenti	53
Vista frontale	53
Vista frontale (pannello rimosso)	53
Vista posteriore.....	54
Configurazione	55
Impostazioni iniziali	55
Visualizzazione dell'applicazione web	57
Impostazioni di sistema	57
Licenze della library	57
Precauzioni per l'uso	58
Caratteristiche tecniche.....	59

Descrizione

Il PWS-100TD1 è un sistema per la digitalizzazione di materiale VTR per creare clip e per l'archiviazione di clip su cartucce in un sistema di archiviazione di dischi ottici. Dispone delle seguenti funzioni.

Inserisci

L'unità crea video ad alta risoluzione e file video proxy da segnali SDI di ingresso provenienti da uno o più VTR e archivia le clip inserite in HDD interni. Può inoltre controllare da remoto i dispositivi VTR tramite una interfaccia RS-422.

Controllo di qualità video

È possibile controllare automaticamente la qualità video delle clip inserite. Il video può essere inoltre controllato visivamente da un operatore nello schermo dell'applicazione web o in un monitor esterno.

Archiviazione di clip

Le clip ad alta risoluzione possono essere trasferite e archiviate in cartucce o su un server di rete.

Flussi di lavoro

I flussi di lavoro consentono di eseguire in una singola operazione varie attività, dall'inserimento al trasferimento di clip. Un gestore può definire le attività di flusso di lavoro da eseguire e assegnarle ad un operatore in un ordine lavoro, in modo che vengano eseguite in base a tale ordine di lavoro.

Applicazione web

Il controllo e la configurazione dell'unità vengono eseguiti con l'interfaccia grafica visualizzata in un browser web su un PC client.

Integrazione con il software di gestione

La proprietà delle clip archiviate in cartucce e i file video proxy possono essere esportati e gestiti utilizzando un altro software.

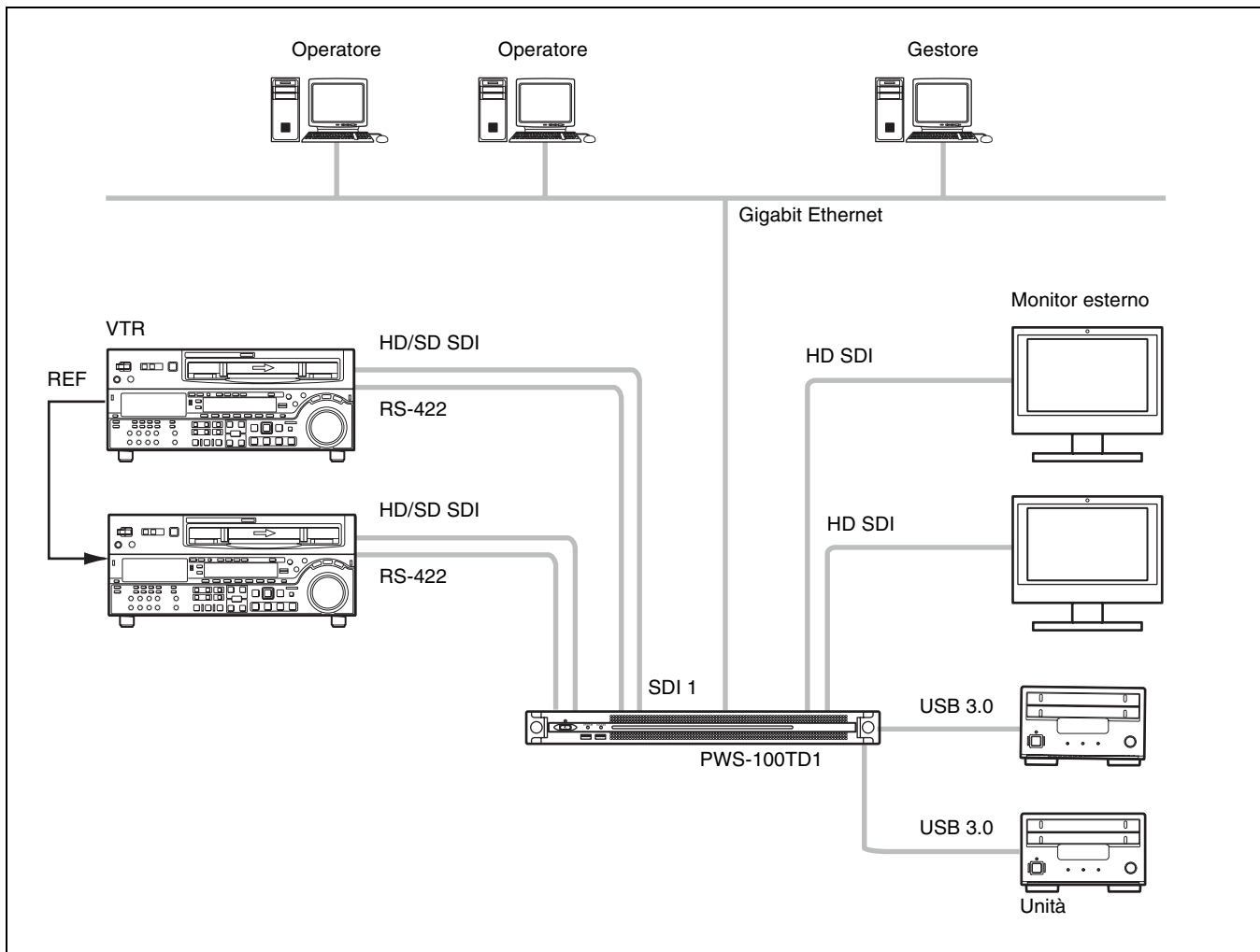
Esempi di configurazione del sistema

Collegare i VTR ai connettori SDI 1 e SDI 2 e i monitor esterni ai connettori SDI 3 e SDI 4. È possibile utilizzare questa configurazione per digitalizzare video da due VTR in parallelo.

È possibile collegare un massimo di due unità a PWS-100TD1.

Note

- Se sono collegati vari VTR, assicurarsi che siano tutti sincronizzati ($\pm 1H$).
- Configurare l'impostazione EE/PB del VTR su PB.
- Il PWS-100TD1 viene sincronizzato con il segnale di ingresso del connettore SDI 1. Di conseguenza, immettere sempre un segnale video sincronizzato sul connettore SDI 1.



Dispositivi supportati

Il funzionamento con i seguenti dispositivi è stato certificato.

VTR supportati

Il funzionamento con i seguenti VTR è stato certificato.

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

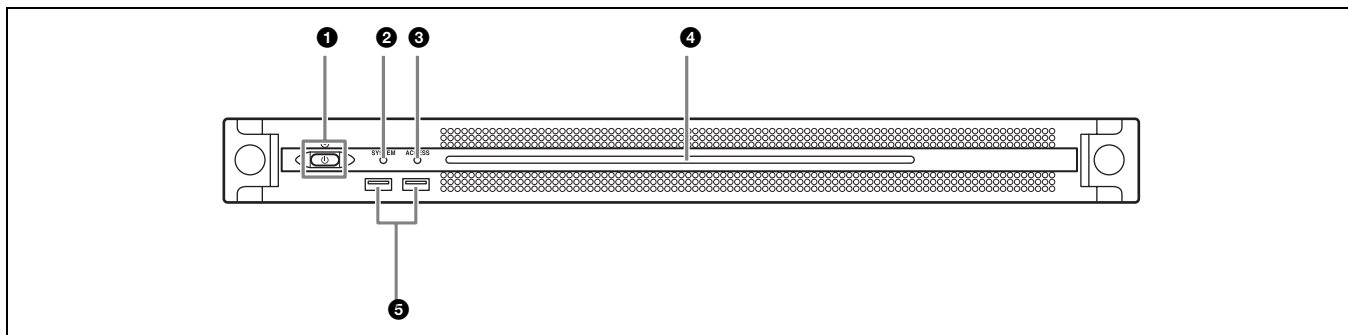
Unità ODS supportate

Il funzionamento con le seguenti unità ODS è stato certificato.

- ODS-D55U
- ODS-D77U

Denominazione e funzione dei componenti

Vista frontale



1 Indicatore e pulsante On/Standby

Consente di accendere/spegnere l'unità (stato di standby). Quando si collega il cavo di alimentazione, nell'unità si attiva lo stato di standby e l'indicatore si illumina di rosso. Se in stato di standby si preme il pulsante On/Standby, l'unità si accende e l'indicatore si illumina di verde. Tenere premuto il pulsante On/Standby per due secondi per portare l'unità in stato di standby e l'indicatore diventa rosso. Per accendere di nuovo l'unità dopo essere passati dallo stato di accensione a quello di standby, quando l'indicatore è rosso, tenere premuto il pulsante On/Standby per tre secondi o oltre. Se il cavo di alimentazione viene scollegato, l'indicatore si spegne.

2 Indicatore SYSTEM

Segnala lo stato dell'unità.

Verde: funzionamento normale

Verde lampeggiante (una volta al secondo): il sistema si sta avviando o sta passando allo stato di standby.

Arancione lampeggiante (una volta al secondo): è stato generato un avviso.

Rosso con lampeggiamento veloce (quattro volte al secondo): si è verificato un errore.

3 Indicatore ACCESS

Segnala lo stato di accesso alla memoria.

Spento: nessun accesso alla memoria in corso

Blu: accesso alla memoria in corso

4 LED pannello anteriore

Si accende in base alle impostazioni definite nell'applicazione web. Il LED viene configurato utilizzando [001: LINE LED] nella pagina [Settings] sulla schermata Manutenzione.

5 Connettori USB (pannello anteriore)

Consentono di collegare una tastiera e un mouse per inizializzare l'unità.

I dispositivi USB non descritti nel presente documento non sono supportati.

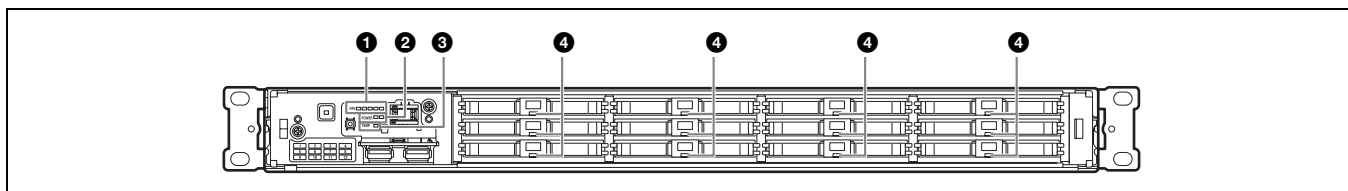
Note

- Entrambe le porte USB sul pannello anteriore supportano la potenza di flusso (900 mA).
- Usare cavi SuperSpeed USB.

Vista frontale (pannello rimosso)

Quando l'indicatore SYSTEM o l'applicazione web segnala un errore, è possibile rimuovere il pannello anteriore per controllare lo stato dei componenti hardware.

Per rimuovere il pannello anteriore, allentare le viti a sinistra e a destra e tirare il pannello verso se stessi.



❶ Indicatori FAN

In caso di guasto di una delle ventole, l'indicatore corrispondente si illumina di rosso.

❷ Indicatori POWER

In caso di guasto di uno degli alimentatori CA esterni, l'indicatore corrispondente si illumina di rosso.

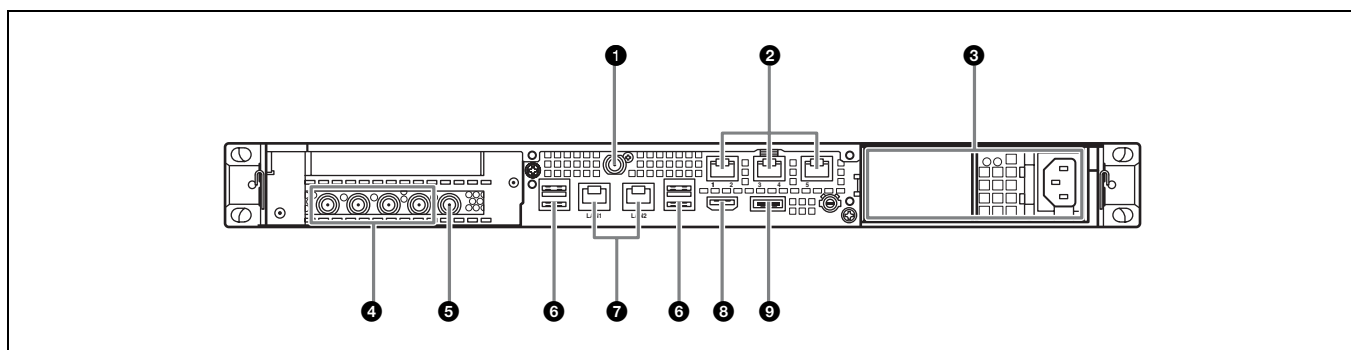
❸ Indicatore TEMP

Se all'interno dell'unità viene rilevata una temperatura insolitamente alta, l'indicatore corrispondente si illumina di rosso.

❹ Indicatori di stato HDD

Se viene generato un avviso per un HDD, il relativo indicatore diventa rosso. L'indicatore si spegne se il relativo HDD è guasto, è in stato di sospensione o è stato rimosso.

Vista posteriore



❶ Connettore SYSTEM TC

Non utilizzato da questo sistema.

❷ Connettori Remote (1/2, 3/4, 5)

Collegare i dispositivi VTR ai connettori Remote 1/2 e Remote 3/4, utilizzando il cavo di conversione RJ-45 D-sub (in dotazione) e i cavi remoti a 9 pin disponibili in commercio, per il funzionamento del telecomando del VTR. È possibile collegare due VTR utilizzando un singolo cavo di conversione RJ-45 D-sub e due cavi remoti a 9 pin.

Il connettore Remote 5 non viene utilizzato da questo sistema.

❸ Alimentatori CA

Inserire i cavi di alimentazione e collegarli alle prese di corrente.

In fabbrica viene installato un solo alimentatore CA. Per garantire la ridondanza dell'alimentazione, è possibile installare un secondo alimentatore opzionale. Nei sistemi che richiedono affidabilità, l'alimentazione ridondante consente all'unità di continuare a funzionare anche in caso di guasto di un alimentatore.

Per informazioni dettagliate sull'installazione o la sostituzione di un alimentatore, consultare il rivenditore o il centro di assistenza Sony locale.

❹ Connettori SDI (da 1 a 4)

I connettori da SDI1 a SDI4 sono numerati da sinistra a destra.

Collegare ad un dispositivo VTR o ad un monitor esterno, utilizzando un cavo SDI, per immettere/emettere segnali SDI.

Collegare l'ingresso SDI di riferimento sincronizzazione al connettore SDI 1.

❺ Connettore REF IN

Non utilizzato da questo sistema.

❻ Connettori USB (pannello posteriore)

Per il collegamento alle unità mediante cavi USB.

I dispositivi USB non descritti nel presente documento non sono supportati.

Note

- Dei quattro connettori USB sul pannello posteriore, solo la porta in basso a destra supporta la potenza di flusso (900 mA). Le altre tre porte non supportano la potenza di flusso e devono essere usate per collegare dispositivi USB che non richiedono alimentazione dal connettore USB.
- Usare cavi SuperSpeed USB.

❼ Connettori LAN

Per il collegamento a una rete Gigabit Ethernet.

❽ Connettore HDMI

Per il collegamento a un monitor mediante un cavo HDMI.

Usare solo cavi HDMI a marchio Sony.

Cavo consigliato (esempio): DLC-HE20XF cavo HIGH SPEED HDMI (2 m)

9 Connettore DisplayPort

Per il collegamento a un monitor mediante un cavo DisplayPort.

Usare il seguente cavo consigliato.

- LINDY 41630 cavo DisplayPort compatibile con 4K (1 m)

È stata confermata la compatibilità dei seguenti display.

- Sony: BVM-F170
- ASUS: PB248Q

Nota

Usare un cavo di tipo attivo se si utilizza un cavo di conversione DisplayPort-DVI o un cavo di conversione DisplayPort-HDMI.

Configurazione

Impostazioni iniziali

Prima di utilizzare l'unità, configurare le impostazioni di Windows nell'unità. La descrizione di seguito indica le impostazioni standard in Windows 8.

Nota

Per riavviare l'unità, spegnerla e, successivamente, accendere nuovamente il pulsante On/Standby sul pannello anteriore, senza riavviare Windows.

- 1 Collegare una tastiera e un mouse ai connettori USB del pannello anteriore e collegare un monitor al connettore DisplayPort o HDMI del pannello posteriore.
- 2 Posizionare il pulsante On/Standby su On.
- 3 Quando viene visualizzata la schermata di login di Windows, immettere "tds" come nome utente, immettere "tds" come la password ed effettuare il login.

Impostazione della lingua dell'interfaccia di Windows

- 1 Tenere premuto il tasto Windows e premere il tasto X, quindi selezionare [Control Panel] dal menu visualizzato.
- 2 Selezionare [Clock, Language, and Region] > [Language].
- 3 Selezionare [Add language] per aggiungere una lingua.
- 4 Selezionare la lingua da aggiungere, quindi fare clic su [Add].
- 5 Selezionare la lingua da utilizzare e fare clic su [Move up] finché la lingua non viene visualizzata in alto.
- 6 Uscire e accedere di nuovo.

Configurazione della rete

- 1 Collegare un cavo LAN al connettore LAN sul pannello posteriore dell'unità, quindi collegare l'altra estremità alla rete.

- 2** Fare clic su [View network status and tasks] in [Network and Internet] nel pannello di controllo.
- 3** Fare clic su [Connections] > [LAN 1/2].
- 4** Fare clic sul pulsante [Properties].
- 5** Selezionare [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)], quindi fare clic sul pulsante [Properties].
- 6** Modificare l'indirizzo IP e altre impostazioni.
- 7** Fare clic sul pulsante [Advanced] per configurare DNS, WINS e altre impostazioni.
- 8** Al termine, fare clic sul pulsante [OK].

Impostazione di data e ora

- 1** Selezionare [Set the time and date] in [Date and Time] nel pannello di controllo [Clock, Language, and Region].
- 2** Fare clic su [Change time zone] nella scheda [Date and Time] e selezionare il fuso orario.
- 3** Fare clic su [Change date and time] nella scheda [Date and Time] e selezionare data e ora.
- 4** Fare clic sul pulsante [Change settings] nella scheda [Internet Time].
- 5** Specificare un server NTP, quindi fare clic sul pulsante [Update Now].
- 6** Aggiungere un segno di spunta in [Synchronize with an Internet time server] per correggere periodicamente l'orologio tramite il server NTP.

Impostazione delle password utente

L'utente predefinito "tds" viene configurato per Windows nell'unità. Impostare la password di protezione per l'utente.

- 1** Fare clic su [User Accounts and Family Safety] nel pannello di controllo.
- 2** Fare clic su [User Account] > [Change account type].
- 3** Selezionare l'utente "tds".
- 4** Fare clic su [Change the password].

- 5** Immettere una nuova password e una password consigliata, quindi fare clic sul pulsante [Change Password].

Impostazione della password di servizio

Quando si imposta o si modifica la password utente "tds", osservare la seguente procedura per impostare la password di servizio.

- 1** Fare doppio clic su [Services] in [Administrative tools] nel pannello di controllo [System and Security].
- 2** Fare clic con il tasto destro su "Apache Tomcat 7.0 Tomcat7" nell'elenco servizi e selezionare [Properties].
- 3** Aprire la scheda [Log On].
- 4** Fare clic su [This account], immettere ".\tds" e inserire quindi una password per l'utente "tds" in [Password].
- 5** Fare clic sul pulsante [Apply], quindi selezionare [OK] per chiudere la finestra di dialogo.
- 6** Selezionare "Sony Ingest Service" nell'elenco servizi, e ripetere i passi da **2** a **5**.

Aggiunta di un utente

È possibile aggiungere nuovi utenti su Windows.

- 1** Fare clic su [User Accounts and Family Safety] nel pannello di controllo.
- 2** Fare clic su [User Accounts] > [Change account type].
- 3** Fare clic su [Add a new user in PC settings].
- 4** Fare clic su [Add a user].
- 5** Immettere nome utente, password e password consigliata, quindi fare clic su [Next].
- 6** Fare clic su [Finish].

Successivamente, modificare il tipo di account.
- 7** Fare clic su [Change account type] in [User Accounts and Family Safety] nel pannello di controllo.
- 8** Selezionare l'utente di cui si desidera modificare il tipo di account.
- 9** Fare clic su [Change the account type].

- 10** Selezionare [Standard] o [Administrator], quindi fare clic sul pulsante [Change account type].

Disconnessione

Al termine, disconnettersi da Windows.

- 1** Spostare il cursore del mouse sull'angolo superiore destro dello schermo per visualizzare la Charms Bar, quindi fare clic su [Start].
- 2** Fare clic sul nome dell'account nella parte superiore destra dello schermo, quindi fare clic su [Sign out].

Visualizzazione dell'applicazione web

È possibile connettersi all'unità tramite la rete di un PC client e utilizzare l'applicazione web in un browser web sul PC client per controllare e configurare l'unità.

Ambiente PC client consigliato

CPU: Core i5 3 GHz o superiore

Memoria: 4 GB o superiore

Sistema operativo:

Windows 7 Pro 32/64 bit

Windows 8/8.1 Pro 32/64 bit

Mac OS X 10.8/10.9

Browser web: Google Chrome 33 o successivo

Risoluzione display: 1280 × 960 pixel o superiore

Collegare un computer che soddisfi le precedenti condizioni al connettore LAN 1 o LAN 2 del pannello posteriore dell'unità. Digitare "http://(IP_address):8080/tds" nella barra degli indirizzi di un browser web del computer (in cui IP_address è l'indirizzo specificato in "Configurazione della rete") per visualizzare l'applicazione web.

Immettere nome utente e password quando viene visualizzata la schermata di login.

I seguenti nome utente e password sono configurati per impostazione predefinita.

Nome utente: admin

Password: tds

Impostazioni di sistema

Configurare il sistema nella schermata Impostazioni dell'applicazione web.

Effettuare il login all'applicazione web come utente con privilegi di amministratore.

Per i dettagli sul funzionamento dell'applicazione web, fare riferimento alla Guida dell'applicazione.

Modifica della lingua dell'interfaccia

È possibile modificare la lingua dell'interfaccia dell'applicazione web.

Selezionare la lingua in [Lingua] nella pagina [Le mie impostazioni] della schermata Impostazioni.

Selezione della frequenza di operazione

Selezionare la frequenza di operazione del sistema. È possibile selezionare la frequenza in [Impostazione di inserimento] nella pagina [Inserisci] della schermata Impostazioni.

Aggiunta di utenti

Aggiungere nuovi account utente all'account admin predefinito nella pagina [Utente] della schermata Impostazioni.

Registrazione di una destinazione di riferimento

Per trasferire le clip inserite in una cartuccia o su un server di rete, registrare la destinazione di trasferimento nella pagina [Trasferisci] della schermata Impostazioni.

Licenze della library

Per le licenze di ciascun tipo di library utilizzata dal PWS-100TD1, fare riferimento al menu [Guida] nell'applicazione web.

Precauzioni per l'uso

Precauzioni per i prodotti con HDD integrato

Il presente apparecchio dispone di un'unità disco fisso (HDD) integrata. Quest'ultima è costituita da un dispositivo di precisione. In caso di urti, vibrazioni, elettricità statica, temperatura o umidità elevata, è possibile che si verifichino perdite di dati. Per l'installazione e l'uso dell'apparecchio, osservare attentamente le seguenti precauzioni.

Proteggere l'apparecchio da urti e vibrazioni

Se viene sottoposto a urti o vibrazioni, l'HDD può risultare danneggiato e potrebbero verificarsi perdite di dati dall'HDD stesso.

- Per trasportare l'apparecchio, utilizzare il materiale di imballaggio specificato. In caso di trasporto su carrelli o simili, utilizzare un mezzo che non trasmetta vibrazioni eccessive. Diversamente, l'HDD potrebbe risultare danneggiato.
- Non spostare l'apparecchio mentre è acceso.
- Non rimuovere i pannelli o le parti esterne dell'apparecchio.
- Quando si colloca l'unità su un pavimento o su un'altra superficie, posizionarla su una superficie piana e stabile.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di altri dispositivi che potrebbero risultare fonte di vibrazioni.
- Spostare sempre l'unità per trasportarla.

Dopo lo spegnimento, attendere 30 secondi.

Per un breve periodo di tempo successivo allo spegnimento, i dischi presenti all'interno dell'HDD continuano a ruotare e le testine si trovano in posizione instabile. Durante tale periodo, l'apparecchio è più sensibile a urti e vibrazioni rispetto ai periodi di normale funzionamento. Per almeno 30 secondi dopo lo spegnimento, evitare di sottoporre l'apparecchio a qualsiasi tipo di urto. Dopo tale periodo, i dischi dell'HDD si saranno arrestati completamente e sarà quindi possibile utilizzare l'apparecchio.

Precauzioni relative a temperatura e umidità

Utilizzare e conservare l'apparecchio solo in luoghi in cui i valori limite di temperatura e umidità non vengono superati. (Io seguo le specificazioni di questa apparecchiatura da tutti i mezzi, e per favore l'uso.)

In caso di problemi all'HDD

Anche se sembrano verificarsi problemi di funzionamento dell'HDD, assicurarsi di osservare tutte le precauzioni di cui sopra. In tal modo, è possibile evitare che si verifichino ulteriori danni finché non è possibile diagnosticare e risolvere il problema.

Sostituzione del disco rigido e di altre parti di consumo

L'HDD e la batteria sono considerati componenti di consumo che dovranno essere sostituiti periodicamente. Se l'apparecchio viene utilizzato a temperatura ambiente, il ciclo normale di sostituzione va da circa 2 a 5 anni. Tuttavia, ciò ha un valore puramente indicativo e non implica alcuna garanzia sulla durata di vita prevista di questi componenti. Per ulteriori informazioni sulla sostituzione dei componenti, rivolgersi al proprio rivenditore.

Per i dettagli sul ciclo di sostituzione, consultare il rivenditore o il centro di assistenza Sony locale.

Precauzioni sull'alimentazione

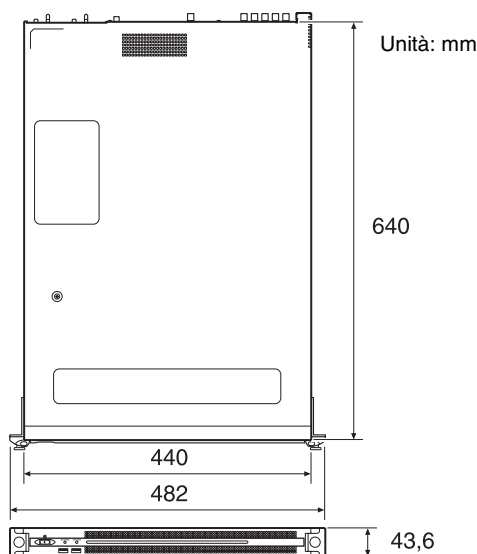
Se l'unità si spegne improvvisamente durante il funzionamento, potrebbero verificarsi perdite di dati. Per mantenere l'integrità dei dati, si consiglia l'uso di un gruppo statico di continuità (UPS).

Per scollegare il cavo di alimentazione o spegnere l'interruttore, premere sempre il pulsante On/Standby sull'unità per arrestare l'unità prima di procedere.

Caratteristiche tecniche

Generale

Alimentazione	Da 100 V a 240 V CA 50/60 Hz
Potenza assorbita	235 W
Potenza assorbita in standby	3 W o inferiore
Temperatura di funzionamento	Da 5 °C a 35 °C
Temperatura di immagazzinamento	Da -20 °C a +55 °C
Umidità operativa	Da 20% a 90% (umidità relativa)
Umidità ambientale	75% o inferiore
Peso	14 kg
Dimensioni	440 × 43,6 × 640 mm (larghezza / altezza / profondità)



CPU

Processore	Intel Core i7-3770 (3,4 GHz)
Memoria	8 GByte SO-DIMM (DDR3) (2)
Unità (m-SATA)	60 GByte
Unità (HDD)	2,5 pollici, 500 GByte (12)
Bus espansione	PCIe Gen2 8Lane (30 W) (2)

Ingressi/uscite

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
-----	---------------------------------------

USB (pannello anteriore/pannello posteriore)	Super Speed USB (USB 3.0) Tipo A (6, 2 sulla parte anteriore e 4 sulla parte posteriore) Anteriore: potenza di flusso supportata (900 mA per porta) Posteriore: potenza di flusso supportata sulla porta in basso a destra (900 mA), non supportata sulle altre tre porte
HDMI	Tipo A (1) HDMI Ver. 1.4a, risoluzione massima 1920 × 1200, 60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort Ver. 1.1a, risoluzione massima 2560 × 1600, 60 Hz
Remote	RJ-45 (3) Compatibile Sony VTR Protocol (a 9 pin), richiede cavo di conversione da RJ-45 a D-sub (in dotazione)
REF IN	BNC (1) Conforme SMPTE-318M, sincronizzazione a tre livelli HD (0,6 Vp-p/75 Ω/carico di sincronizzazione) o sincronizzazione black burst o composita SD (0,286 Vp-p/75 Ω/carico di sincronizzazione)
SDI 1 a 4	BNC (4) HD: conforme SMPTE-292M SD: conforme SMPTE-259M

Formati supportati

Codec	Frequenza operazione	N. risoluzione di bit di quantizzazione	Canali audio
IMX 30M, 40M, 50M	59.94i	720 × 576 422 8 bit	8 canali (16-bit)
	50i	720 × 480 422 8 bit	8 canali (16-bit)
MPEG HD 50M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 422 8 bit	8 canali (24-bit)
MPEG HD 35M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 420 8 bit	4 canali (16-bit)
XAVC-I 100M	59.94i, 50i, 29.97P, 25P, 23.98P	1920 × 1080 422 10 bit	8 canali (24-bit)

Accessori in dotazione

Cavo di conversione da RJ-45 a D-sub	Codice articolo 1-848-424-11 (SONY) (2)
--------------------------------------	--

Disegno e caratteristiche tecniche soggetti a cambiamenti senza preavviso.

SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO RISULTANTI DALLA MANCATA IMPLEMENTAZIONE DI MISURE DI PROTEZIONE ADEGUATE SUI DISPOSITIVI DI TRASMISSIONE, DA INEVITABILI DIFFUSIONI DI DATI RISULTANTI DALLE SPECIFICHE TECNICHE DELLA TRASMISSIONE O DA PROBLEMATICHE RELATIVE ALLA SICUREZZA DI QUALSIASI TIPO.

Note

- Eseguire sempre una registrazione di prova, e verificare che il contenuto sia stato registrato correttamente.
LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DI GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO O DEI SUOI SUPPORTI DI REGISTRAZIONE, SISTEMI DI MEMORIZZAZIONE ESTERNA O QUALSIASI ALTRO SUPPORTO O SISTEMA DI MEMORIZZAZIONE PER REGISTRARE CONTENUTI DI QUALSIASI TIPO.
- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER RICHIESTE O RICORSI DI NESSUN TIPO PRESENTATI DA UTENTI DI QUESTO APPARATO O DA TERZI.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA PERDITA, RIPARAZIONE O RIPRODUZIONE DEI DATI REGISTRATI SUL SISTEMA DI MEMORIZZAZIONE INTERNO, SU SUPPORTI DI REGISTRAZIONE, SU SISTEMI DI MEMORIZZAZIONE ESTERNI, O SU QUALSIASI ALTRO TIPO DI SUPPORTO O SISTEMA DI MEMORIZZAZIONE.
- SONY NON SARÀ RESPONSABILE PER LA CANCELLAZIONE O LA MANCATA CONTINUAZIONE PER QUALSIASI CAUSA O CIRCOSTANZA DI SERVIZI CORRELATI A QUESTO APPARATO.

Contenido

Descripción general	62
Ejemplos de configuración del sistema	63
Dispositivos compatibles	64
VTR compatibles	64
Unidad ODS compatibles	64
Nombre y función de los componentes	65
Vista frontal	65
Vista frontal (con el panel extraído)	65
Vista posterior	66
Configuración	67
Ajustes iniciales	67
Visualizar la aplicación web	69
Ajustes del sistema	69
Licencias de bibliotecas	69
Precauciones de uso	70
Especificaciones	71

Descripción general

El PWS-100TD1 es un sistema para digitalizar material VTR con el objeto de crear clips y almacenar clips en cartuchos en un Sistema de Archivo en Disco Óptico. Dispone de las siguientes funciones.

Ingesta

La unidad crea vídeo de alta resolución y archivos proxy de vídeo a partir de señales de entrada SDI desde uno o varios VTR y guarda los clips ingestados en unidades de disco duro internas. También puede controlar dispositivos VTR de forma remota utilizando una interfaz RS-422.

Comprobación de calidad de vídeo

La calidad de vídeo de los clips ingestados puede comprobarse automáticamente. El vídeo también puede ser comprobado visualmente por un operador en la pantalla de la aplicación web o en un monitor externo.

Almacenamiento de clips

Los clips de alta resolución pueden transferirse y almacenarse en cartuchos o en un servidor de red.

Flujos de trabajo

Pueden ejecutarse diversas tareas, desde la ingesta hasta la transferencia de clips, en una sola operación utilizando flujos de trabajo. Un administrador puede definir las tareas de flujo de trabajo que deben ejecutarse y asignar un operador para ejecutar las tareas en un orden de trabajo, de modo que el operador ejecutará las tareas de acuerdo con ese orden de trabajo.

Aplicación web

El control y la configuración de la unidad se realiza utilizando una interfaz gráfica que se muestra en un explorador web de un PC cliente.

Integración con software de gestión

Las propiedades de los clips guardados en cartuchos y los archivos proxy de vídeo pueden exportarse y gestionarse utilizando otro software.

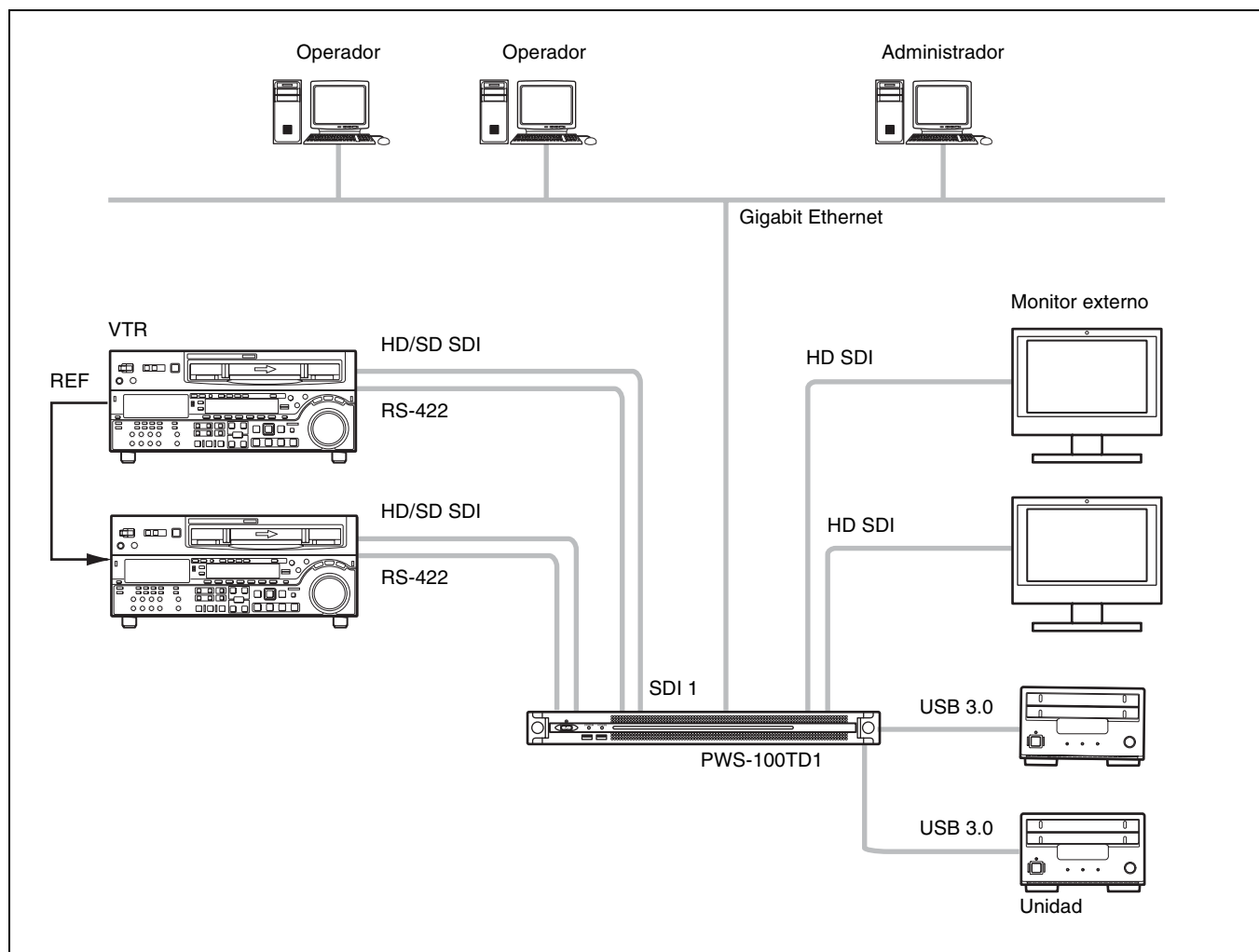
Ejemplos de configuración del sistema

Conecte los VTR a los conectores SDI 1 y SDI 2, y los monitores externos a SDI 3 y SDI 4. Puede utilizar esta configuración para digitalizar vídeo desde dos VTR en paralelo.

Puede conectar hasta dos unidades de disco a la PWS-100TD1.

Notas

- Si se conectan varias VTR, asegúrese de que todas las VTR están sincronizadas ($\pm 1H$).
- Ajuste la configuración EE/PB del VTR al PB.
- El PWS-100TD1 está sincronizado con la señal de entrada del conector SDI 1. En consecuencia, introduzca siempre una señal de vídeo sincronizada en el conector SDI 1.



Dispositivos compatibles

Se ha certificado el funcionamiento con los siguientes dispositivos.

VTR compatibles

Se ha certificado el funcionamiento con los siguientes VTR.

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

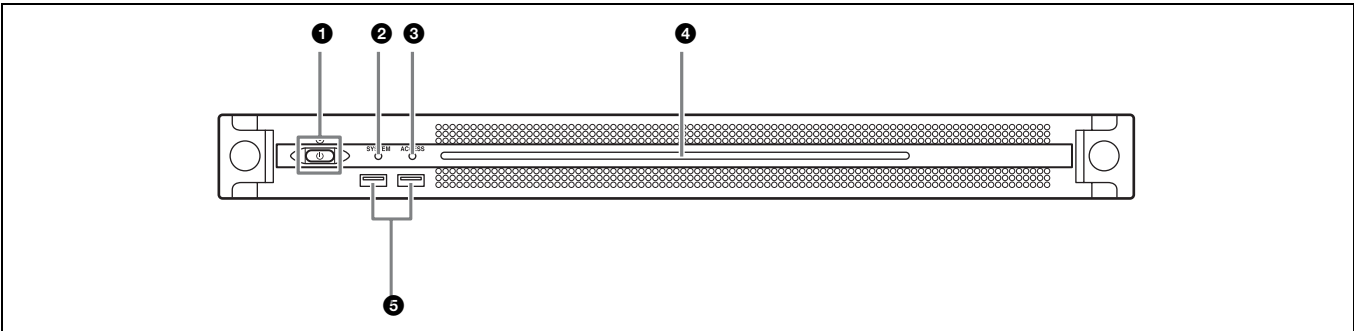
Unidad ODS compatibles

Se ha certificado el funcionamiento con las siguientes unidades ODS.

- ODS-D55U
- ODS-D77U

Nombre y función de los componentes

Vista frontal



❶ Botón e indicador On/Standby

Enciende y apaga la unidad (estado de espera). Al conectar el cable de conexión la unidad entra en estado de espera y el indicador se ilumina en color rojo. Al pulsar el botón On/Standby durante el estado de espera, la unidad se enciende y el indicador se ilumina en color verde. Al mantener pulsado el botón On/Standby durante dos segundos la unidad cambia a estado de espera, y el indicador se ilumina en color rojo. Para volver a encender la unidad después de cambiar de encendido a estado en espera, cuando el indicador esté iluminado en rojo, mantenga pulsado el botón On/Standby durante 3 segundos o más. El indicador se apaga cuando se desconecta el cable de alimentación.

❷ Indicador SYSTEM

Indica el estado de la unidad.

Verde: funciona con normalidad

Parpadea en verde (una vez por segundo): el sistema está arrancando o en transición a estado en espera.

Parpadea en naranja (una vez por segundo): se ha generado una advertencia.

Parpadea en rojo a alta velocidad (cuatro veces por segundo): se ha producido un error.

❸ Indicador ACCESS

Indica el estado de acceso al almacenamiento.

Apagado: no está accediendo al almacenamiento.

Azul: está accediendo al almacenamiento.

❹ Panel LED frontal

Se enciende de acuerdo con los ajustes en la aplicación web. El LED se configura utilizando [001: LINE LED] en la página [Settings] de la pantalla de mantenimiento.

❺ Conectores USB (panel frontal)

Se conecta a un teclado y a un ratón para inicializar la unidad.

Los dispositivos USB que no están descritos en este documento no son compatibles.

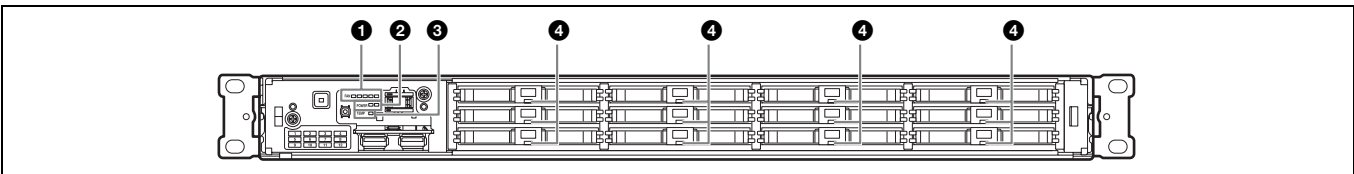
Notas

- Ambos puertos USB del panel frontal admiten suministro de alimentación (900 mA).
- Utilice cables USB SuperSpeed.

Vista frontal (con el panel extraído)

Cuando el indicador SYSTEM o la aplicación web indica un error, podrá extraer el panel frontal para comprobar el estado de los componentes del hardware.

Para extraer el panel frontal, afloje los tornillos de los lados derecho e izquierdo y tire del panel hacia usted.



❶ Indicadores FAN

Si cualquiera de los ventiladores falla, el indicador del ventilador correspondiente se ilumina en rojo.

❷ Indicadores POWER

Si cualquiera de las unidades de suministro de alimentación de CA falla, el indicador correspondiente se ilumina en rojo.

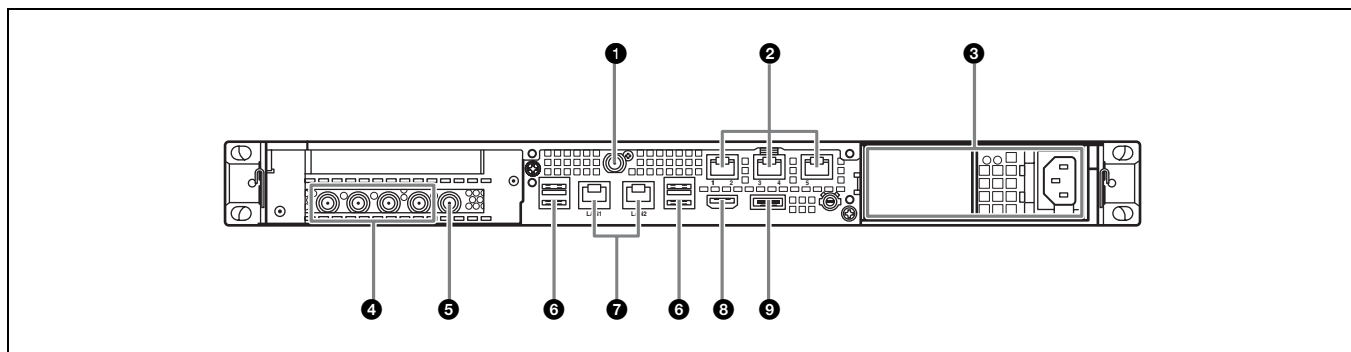
❸ Indicador TEMP

Si se detecta una temperatura alta anormal en la unidad, el indicador se ilumina en rojo.

❹ Indicadores de estado de la unidad de disco duro (HDD)

Si se genera una advertencia para una HDD, el indicador correspondiente se ilumina en rojo. El indicador se apaga si la HDD correspondiente falla, está en estado de suspensión o se ha extraído.

Vista posterior



❶ Conector SYSTEM TC

No se utiliza en este sistema.

❷ Conectores Remote (1/2, 3/4, 5)

Conecte los dispositivos VTR a los conectores Remote 1/2 y 3/4 utilizando el cable de conversión RJ-45 a D-sub (suministrado) y cables remotos de 9 pines disponibles en el mercado para la operación de control remoto de los VTR. Puede conectar dos VTR utilizando un solo cable de conversión RJ-45 a D-sub y dos cables remotos de 9 pines. El conector Remote 5 no se utiliza en este sistema.

❸ Unidad de suministro de alimentación de CA

Introduzca los cables de alimentación y conéctelos a la toma de corriente.

Solo se instala una unidad de alimentación de CA en la fábrica.

Puede instalarse una segunda unidad de suministro de alimentación opcional para proporcionar redundancia de suministro de alimentación. Al utilizarla en sistemas que requieren fiabilidad, una redundancia de suministro de alimentación permite que la unidad continúe funcionando incluso si una unidad falla.

Para obtener más información acerca de la instalación o sustitución de unidades de suministro de alimentación, póngase en contacto con un representante de servicio o ventas de Sony.

❹ Conectores SDI (1 a 4)

Los conectores SDI1 a SDI4 están numerados de izquierda a derecha.

Conecte a un dispositivo VTR o monitor externo, utilizando un cable SDI, para recibir/emitar señales SDI. Conecte una entrada SDI de señal de referencia de sincronización al conector SDI 1.

❺ Conector REF IN

No se utiliza en este sistema.

❻ Conectores USB (panel posterior)

Conecte las unidades mediante cables USB.

Los dispositivos USB que no están descritos en este documento no son compatibles.

Notas

- De los cuatro conectores de USB de la parte posterior, solo el puerto de la parte inferior derecha admite suministro de alimentación (900 mA). Los tres puertos restantes no admiten suministro de alimentación y deben usarse para conectar dispositivos USB que no requieran alimentación del conector USB.
- Utilice cables USB SuperSpeed.

❼ Conectores LAN

Conéctese a una red Gigabit Ethernet.

❽ Conector HDMI

Conéctese a una pantalla a través de un cable HDMI.

Utilice únicamente cables HDMI de marca Sony.

Cable recomendado (ejemplo): DLC-HE20XF cable HIGH SPEED HDMI (2 m)

9 Conector DisplayPort

Conéctese a una pantalla a través de un cable DisplayPort. Utilice el siguiente cable recomendado.

- LINDY 41630 cable DisplayPort compatible con 4K (1 m)

Se ha confirmado la compatibilidad de los siguientes monitores.

- Sony: BVM-F170
- ASUS: PB248Q

Nota

Si utiliza un cable de conversión DisplayPort-DVI o DisplayPort-HDMI, use un cable de tipo activo.

Configuración

Ajustes iniciales

Antes de utilizar la unidad, configure los ajustes de Windows en la unidad. A continuación se describen los ajustes estándar en Windows 8.

Nota

Para reiniciar la unidad, en primer lugar apague la unidad y, a continuación, vuelva a encender el botón On/Standby del panel frontal sin reiniciar Windows.

- 1 Conecte un teclado y un ratón a los conectores USB del panel frontal, y conecte un monitor al conector DisplayPort o conector HDMI del panel posterior.
- 2 Ajuste el botón On/Standby a la posición On.
- 3 Cuando aparezca la pantalla de inicio de sesión de Windows, introduzca “tds” como nombre de usuario, introduzca “tds” como contraseña e inicie sesión.

Ajustar el idioma de la interfaz de Windows

- 1 Mantenga pulsada la tecla Windows y pulse la tecla X. A continuación, seleccione [Control Panel] en el menú que se muestra.
- 2 Seleccione [Clock, Language, and Region] > [Language].
- 3 Seleccione [Add language] para añadir un idioma.
- 4 Seleccione el idioma que desee añadir y haga clic en [Add].
- 5 Seleccione el idioma que desee utilizar y haga clic en [Move up] hasta que el idioma se muestre en la parte superior.
- 6 Cierre sesión y vuelva a abrir sesión.

Configurar la red

- 1 Conecte un extremo del cable LAN al conector LAN del panel posterior de la unidad, y conecte el otro extremo a la red.
- 2 Haga clic en [View network status and tasks] dentro de [Network and Internet] en el panel de control.

- 3** Haga clic en [Connections] > [LAN 1/2].
- 4** Haga clic en el botón [Properties].
- 5** Seleccione [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)] y, a continuación, haga clic en el botón [Properties].
- 6** Cambie la dirección IP y otros ajustes.
- 7** Haga clic en el botón [Advanced] para configurar DNS, WINS y otros ajustes.
- 8** Cuando finalice, haga clic en el botón [OK].

Ajustar la fecha y la hora

- 1** Seleccione [Set the time and date] dentro de [Date and Time] en el panel de control [Clock, Language, and Region].
- 2** Haga clic en [Change time zone] en la pestaña [Date and Time] y seleccione la zona horaria.
- 3** Haga clic en [Change data and time] en la pestaña [Date and Time] y ajuste la fecha y la hora.
- 4** Haga clic en el botón [Change settings] en la pestaña [Internet Time].
- 5** Especifique un servidor NTP y, a continuación, haga clic en el botón [Update Now].
- 6** Active la casilla [Synchronize with an Internet time server] para corregir periódicamente el reloj utilizando el servidor NTP.

Ajustar las contraseñas de usuario

El usuario predeterminado “tds” está configurado para Windows dentro de la unidad. Ajuste la contraseña de usuario para proporcionar seguridad.

- 1** Haga clic en [User Accounts and Family Safety] en el panel de control.
- 2** Haga clic en [User Account] > [Change account type].
- 3** Seleccione el usuario “tds”.
- 4** Haga clic en [Change the password].
- 5** Introduzca una nueva contraseña y una pista de contraseña y, a continuación, haga clic en el botón [Change Password].

Ajustar la contraseña del servicio

Al ajustar/modificar la contraseña de usuario “tds”, configure la contraseña del servicio como se muestra a continuación:

- 1** Haga doble clic en [Services], dentro de [Administrative tools] en el panel de control [System and Security].
- 2** Haga clic con el botón derecho sobre “Apache Tomcat 7.0 Tomcat7” en la lista de servicios y seleccione [Properties].
- 3** Abra la pestaña [Log On].
- 4** Haga clic en [This account], introduzca “.tds” y, a continuación, introduzca una contraseña para el usuario “tds” en [Password].
- 5** Haga clic en el botón [Apply] y, a continuación, haga clic en [OK] para cerrar el cuadro de diálogo.
- 6** Seleccione “Sony Ingest Service” en la lista de servicios y repita los pasos del **2** al **5**.

Añadir un usuario

Puede añadir nuevos usuarios a Windows.

- 1** Haga clic en [User Accounts and Family Safety] en el panel de control.
- 2** Haga clic en [User Accounts] > [Change account type].
- 3** Haga clic en [Add a new user in PC settings].
- 4** Haga clic en [Add a user].
- 5** Introduzca un nombre de usuario, una contraseña y una pista de contraseña y, a continuación, haga clic en [Next].
- 6** Haga clic en [Finish].
A continuación, cambie el tipo de cuenta.
- 7** Haga clic en [Change account type] dentro de [User Accounts and Family Safety] en el panel de control.
- 8** Seleccione el usuario cuyo tipo de cuenta desee cambiar.
- 9** Haga clic en [Change the account type].

- 10 Seleccione [Standard] o [Administrator] y, a continuación, haga clic en el botón [Change account type].

Cerrar sesión

Cuando finalice, cierre sesión en Windows.

- 1 Desplace el cursor hasta la esquina superior derecha de la pantalla para ver la barra de Charms y, a continuación, haga clic en [Start].
- 2 Haga clic en el nombre de cuenta en la parte superior derecha de la pantalla y, a continuación, haga clic en [Sign out].

Visualizar la aplicación web

Conéctese a la unidad a través de la red de un PC cliente y utilice la aplicación web en un explorador web en el PC cliente para controlar y configurar la unidad.

Entorno de PC cliente recomendado

CPU: Core i5 3 GHz o superior

Memoria: 4 GB o superior

S.O.: Windows 7 Pro 32/64 bits

Windows 8/8.1 Pro 32/64 bits

Mac OS X 10.8/10.9

Explorador web: Google Chrome 33 o superior

Resolución de pantalla: 1280 × 960 píxeles o superior

Conecte un ordenador que cumpla las condiciones anteriores al conector LAN 1 o LAN 2 del panel posterior de la unidad. Introduzca “http://(dirección_IP):8080/tds” en la barra de direcciones de un explorador web en el ordenador (donde dirección_IP es la dirección especificada en “*Configurar la red*”) para visualizar la aplicación web.

Introduzca el nombre de usuario y la contraseña cuando aparezca la pantalla de inicio de sesión.

El nombre de usuario y la contraseña predeterminados son los siguientes.

Nombre de usuario: admin

Contraseña: tds

Ajustes del sistema

Configure el sistema en la pantalla de ajustes en la aplicación web.

Inicie sesión como usuario con privilegios de administrador cuando entre a la aplicación web.

Para más información sobre el funcionamiento de la aplicación web, consulte la ayuda de la aplicación.

Cambiar el idioma de la interfaz

Puede cambiar el idioma de la interfaz de la aplicación web.

Seleccione el idioma en [Idioma] en la página [Mis ajustes] de la pantalla de ajustes.

Seleccionar la frecuencia de operación

Seleccione la frecuencia de operación del sistema.

Seleccione la frecuencia en [Ajuste de ingesta] en la página [Ingesta] de la pantalla de ajustes.

Añadir usuarios

Para añadir cuentas de usuario además de la cuenta de administrador por defecto, añada nuevos usuarios en la página [Usuario] de la pantalla de ajustes.

Registrar un destino de la transferencia

Para transferir clips ingestados a un cartucho o servidor de red, registre el destino de transferencia en la página [Transferir] de la pantalla de ajustes.

Licencias de bibliotecas

Consulte el menú [Ayuda] en la aplicación web para ver las licencias de cada tipo de biblioteca utilizada por el PWS-100TD1.

Precauciones de uso

Precauciones para productos con discos duros incorporados

Esta unidad tiene un disco duro incorporado (HDD). El disco duro es un dispositivo de precisión. Si somete la unidad a golpes, vibraciones, electricidad estática o temperaturas y humedad elevadas, podría perder datos. Tenga en cuenta las siguientes precauciones cuando instale o utilice la unidad.

Protección frente a golpes y vibraciones

Si somete la unidad a golpes o vibraciones, el disco duro podría resultar dañado y ocasionar la pérdida de datos.

- Utilice el material de embalaje especificado cuando transporte la unidad. Cuando la transporte en una carretilla o similar, utilice una que no transmita excesivas vibraciones. Un exceso de golpes o vibraciones puede dañar el disco duro.
- No mueva nunca la unidad mientras esté conectada.
- No extraiga los paneles o las partes exteriores de la unidad.
- Cuando desee colocar la unidad sobre el suelo u otra superficie, hágalo sobre una superficie nivelada y estable.
- No coloque la unidad cerca de otros dispositivos que puedan convertirse en fuente de vibraciones.
- Cuando mueva la unidad, apague siempre la alimentación.

Espere 30 segundos después de apagar la alimentación

Durante un breve intervalo después de apagar la alimentación, los platos dentro del disco duro seguirán girando y los cabezales se encontrarán en una posición poco segura. Durante este intervalo, la unidad es más susceptible a golpes y vibraciones que durante el funcionamiento normal. Durante un período de al menos 30 segundos después de apagar la unidad, evite someterla incluso al mínimo golpe. Después de este período, el disco duro se detendrá completamente y podrá manipularse la unidad.

Precauciones relativas a la temperatura y a la humedad

Utilice y guarde la unidad solamente en lugares donde no se excedan los rangos especificados de temperatura y humedad. (Siga las especificaciones de este dispositivo y por favor lo uso.)

Si el disco duro parece defectuoso

Incluso si el disco duro muestra signos de mal funcionamiento, asegúrese de tener en cuenta todas las precauciones anteriores. Esto evitará que se produzcan más daños hasta que se pueda diagnosticar el problema y corregirlo.

Sustitución del disco duro y de otros consumibles

El disco duro (HDD) y la batería son consumibles que deben sustituirse periódicamente. Si utiliza la unidad a temperatura ambiente, el ciclo de sustitución normal será de 2 a 5 años. Sin embargo, esto representa solo una directriz general y no constituye ninguna garantía de su vida útil. Para obtener más información acerca de la sustitución de componentes, póngase en contacto con el distribuidor.

Para más información sobre el ciclo de sustitución, póngase en contacto con su representante de ventas o servicio de Sony.

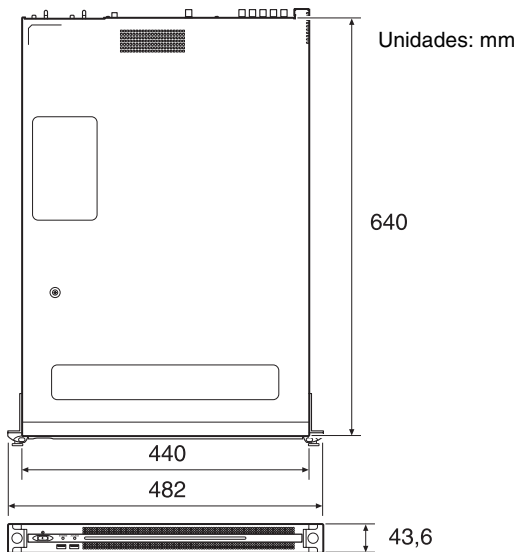
Precauciones sobre el suministro de alimentación

Si la unidad se apaga de repente, podrían perderse datos. Para mantener la integridad de los datos es recomendable utilizar un sistema de alimentación ininterrumpida (SAI). Pulse siempre el botón On/Standby de la unidad para detenerla antes de proceder a desconectar el cable de conexión o apagar el disyuntor.

Especificaciones

General

Requisitos de alimentación	CA de 100 V a 240 V 50/60 Hz
Consumo de energía	235 W
Consumo de energía en modo de espera	3 W o inferior
Temperatura de funcionamiento	De 5 °C a 35 °C
Temperatura de almacenamiento	De -20 °C a +55 °C
Humedad de funcionamiento	De 20% al 90% (humedad relativa)
Humedad de almacenamiento	75% o inferior
Peso	14 kg
Dimensiones	440 × 43,6 × 640 mm (An. / Alt. / Prof.)



CPU

Procesador	Intel Core i7-3770 (a 3,4 GHz)
Memoria	8 GB SO-DIMM (DDR3) (2)
Unidad (m-SATA)	60 GB
Unidades de disco duro	2,5 pulg., 500 GB (12)
Expansión del bus	PCIe Gen2 8Lane (30 W) (2)

Entradas/salidas

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
USB (panel frontal/panel posterior)	Super Speed USB (USB 3.0) Tipo A (6, 2 en la parte frontal y 4 en la parte posterior) Panel frontal: admite suministro de alimentación (900 mA/puerto) Panel posterior: el puerto de la parte inferior derecha admite suministro de alimentación (900 mA), los tres puertos restantes no
HDMI	Tipo A (1) HDMI versión 1.4a, resolución máxima 1920 × 1200, 60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort versión 1.1a, resolución máxima 2560 × 1600, 60 Hz
Remote	RJ-45 (3) Compatible con el protocolo VTR de Sony (9 pines), requiere cable de conversión RJ-45 a D-sub (suministrado)
REF IN	BNC (1) Conformidad con SMPTE-318M, sincronización de tres niveles HD (0,6 Vp-p/75 Ω/carga de sincronización) o sincronización compuesta/black burst SD (0,286 Vp-p/75 Ω/carga de sincronización)
SDI 1 a 4	BNC (4) HD: Conformidad con SMPTE-292M SD: Conformidad con SMPTE-259M

Formatos compatibles

Códec	Frecuencia de operación	Resolución N.º de bits de cuantificación	Canales de audio
IMX 30M, 40M, 50M	59,94i	720 × 576 422 8 bits	8 canales (16-bits)
	50i	720 × 480 422 8 bits	8 canales (16-bits)
MPEG HD 50M	59,94i, 50i, 29,97P, 25P, 23,98P	1920 × 1080 422 8 bits	8 canales (24-bits)
MPEG HD 35M	59,94i, 50i, 29,97P, 25P, 23,98P	1920 × 1080 420 8 bits	4 canales (16-bits)
XAVC-I 100M	59,94i, 50i, 29,97P, 25P, 23,98P	1920 × 1080 422 10 bits	8 canales (24-bits)

Accesorios suministrados

Cable de conversión RJ-45 a D-sub

Pieza N.º 1-848-424-11 (SONY) (2)

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO DEBIDOS A LA OMISIÓN DE LAS MEDIDAS DE SEGURIDAD ADECUADAS EN DISPOSITIVOS DE TRANSMISIÓN, FUGAS DE DATOS INEVITABLES DERIVADAS DE LAS ESPECIFICACIONES DE TRANSMISIÓN O PROBLEMAS DE SEGURIDAD DE CUALQUIER TIPO.

Notas

- Haga siempre un ensayo de grabación y verifique que se grabó bien.
SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR FALLO EN HACER CUALQUIER TIPO DE CONTENIDO DE GRABACIÓN POR MEDIO DE ESTA UNIDAD O SU SOPORTE DE GRABACIÓN, SISTEMAS DE MEMORIA EXTERNA O CUALQUIER OTRO SOPORTE O SISTEMAS DE MEMORIA.
- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR RECLAMACIONES DE NINGÚN TIPO REALIZADAS POR USUARIOS DE ESTA UNIDAD O POR TERCEROS.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE POR LA PERDIDA, REPARACIÓN O REPRODUCCIÓN DE CUALQUIER DATO GRABADO EN EL SISTEMA DE ALMACENAMIENTO INTERNO, SOPORTES DE GRABACIÓN, SISTEMAS DE ALMACENAMIENTO EXTERNO O CUALQUIER OTRO SISTEMA DE ALMACENAMIENTO.
- SONY NO SE HACE RESPONSABLE DE LA FINALIZACIÓN NI DE LA INTERRUPCIÓN, POR LA CIRCUNSTANCIA QUE FUERA, DE CUALQUIER SERVICIO RELACIONADO CON ESTA UNIDAD.

机型名称：数字化工作站
使用产品前请仔细阅读本书，并请妥善保管。

目录

- 概述..... 75
 - 系统配置示例..... 76
- 支持的设备..... 77
 - 支持的 VTR..... 77
 - 支持的 ODS 设备..... 77
- 部件的名称和功能..... 78
 - 正面..... 78
 - 正面（面板被移除）..... 78
 - 背面..... 79
- 设置..... 80
 - 初始设置..... 80
 - 显示 Web 应用程序..... 81
 - 系统设置..... 81
 - 库许可证..... 81
- 使用注意事项..... 82
- 规格说明..... 82

概述

PWS-100TD1 系统用于对 VTR 材料进行数字化处理，可创建短片并且可将短片存储在光盘归档系统中的光盘上。此系统具有以下功能。

摄取

本机可根据一个或多个 VTR 发送的 SDI 输入信号创建高分辨率视频文件和代理视频文件，然后将摄取的短片存储在内置硬盘驱动器上。它还可以通过 RS-422 接口远程控制 VTR 设备。

视频质量检查

本机可自动检查所摄取短片的视频质量。操作员也可以在 Web 应用程序屏幕或外置监视器上直观地检查视频。

短片存储

高分辨率的短片可传输到光盘或网络服务器上存储。

工作流

从短片摄取到传输等一系列任务均可使用工作流在一个操作中执行。管理员可定义要执行的工作流任务并分配操作员执行工作指令中的任务，然后操作员将根据工作指令执行任务。

Web 应用程序

使用客户端 PC 上 Web 浏览器中显示的图形界面对本机进行控制和配置。

与管理软件集成

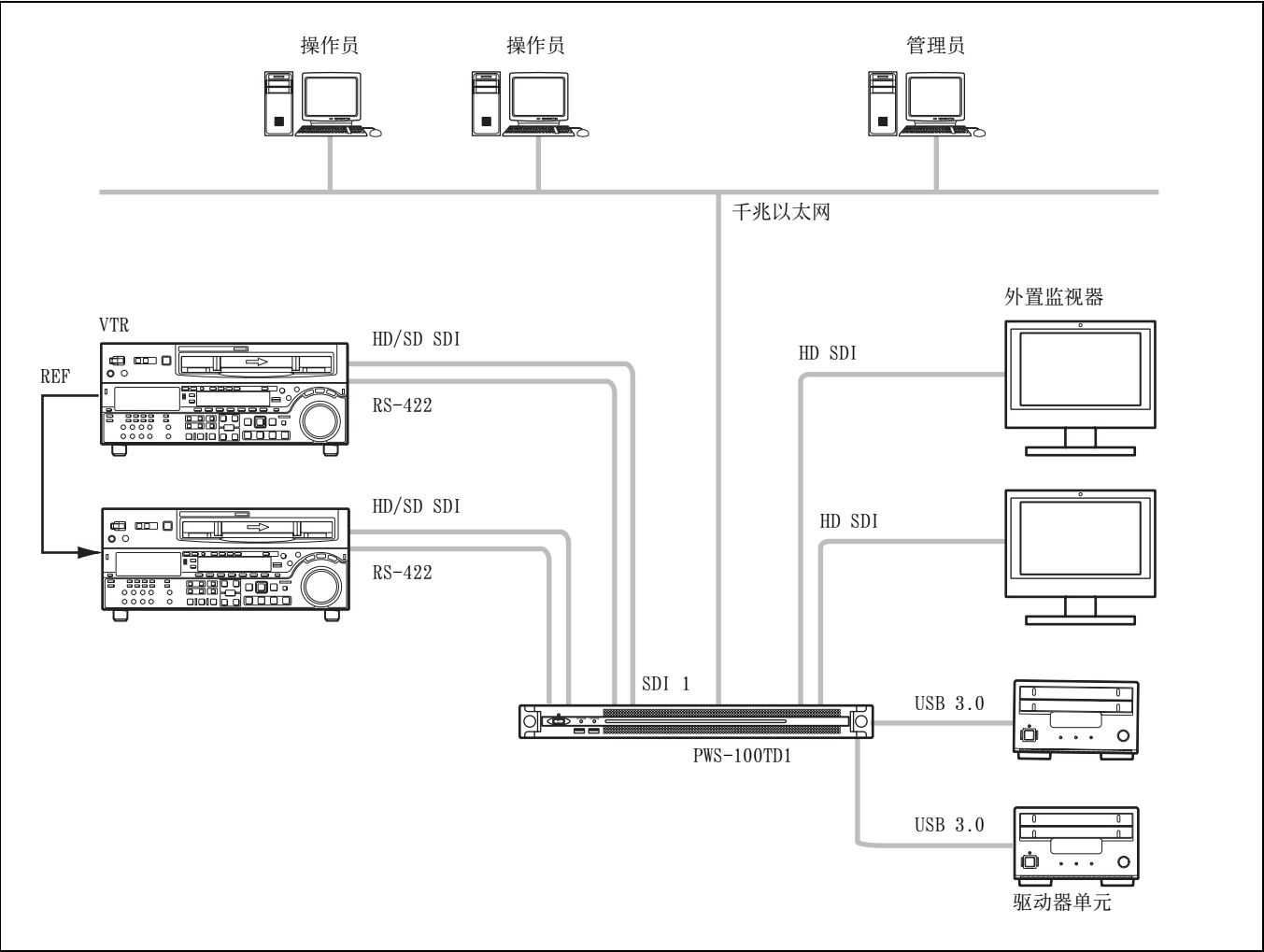
可使用其他软件导出代理视频文件和光盘上存储的短片的属性。

系统配置示例

将 VTR 连接至 SDI 1 和 SDI 2 接口，并且将外置监视器连接至 SDI 3 和 SDI 4 接口。您可以使用该配置对两个 VTR 的视频并行进行数字化处理。
最多可将两个驱动器单元连接到 PWS-100TD1。

注意

- 如果连接了多个 VTR，请确保同步所有 VTR（±1H）。
- 将 VTR 的 EE/PB 设置设为 PB。
- PWS-100TD1同步到SDI 1接口输入信号。因此，请始终在SDI 1 接口上输入同步视频信号。



支持的设备

使用以下设备的操作已经过验证。

支持的 VTR

使用以下 VTR 的操作已经过验证。

Betacam SP	BVW-75 BVW-75P
Digital Betacam	DVW-A500 DVW-A500P
Betacam SX	DNW-A75 DNW-A75P
IMX	MSW-M2000 MSW-M2000P
DVCAM	DSR-2000 DSR-2000P
HDCAM	HDW-M2000 HDW-M2000P

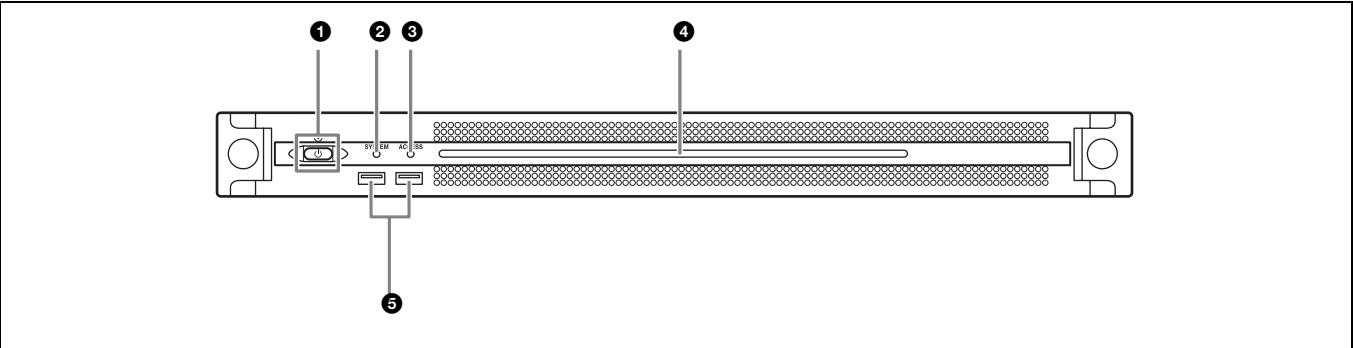
支持的 ODS 设备

使用以下 ODS 驱动器的操作已经过验证。

- ODS-D55U
- ODS-D77U

部件的名称和功能

正面



❶ 开机 / 待机键和指示灯

在开机和关机（待机状态）之间切换。连接电源线后，本机将处于待机状态，此指示灯会亮起红色。在待机状态下按开机 / 待机键可启动本机，此指示灯会亮起绿色。长按开机 / 待机按钮两秒可将本机切换至待机状态，此时此指示灯将变为红色。要在将本机从开机状态切换至待机状态后重新开启本机，请在此指示灯为红色时长按开机 / 待机按钮三秒或更长时间。断开电源线后，此指示灯会熄灭。

❷ SYSTEM 指示灯

指示本机的状态。
绿色：工作正常
闪烁绿色（每秒闪烁一次）：系统正在启动或正在转换为待机状态。
闪烁橙色（每秒闪烁一次）：生成了警告。
快速闪烁红色（每秒闪烁四次）：发生了错误。

❸ ACCESS 指示灯

指示存储器的访问状态。
熄灭：未访问存储器
蓝色：正在访问存储器

❹ 前面板 LED

根据 Web 应用程序中的设置打开。使用“维护”屏幕上 [Settings] 页面中的 [001: LINE LED] 配置该 LED。

❺ USB 接口（前面板）

连接到键盘和鼠标用于初始化本机。
不支持本文档中未列出的 USB 设备。

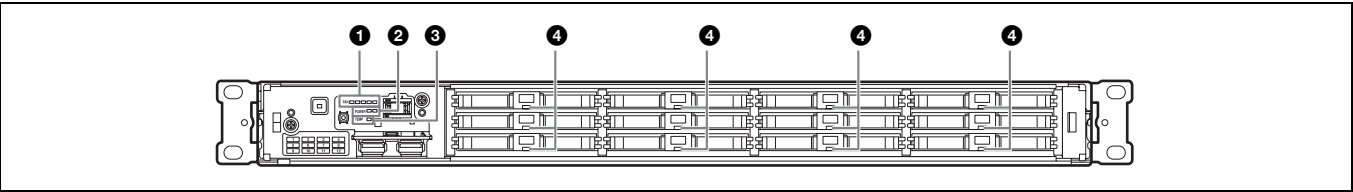
注意

- 前面板上的两个 USB 端口都支持功率输出 (900 mA)。
- 使用 SuperSpeed USB 电缆。

正面（面板被移除）

当 SYSTEM 指示灯或 Web 应用程序指示发生错误时，可移除前面板检查硬件组件的状态。

要移除前面板，请拧松左右两侧的螺丝，然后向朝向自己的一侧拉面板。



❶ FAN 指示灯

如果有任何风扇发生故障，相应的风扇指示灯会变为红色。

❷ POWER 指示灯

如果任一 AC 电源装置发生故障，相应指示灯会变为红色。

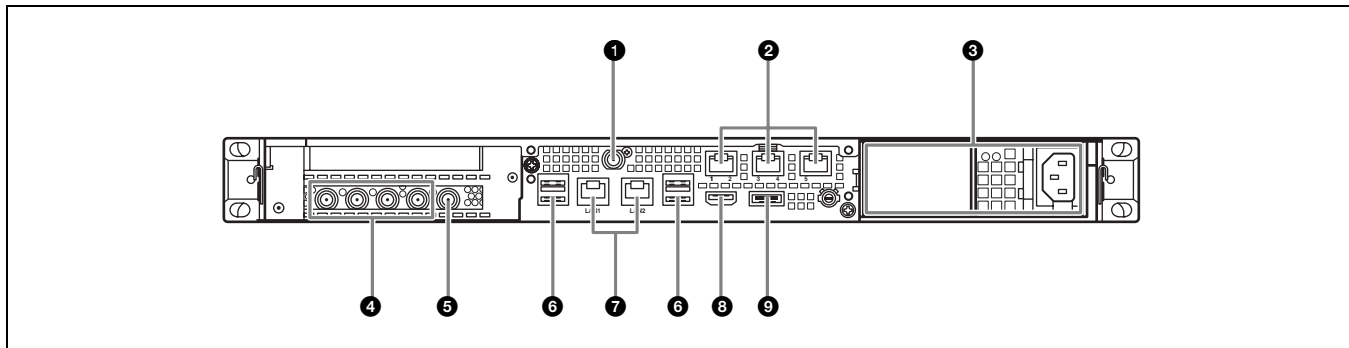
③ TEMP 指示灯

如果检测到本机内部异常高温，此指示灯会变为红色。

④ HDD 状态指示灯

如果针对某 HDD 生成警告，相应的指示灯将亮起红色。如果 HDD 出现故障、处于睡眠状态或已被移除，相应的指示灯将熄灭。

背面



① SYSTEM TC 接口

本系统未使用。

② Remote 接口（1/2、3/4、5）

使用 RJ-45 D-sub 转换电缆（随附）和市售的 9 针远程电缆将 VTR 设备连接至 Remote 1/2 接口和 Remote 3/4 接口，便可对 VTR 进行远程控制操作。您可以使用一条 RJ-45 D-sub 转换电缆和两条 9 针远程电缆连接两个 VTR。

本系统不使用 Remote 5 接口。

③ AC 电源装置

插入电源线并连接到电源插座。

出厂时只安装了一个 AC 电源装置。

可安装第二个可选电源装置来提供冗余电源。在要求高可靠性的系统中使用时，冗余电源可让本机在发生电力故障时继续运行。

有关安装或更换电源装置的详细信息，请联系 Sony 销售代表或服务代表。

④ SDI（1 到 4）接口

SDI1 到 SDI4 接口从左到右进行编号。

使用 SDI 电缆连接至 VTR 设备或外置监视器，便可输入 / 输出 SDI 信号。

将同步参考信号 SDI 输入连接至 SDI 1 接口。

⑤ REF IN 接口

本系统未使用。

⑥ USB 接口（后面板）

使用 USB 电缆连接至驱动器单元。

不支持本文档中未列出的 USB 设备。

注意

- 在后面板上的四个 USB 接口中，只有右下方的端口支持功率输出（900 mA）。另外三个端口则不支持功率输出，应用于连接不需要从 USB 接口提供电源的 USB 设备。
- 使用 SuperSpeed USB 电缆。

⑦ LAN 接口

连接至千兆位以太网网络。

⑧ HDMI 端口

使用 HDMI 电缆连接至监视器。

仅使用 Sony 品牌的 HDMI 电缆。

推荐的电缆（示例）： DLC-HE20XF HIGH SPEED HDMI 电缆（2 m）

⑨ DisplayPort 端口

使用 DisplayPort 电缆连接至监视器。

请使用以下推荐的电缆。

- LINDY 41630 兼容 4K 的 DisplayPort 电缆（1 m）
以下显示器的兼容性已经过确认。
- Sony：BVM-F170
- ASUS：PB248Q

注意

如果使用 DisplayPort-DVI 转换电缆或 DisplayPort-HDMI 转换电缆，请使用有源电缆。

设置

初始设置

使用本机前，请在本机内配置 Windows 设置。以下描述将介绍 Windows 8 中的标准设置。

注意

要重启本设备，请先关闭设备，然后再次打开前面板上的开机 / 待机键，无需重启 Windows。

- 1 将键盘和鼠标连接至前面板上的 USB 接口，然后将监视器连接至后面板上的 DisplayPort 接口或 HDMI 接口。
- 2 将开机 / 待机按钮设为“开机”位置。
- 3 出现 Windows 登录屏幕后，输入“tds”作为用户名，输入“tds”作为密码，然后登录。

设置 Windows 界面语言

- 1 按住 Windows 键的同时按下 X 键，然后从所显示的菜单中选择 [Control Panel]。
- 2 选择 [Clock, Language, and Region] > [Language]。
- 3 选择 [Add language] 以添加语言。
- 4 选择要添加的语言，然后单击 [Add]。
- 5 选择要使用的语言并单击 [Move up]，直到所需的语言显示在顶部。
- 6 注销然后重新登录。

配置网络

- 1 将 LAN 电缆连接至本机后面板上的 LAN 接口，并将电缆的另一端连接至网络。
- 2 在控制面板中，单击 [Network and Internet] 下的 [View network status and tasks]。
- 3 单击 [Connections] > [LAN 1/2]。
- 4 单击 [Properties] 按钮。
- 5 选择 [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)]，然后单击 [Properties] 按钮。

- 6 更改 IP 地址和其他设置。

- 7 单击 [Advanced] 按钮以配置 DNS、WINS 和其他设置。

- 8 完成后，单击 [OK] 按钮。

设置日期和时间

- 1 在 [Clock, Language, and Region] 控制面板中，选择 [Date and Time] 下的 [Set the time and date]。
- 2 单击 [Date and Time] 选项卡上的 [Change time zone]，然后选择时区。
- 3 单击 [Date and Time] 选项卡上的 [Change date and time]，然后设置日期和时间。
- 4 单击 [Internet Time] 选项卡上的 [Change settings] 按钮。
- 5 指定 NTP 服务器，然后单击 [Update Now] 按钮。
- 6 选中 [Synchronize with an Internet time server]，使用 NTP 服务器定期纠正时钟。

设置用户密码

本机为 Windows 配置的默认用户为“tds”。设置用户密码是为了提高安全性。

- 1 单击控制面板中的 [User Accounts and Family Safety]。
- 2 单击 [User Account] > [Change account type]。
- 3 选择“tds”用户。
- 4 单击 [Change the password]。
- 5 输入新密码和密码提示，然后单击 [Change Password] 按钮。

设置服务密码

设置 / 修改用户“tds”密码时，请如下设置服务密码。

- 1 在 [System and Security] 控制面板中的 [Administrative tools] 下双击 [Services]。
- 2 然后在服务列表中右键单击“Apache Tomcat 7.0 Tomcat7”并选择 [Properties]。
- 3 打开 [Log On] 选项卡。

- 4 单击 [This account]，输入 “. \tds”，然后在 [Password] 中为用户 “tds” 输入密码。
- 5 单击 [Apply] 键，然后单击 [OK] 关闭对话框。
- 6 在服务列表中选择 “Sony Ingest Service”，然后重复步骤 2 到步骤 5。

添加用户

您可以向 Windows 添加新用户。

- 1 单击控制面板中的 [User Accounts and Family Safety]。
- 2 单击 [User Accounts] > [Change account type]。
- 3 单击 [Add a new user in PC settings]。
- 4 单击 [Add a user]。
- 5 输入用户名、密码和密码提示，然后单击 [Next]。
- 6 单击 [Finish]。
下一步，更改帐户类型。
- 7 在控制面板中，单击 [User Accounts and Family Safety] 下的 [Change account type]。
- 8 选择您希望更改其帐户类型的用户。
- 9 单击 [Change the account type]。
- 10 选择 [Standard] 或 [Administrator]，然后单击 [Change account type] 按钮。

注销

完成后，从 Windows 注销。

- 1 将鼠标光标移至屏幕右上角，显示超级按钮栏，然后单击 [Start]。
- 2 单击屏幕右上角的帐户名称，然后单击 [Sign out]。

显示 Web 应用程序

您从客户端 PC 通过网络连接至本机，并使用客户端 PC 上 Web 浏览器中的 Web 应用程序来控制 and 配置本机。

推荐的客户端 PC 环境

CPU: Core i5 3 GHz 或以上

内存: 4 GB 或以上

操作系统:

Windows 7 Pro 32/64 位

Windows 8/8.1 Pro 32/64 位

Mac OS X 10.8/10.9

Web 浏览器: Google Chrome 33 或更高版本

显示器分辨率: 1280 × 960 像素或以上

将满足以上条件的计算机连接至本机后面板上的 LAN 1 或 LAN 2 接口。在计算机 Web 浏览器的地址栏中输入 “http://(IP_address):8080/tds” (其中 IP_address 是在 “配置网络” 中指定的地址)，以显示 Web 应用程序。

登录屏幕出现后，输入用户名和密码。

用户名和密码的默认配置如下。

用户名: admin

密码: tds

系统设置

在 Web 应用程序中的 “设置” 屏幕上配置系统。

登录 Web 应用程序后，作为具有管理员权限的用户登录。

有关操作 Web 应用程序的详细信息，请参阅应用程序的 “帮助”。

更改界面语言

您可以更改 Web 应用程序的界面语言。

在 “设置” 屏幕中，从 [我的设置] 页面上的 [语言] 中选择语言。

选择工作频率

选择系统的工作频率。在 “设置” 屏幕的 [摄取] 页面上，在 [摄取设置] 下选择频率。

添加用户

要添加除默认管理员帐户以外的用户帐户，请在 “设置” 屏幕的 [用户] 页面上添加新用户。

注册传输目的地

要将所摄取的短片传输至光盘或网络服务器，请在 “设置” 屏幕的 [传输] 页面上注册传输目的地。

库许可证

请参阅 Web 应用程序中的 [帮助] 菜单，了解 PWS-100TD1 使用的每种库的许可证。

使用注意事项

内置 HDD 的产品的注意事项

本机配备有内置硬盘驱动器（HDD）。HDD 属于精密装置。如果遇到震荡、振动、静电、高温或高湿等情况，数据可能会丢失。本机安装使用时，请务必注意下列事项。

防止震动和摇晃

受到震动和摇晃时，HDD 可能受损，并且 HDD 上的数据可能丢失。

- 在运输本机时，请使用指定的包装材料。使用推车或类似车辆运输时，请选择不会造成过度摇晃的车型。过度震动和摇晃可能会损坏 HDD。
- 切勿在电源打开时移动本机。
- 切勿取下本机的面板或外部部件。
- 如果要将本机放到地板或其他表面，请确保放到稳定的水平表面。
- 切勿将本机放在可能产生摇晃的其他设备附近。
- 移动本机时，请务必关闭电源。

关闭电源后需等待 30 秒

刚关闭电源时，HDD 中的磁盘片仍保持旋转状态且磁头处于不安全位置。在这段时间里，本机比正常操作期间更容易受震动和摇晃的影响。因此在关闭电源后至少 30 秒内，应避免本机受到哪怕非常轻的震动。这段间隔过后，硬盘即完全停止，便可以进行其他操作。

温度和湿度相关注意事项

请在不超过指定温度和湿度范围的场所使用和存放本机。（务必使用完全符合本机规范的部件。）

HDD 出现故障时

即使 HDD 显示有故障迹象，也务必遵守以上所有注意事项。以防止在诊断和纠正问题之前发生进一步的损坏。

更换 HDD 和其他消耗性部件

HDD 和电池是需要定期更换的消耗性部件。如果在室温环境下操作，正常的更换周期约为 2 到 5 年。但是，这一更换周期仅代表一般原则，不表示这些部件的寿命保证可以达到预期寿命长度。关于部件更换的详细信息，请联系经销商。有关更换周期的详细信息，请联系 Sony 销售代表或服务代表。

电源注意事项

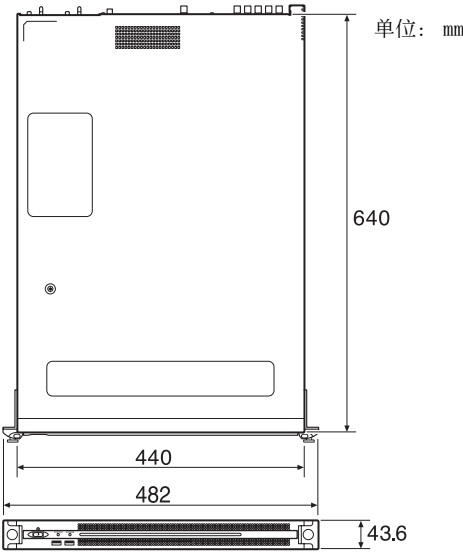
如果本机在操作期间突然关闭，可能会发生数据丢失。为了保证数据的完整性，建议使用不间断电源（UPS）。

要断开电源线或关闭断路器，请务必先按下本机上的开机 / 待机键以停止本机，然后再操作。

规格说明

一般规格

电源要求	100 V 至 240 V 交流 50/60 Hz
功耗	235 W
待机电源消耗	3 W 或更低
工作温度	5 °C 至 35 °C
存储温度	-20 °C 至 +55 °C
工作湿度	20% 至 90%（相对湿度）
存储湿度	75% 或更低
重量	14 kg
尺寸	440 × 43.6 × 640 mm （宽 / 高 / 深）



CPU

处理器	Intel Core i7-3770 (3.4 GHz)
内存	8 GB SO-DIMM (DDR3) (2)
驱动器 (m-SATA)	60 GB
驱动器 (HDD)	2.5 英寸, 500 GB (12)
扩展总线	PCIe Gen2 8Lane (30 W) (2)

输入 / 输出

LAN	RJ-45 (2) 1000BASE-T 100BASE-TX
USB（前面板 / 后面板）	Super Speed USB (USB 3.0), A 型 (6 个, 前面板 2 个, 后面板 4 个) 正面: 支持功率输出 (900 mA/ 端口)

HDMI	背面：右下方端口支持功率输出 (900 mA)，其他端口则不支持 A 型 (1) HDMI 版本 1.4a， 最大分辨率为 1920 × 1200， 60 Hz
DisplayPort	DisplayPort (1) DisplayPort 版本 1.1a， 最大分辨率为 2560 × 1600， 60 Hz
Remote	RJ-45 (3) 兼容 Sony VTR 协议 (9 针)， 需要 RJ-45 至 D-sub 转换电缆 (随 附)
REF IN	BNC (1) 兼容 SMPTE-318M，HD 三电平同步 (0.6 V _{p-p} /75 Ω/ 同步负载) 或 SD 黑场 / 复合同步 (0.286 V _{p-p} /75 Ω/ 同步负载)
SDI 1 至 4	BNC (4) HD：兼容 SMPTE-292M SD：兼容 SMPTE-259M

支持的格式

编解码器	工作频率	分辨率量化比特数	音频通道
IMX 30M、40M、 50M	59.94i	720 × 576 422 8 比特	8 通道 (16- 比特)
	50i	720 × 480 422 8 比特	8 通道 (16- 比特)
MPEG HD 50M	59.94i、 50i、 29.97P、 25P、 23.98P	1920 × 1080 422 8 比特	8 通道 (24- 比特)
MPEG HD 35M	59.94i、 50i、 29.97P、 25P、 23.98P	1920 × 1080 420 8 比特	4 通道 (16- 比特)
XAVC-I 100M	59.94i、 50i、 29.97P、 25P、 23.98P	1920 × 1080 422 10 比特	8 通道 (24- 比特)

随附配件

RJ-45 至 D-sub 转换电缆
部件编号 1-848-424-11 (SONY)
(2)

设计与技术规格如有变更，恕不另行通知。

SONY 不对任何因传输设备安全措施操作不当、传输规格导致不可避免的数据泄露或任何种类的安全问题造成的损坏负责。

注意

- 在记录前，请始终进行记录测试，并确认记录是否成功。
SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障或由记录介质、外部存储系统或者任何其他介质或存储系统记录的任何形式的记录内容的损害不作 (包括但不限于) 退货或赔偿。
- 在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由，SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的利润损失等，无论是在保修期以内或者以外，Sony 均不作任何赔偿。
- SONY 对本产品用户或第三方的任何索赔概不负责。
- SONY 对内部存储系统、记录介质、外部存储系统或任何其他介质或存储系统上记录的任何数据的丢失、修复和还原概不负责。
- SONY 对因任何情况导致终止或停止使用本机相关服务概不负责。

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Sony Corporation and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual.

Sony Corporation expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Sony Corporation.

Les donnees contenues dans ce manuel sont des informations dont Sony Corporation est proprietaire et qui sont destinees exclusivement a l'usage par les acquereurs de l'equipement decrit dans ce manuel.

Sony Corporation interdit formellement la copie de quelque partie que ce soit de ce manuel ou son emploi pour tout autre but que des operations ou entretiens de l'equipement a moins d'une permission ecrite de Sony Corporation.

Das in dieser Anleitung enthaltene Material besteht aus Informationen, die Eigentum der Sony Corporation sind, und ausschliesslich zum Gebrauch durch den Käufer der in dieser Anleitung beschriebenen Ausrüstung bestimmt sind.

Die Sony Corporation untersagt ausdrücklich die Vervielfältigung jeglicher Teile dieser Anleitung oder den Gebrauch derselben für irgendeinen anderen Zweck als die Bedienung oder Wartung der in dieser Anleitung beschriebenen Ausrüstung ohne ausdrückliche schriftliche Erlaubnis der Sony Corporation.

Le informazioni contenute nel presente manuale sono di proprietà di Sony Corporation e il relativo uso è destinato solamente agli acquirenti dell'apparecchio descritto in questo documento.

Sony Corporation vieta espressamente la duplicazione in parte o per intero di questo manuale e il suo utilizzo per scopi differenti dal funzionamento o manutenzione dell'apparecchio ivi descritto, senza previo permesso scritto di Sony Corporation.

El material de este manual contiene informacion que es propiedad de Sony Corporation y se destina al uso por parte de los compradores del equipo descrito en este manual.

Sony Corporation prohíbe expresamente la duplicación de cualquier parte de este manual o el uso del mismo para cualquier propósito diferente al funcionamiento o el mantenimiento del equipo descrito en este manual sin la autorización expresa por escrito de Sony Corporation.

本手册中包含的信息属于 Sony Corporation 公司所有，只有购买本手册中所述设备的消费者才可使用。

在未获得 Sony Corporation 明确书面许可的条件下，Sony Corporation 禁止任何人对本手册中的任何部分进行复制，或者出于任何目的使用本手册中的任何内容，但为操作或者维护此手册中所述的设备除外。

出版日期：2014年4月

Sony Corporation

<http://www.sony.net/>

PWS-100TD1(SYL/CNC)
4-535-613-01(1)

この説明書は、再生紙を使用しています。
Printed on recycled paper.

Printed in Japan
2014.4 32
© 2014